伊場遺跡発掘調査報告書 第5冊

伊場遺跡遺物編3

（写真図版編）

1982

浜松市教育委員会

伊場遺跡発掘調査報告書 第5冊

伊場遺跡遺物編3

(写真図版編)

弥生土器観察表

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部	焼成 / 胎土 / 色調
A群（A10区ＹＴ１）					
1 −5 5 受口壺 A_1	6−1670 A10h −ＹＴ１	9.1 18.8 14.2 5.5	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ、頸部付近は指頭圧痕。外面上部縄紋（ＬＲ）、頸部は縦ハケ後ナデ。	頸部との境に凸帯を１条めぐらす他は無紋。胴部外面は縦方向のハケ調整後、横方向の雑なヘラミガキ。底部平底、わずかに凹む。口縁部と胴部３ケ所に黒斑。	良 好 砂粒含粘性弱 赤 味 橙
2 −5 −5 受口壺 C	6−1006 A10d −ＹＴ１	8.3 22.1 19.3 6.2	口肩部は面を作る。内外面ともヨコナデ。頸部は短かく、口縁との境には段がつく。	頸部との境に、櫛描直線紋と竹管紋（直径0.3cm）を施した幅狭い文様帯。外面上胴部斜、下胴部は横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に一対の黒斑。	良 好 精 良 う す 橙
3 −5 — 受口壺 A_1	6−1654 A10e −ＹＴ１	8.2 — — —	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面櫛の押圧横線を８条ほど施紋。頸部ヘラミガキ。	肩部の一部残存。肩部に櫛の押圧横線2条。胴部欠損。	良 好 精 良 黄 味 白
4 −5 — 受口壺 A_2	6−1690 A10e・h −ＹＴ１	12.4 … — —	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。肩部に凸帯→櫛描直線紋→櫛描波状紋。胴部欠損。	良 好 砂 粒 含 う す 橙
5 −5 — 受口壺 A_2	6−1696 A10i −ＹＴ１	7.5 — — …	口唇部は円頭状に作る。内面ハケ。外面ハケ後ナデ。	胴部欠損。	良 好 砂 粒 含 橙 に ぶ 黄 橙
6 −5 — 受口壺 B	6−1250 A10d −ＹＴ１	23.5 — — —	口唇部は面を作り縄紋（ＬＲ）。口縁端部および口縁部外面下部櫛の刻目紋。口縁部外面斜ハケ後縄紋（ＬＲ）。頸部外面ハケ。口縁部内面ハケ後ナデ。	胴部欠損。	硬 質 良 好 砂 粒 を 含 む に ぶ 黄 橙
7 −5 — 広口壺 A	6−1250 A10d −ＹＴ１	27.0 — —	口唇部は面を作り、櫛の刺突による羽状紋を施す。内面端部にもやはり櫛の刺突による羽状紋、下部ハケ後ヘラミガキ。外面ハケ後ヘラミガキ。	胴部欠損。	良 好 砂 粒 を 含 む 茶 色
8 −5 — 広口壺 A	6−1685 A10e・h −ＹＴ１	16.1 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面著しく磨滅するがわずかに櫛描波状紋が認められる。外面磨滅のため調整不明。	肩部に凸帯と櫛描直線紋。胴部欠損。	良 好 精 良 に ぶ 橙
9 −5 −5 広口壺 B_1	6−1649 A10d −ＹＴ１	12.5 20.0 19.4 7.4	口唇部は面を作る。内面横ハケ後端部に櫛描扇形紋。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→扇形紋→波状紋２条→扇形紋を施した（左回り数回停止）幅広い文様帯。文様帯下部横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底。	良 好 精 良 赤 味 橙
10 −5 −5 広口壺 B_1	6−1650 A10d ＹＴ１	12.5 19.4 18.5 6.8	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋。外面端部ヨコナデ、頸部にかけてはヘラミガキ。	肩部に凸帯を１条、その下に櫛描の直線紋→波状紋３条→扇形紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底。	良 好 精 良 赤 味 橙
11 −5 — 広口壺 B_1	6−2377 A10d −ＹＴ１	11.5 — 17.8 —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横ハケ後端部ヨコナデ。外面縦ハケ後端部ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→Ｊ字紋（扇形紋の変形か）→直線紋→Ｉ字紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部は斜ハケ後横方向の雑なヘラミガキ。下胴部欠損。	良 好 精 良 赤 味 橙
12 −5 −5 広口壺 B_1	6−1651 A10d −ＹＴ１	13.9 — 20.4 —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横ハケ後端部に櫛描波状紋。外面縦ハケ後端部ヨコナデ、頸部縦方向のヘラミガキ。	肩部に凸帯を１条、その下に櫛描の直線紋→波状紋→扇形紋を施す。文様帯の幅はさほど広くない。文様帯下部は斜および横方向のヘラミガキ。下胴部欠損。	良 好 精 良 赤 味 橙

別冊図版番号 / 写真図版番号 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 胴径 / 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部	焼成 / 胎土 / 色調
13 −5 −5 広口壷 B_3	6−2307 A10 i −YT 1	12.0 20.5 19.3 6.5	口唇部は面を作る。内面端部櫛描波状紋2条、下部横ヘケ。外面縦ヘケ後一部ヨコナデ。	肩部に凸帯を1条、以下肩部に櫛描の直線紋一波状紋2条→直線紋→波状紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底、中央に凹み。黒斑。	良 好 精 良 にぶ橙
14 −5 広口壷 B	6−2344 A10e −YT 1	7.3 — — —	口唇部は面を作る。内外面ともヘケ後ヨコナデ。	胴部欠損。	良 好 精 良 にぶ黄橙
15 −5 広口壷 B	6−1682 A10d −YT 1	18.0 — — —	口唇部は面を作り、7個以上を1組とした棒状浮紋を3ないし4ケ所に貼付。内面端部櫛描波状紋と竹管紋。外面磨滅により調整不明。	肩部に凸帯を1条、その下に櫛描の直線紋と波状紋2条。以下胴部欠損。	良 好 精 良 にぶ橙
16 −5 広口壷 B	6−1376 A10e −YT 1	15.2 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横ヘケ後端部に細かな櫛描扇形紋（刺突紋に似た）を施紋。外面縦ヘケ。	肩部に櫛描の直線紋を4条、その下に刺突紋に似た細かな櫛描扇形紋を2段施した幅広い文様帯。胴部欠損。	やや軟 質 精 良 にぶ橙
17 −5 広口壷F−a	6−2348 A10 i −YT 1	12.1 — — —	幅広い口唇部は面を作りヨコナデ。内面ヘケ後ヘラミガキ？ 外面縦ヘケ後雑なヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋→波状紋2条→扇形紋を施した幅の比較的広い文様帯。文様帯下部ヘラミガキ。下胴部欠損。	良 好 精 良 黄 味 白
18 −6 広口壷 B	6−1687 A10e・h −YT 1	14.6 — — —	口唇部は面を作る。口唇下端棒状器具による刻目紋。内面ヘケ後ヘラミガキ。外面縦ヘケ後ヨコナデ。	肩部の一部残存。無紋、ヘラミガキ。胴部欠損。	良 好 精 良 ピ ン ク
19 −6 広口壷 B	6−1690 A10e・h −YT 1	8.8 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面細かなヘケ。外面ヨコナデ。	肩部の一部残存。無紋、ナデ。胴部欠損。	良 好 精 良 にぶ黄橙
20 −5 −6 広口壷 D_1	6−3308 A10 i −YT 1	12.2 20.9 21.8 6.8	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横ヘケ。外面縦ヘケ。	胴部無紋。外面斜ヘケ後、上胴部縦および横方向の雑なヘラミガキ。下胴部横方向の細かなヘラミガキ。底部ドーナツ底。下腹部に焼成後の穿孔。底部に黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
21 −6 広口壷F−b	6−1696 A10 i −YT 1	17.0 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面ナデ後、端部に櫛の刺突紋。外面縦ヘケ。	肩部の一部残存。肩部に凸帯と櫛描直線紋。胴部欠損。	良 好 精 良 赤 味 橙
22 −6 広口壷F−b	6−1688 A10e・h −YT 1	15.9 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋(左回り数回停止)、下部横方向のヘラミガキ。外面縦ヘケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。肩部に凸帯と櫛描直線紋。胴部欠損。	良 好 精 良 う す 橙
23 −6 広口壷F−b	6−1688 A10e・h −YT 1	14.4 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。口唇下端棒状器具による刻目紋。内面横ヘケ後縦方向のナデ。外面斜ヘケ後ヨコナデ。	肩部の一部残存。無紋、ナデ。胴部欠損。	良 好 精 良 ピ ン ク
24 −6 広口壷F−b	6−1256 A10d −YT 1	16.7 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部磨滅のため調整不明。外面ヨコナデ。	肩部に凸帯を1条、その下に櫛描直線紋と波状紋を交互に施した幅広い文様帯。胴部欠損。	軟 質 砂粒含粘性弱 にぶ橙
25 −6 広口壷F−a	6−1670 A10h −YT 1	16.6 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。後、8個1組の円形浮紋を2ないし3ケ所に貼付。内面端部縁の刺突による羽状紋(1.5段)、下部横方向のヘラミガキ。外面縦ヘケ。	胴部欠損。	良 好 精 良 赤 味 橙
26 −6 広口壷F−a	6−2101 A10 i −YT 1	16.9 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。後、4個1組の棒状浮紋を数ケ所に貼付。内面端部は水平近くまで折り曲げ、そこに施紋法の異なる櫛描刺突紋を2段施す。	胴部欠損。	良 好 精 良 う す 橙
27 −6 −6 壷胴部 I	6−2309 A10 i −YT 1	— — 16.6 6.5	口頸部欠損。	胴部無紋。外面粗い横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。	良 好 砂粒含む 赤 味 橙

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径	法量cm 胴径	法量cm 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 / 胎土 / 色調
28 −6 −6 壺胴部 I	6−1432 A10d −YT1	—	—	13.5 6.3	□縁部欠損。頸部−部残存。内面横ハケ、外面縦ハケ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。一部ハケメ残存。底部浅いドーナツ底。	良 好 砂粒含む にぶ橙
29 −6 −6 小型広口壺B_9	6−1647 A10d −YT1	7.2 13.6 11.7 5.6			□唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋、その下に縦方向の櫛描波状紋を3ヶ所に施文。文様帯下部は上胴部縦、腹部横、下胴部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良 好 精良 にぶ橙
30 −6 −6 小型壺胴部 II	6−1658 A10e −YT1	—	—	12.3 5.7	□縁部欠損。頸部一部残存。内面横ハケ、外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面ハケ後横ないし斜方向のヘラミガキ。底部付近に指頭圧痕、底部平底、ヘラケズリ。第2次焼成の痕跡。	良 好 砂粒含む 赤味橙
31 −6 −6 長頸壺 B	6−2915 A10d −YT1	7.0 13.5 14.0 6.0			□唇部はやや丸味を作る。□唇部から内面にかけてはヨコナデ。外面磨滅のためはっきりしないがハケ後ヘラミガキか。	胴部無紋。外面ハケ後上胴部縦、下胴部横方向の細かなヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。腹部に黒斑。	良 好 精良 にぶ橙
32 −6 短頸壺 C	6−2309 A10i −YT1	21.7 — —			□唇部は幅広い面を作り、面上に櫛の刺突による羽状紋、下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	肩部無紋。外面肩部横ハケ。内面肩部ヘラケズリ。胴部欠損。	良 好 砂粒多含 うす橙
33 −6 甕 A_1	6−1673 A10h −YT1	20.5 — 22.1 7.9			□唇部は面を作る。□唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	外面上胴部斜ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。下胴部は存するが接合せず。脚台部と胴部の境に粘土帯。脚台部外面縦ハケ。内面ナデ。	良 好 砂粒含む 暗い黄茶
34 −6 −7 甕 A_1	6−1658 A10e −YT1	13.7 18.0 15.0 8.3			□唇部は面を作る。□唇下端に棒状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	胴部外面ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部外面縦ハケ。内面指ナデ。	良 好 砂粒含む 暗い黄茶
35 −6 −7 甕 A_1	6−1851 A10d −YT1	14.6 18.5 15.1 7.4			□唇部は面を作る。□唇下端に櫛状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	外面上胴部斜、腹部横、下胴部縦方向のハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部外面ハケ後ナデ。内面ナデ。	良 好 砂粒含む 暗い黄茶
36 −6 −7 甕 A_1	6−1856 A10d −YT1	13.8 16.9 14.1 8.0			□唇部は面を作る。□唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面ナデ、外面ヨコナデ。	外面上胴部斜、腹部横、下胴部縦方向のハケ、煤付着。内面ナデ。内面下部剥離面あり。脚台部外面縦ハケ。内面上部ナデ、下部ハケ。	良 好 砂粒含む 暗い黄茶
37 −6 −7 甕 A_1	6−1659 A10e −YT1	18.8 — 23.1 —			□唇部は面を作る。□唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ、外面ヨコナデ。	胴部外面ハケ、煤付着。内面篦状器具で縦方向のナデ。脚台部欠損。	良 好 砂粒含む 暗い黄茶
38 −6 −7 甕 A_1	6−2346 A10i −YT1	17.6 — 18.8 —			□唇部は面を作る。□唇下端に櫛状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	胴部外面ハケ、煤付着。内面篦状器具によるナデ。脚台部欠損。	良 好 砂粒含む 暗い黄茶
39 −7 甕 A_1	6−1673 A10h −YT1	17.2 — 18.9 —			□唇部は面を作る。□唇下端に篦状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	胴部外面ハケ。内面横方向のナデ。脚台部欠損。外面煤付ていず未使用の可能性がある。	良 好 精良 にぶ黄茶
40 −7 甕 A_1	6−1642 A10d −YT1	16.4 — 18.7 —			□唇部は面を作る。□唇下端から外面にかけて棒状器具で押圧してつけた刻目紋。内面横ハケ。外面ナデ?	胴部外面ハケ、煤付着。内面横ハケ。脚台部欠損。	良 好 砂粒多含 暗い黄茶
41 −7 甕	6−1325 A10h −YT1	18.1 — — —			□唇部は面を作る。□唇下端に篦又は櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	胴部外面ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良 好 砂粒多含 暗い黄茶
42 −7 甕 A_1	6−1694 A10i −YT1	16.4 — 17.2 —			□唇部は面を作る。□唇下端に櫛状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	胴部外面ハケ。内面縦方向のナデ。脚台部欠損。外面煤付ていず未使用の可能性がある。	良 好 砂粒多含 にぶ黄橙

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 底径	技法・調整等の特徴 口縁部（坏部）	技法・調整等の特徴 胴部・脚台部（脚部）	焼成 / 胎土 / 色調
43 −7 / 甕 A1	6−1673 / A10h / −YT1	14.6 / — / 16.2 / —	口唇部は面を作る。口唇下端に篦状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	胴部外面ハケ。内面横方向のナデ。脚台部欠損。外面煤付いていず未使用の可能性がある。	良 好 / 精 良 / に ぶ 黄 橙
44 −7 / 甕 A1	6−1694 / A10i / −YT1	14.3 / — / 15.4 / —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	胴部外面ハケ、煤付着。内面ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良 好 / 精 良 / 暗 い 黄 茶
45 −7 / 甕 A1	6−1683 / A10d / −YT1	12.0 / — / 12.9 / —	口唇部は面を作る。口唇下端に篦状器具による刻目紋。内面横ハケ？ 外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部外面縦方向のハケ、煤付着。内面横方向のナデ。脚台部欠損。	良 好 / 精 良 / 暗 い 黄 茶
46 −7 / 甕 A2	6−2771 / A10i / −YT1	12.8 / 17.2 / 12.8 / 6.9	口唇部は面を作り、面上に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面は縦ハケ後ヨコナデ。	外面上胴部縦、下胴部縦方向のハケ、煤付着。内面上部横方向の篦ナデ、下部ハケ。胴部に明瞭な稜がつく。脚台部外面縦ハケ後ナデ。内面ナデ。	良 好 含 茶 / 砂 粒 多 含 / 暗 い 黄
47 −7 −7 / 甕 A2	6−2340 / A10e / −YT1	15.1 / 17.2 / 14.7 / 6.0	口唇部は面を作り、面上に櫛又は櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後ナデ。外面粗い縦ハケ。	外面上胴部横、下胴部斜方向の粗いハケ、煤付着。内面上部横方向の篦ナデ、下部ハケ。内面下部に炭化物付着。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部内外面ともヨコナデ。	良 好 む / 砂 粒 含 / 暗 い 暗 茶
48 −7 −8 / 甕 B2	6−1641 / A10d / −YT1	12.4 / 17.2 / 11.4 / 7.2	口唇部は面を作り、面上に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ。	外面斜方向のハケ、腹部のみ横ハケ、煤付着。内面上部横方向の篦ナデ。下部横ハケ。内面下部に炭化物付着。脚台部外面斜ハケ。内面横ハケ。	良 好 む / 砂 粒 含 茶 / 暗 い 黄
49 −7 / 甕 B3	6−1695 / A10i / −YT1	22.2 / — / 22.8 / —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後ナデ？ 外面縦ハケ後ヨコナデ。	外面斜方向のハケ、煤付着。内面横方向のハケ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良 好 む / 砂 粒 含 茶 / 暗 い 黄
50 −7 / 甕 B4	6−2346 / A10j / −YT1	20.6 / — / 20.3 / —	折返しによって肥厚させた口縁部。口唇部は面を作り、下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ナデ。	外面横方向の細かなハケ、煤付着。内面横方向のナデ。脚台部欠損。	や や 軟 質 / 砂 粒 多 含 / 暗 い 黄 茶
51 −7 / 甕脚台部 A	6−2351 / A10i / −YT1	— / — / — / 6.8	口縁部欠損。	上胴部欠損。下胴部の一部残存。下胴部内外面ともナデ調整、外面煤付着。脚台部外面縦ハケ。内面ヨコナデ。	良 好 む 橙 / 砂 粒 含 / に ぶ 黄
52 −7 / 甕	6−1694 / A10i / −YT1	40.4 / — / — / —	口唇部は面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内外面ともナデか。	胴部外面縦ハケ。内面ハケ後ナデか。胴部欠損。	良 好 む 茶 / 砂 粒 含 / 暗 い 黄
53 −7 / 高 坏 B2	6−1692 / A10e・h / −YT1	24.0 / — / — / —	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部欠損。	良 好 / 精 良 / 赤 味 橙
54 −7 −8 / 高 坏 B2	6−2343 / A10e / −YT1	16.1 / — / — / —	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面ともヘラ後、縦方向の比較的雑なヘラミガキ。	脚部欠損。	良 好 / 精 良 / 赤 味 橙
55 −7 / 高 坏 B2	6−1672 / A10h / −YT1	21.8 / — / — / —	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。坏上部は内外面とも磨滅のため調整不明。坏下部内面縦方向の丁寧なヘラミガキ、外面磨滅のため調整不明。坏上部内外面丹彩。	脚部欠損。脚と脚部の接合は円板充填法。	軟 質 良 / 精 う す 橙
56 −7 / 高 坏 B2	6−1657 / A10e / −YT1	18.1 / — / — / —	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内面上部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキ。外面上部ヨコナデ一部ヘラミガキ、下部縦ハケ。脚部との接合は円板充填法。	脚部欠損。	良 好 良 / 精 う す 橙
57 −7 / 高 坏 B3	6−2351 / A10i / −YT1	19.6 / 16.1 / — / 8.8	口唇部は面を作る。坏部無紋。口縁部は内外面ともヨコナデ。坏部外面磨滅のため調整不明。内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。脚部との接合は円板充填法。	脚部無紋。外面ハケ後ナデ？ 内面ナデ。	や や 軟 質 良 / 精 う す 橙

別図版 写真図版 番号	登録番号 出土位置	法量cm 口径・器高・底径	技法・調整等の特徴 坏部	脚部	焼成 胎土 色調
58 —7	6—2353	—	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部横ハケ。裾端面は円頭状に作りヨコナデ。	良 好
		—			精 良
	A10 i	—			赤 味 橙
高坏脚部 A_2	—YT 1	15.0			
59 —8	6—1849	—	坏上部欠損。下部一部残存。内面縦方向のヘラミガキ。外面磨滅のため調整不明。	脚上部に3条、裾部に2条の櫛描直線紋。幅広い間帯部は無紋で縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ？ 下部横ハケ。裾端面は面。	良 好
		—			精 良
	A10d	—			赤 味 橙
高坏脚部 A_2	—YT 1	14.6			
60 —8	6—1677	—	坏部欠損。	脚上部から裾にかけて櫛描の直線紋と刺突紋を組み合わせた文様帯。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。裾端面は面を作る。坏部との接合は円板充填法。	良 好
		—			精 良
	A10d	…			赤 味 橙
高坏脚部 A_2	—YT 1	15.4			
61 —8	6—2341	—	坏部欠損。	脚上部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋を施紋。文様帯下部横方向の粗いハケ後ナデ、ヘラミガキ。裾部ヨコナデ。内面上部ジボリ、下部ハケ。裾端面は面。透孔3ケ所。	良 好
		—			精 良
	A10e	—			赤 味 橙
高坏脚部 A_2	—YT 1	13.9			
62 —8	6—1977	—	坏部欠損。	脚上部から裾にかけての幅広い範囲に、櫛描の直線紋と刺突紋を組み合わせた文様がつく。内面上部ジボリ、下部ナデ。裾端面は面を作る。円形透孔3ケ所。	良 好
		—			精 良
	A10i	…			う す 橙
高坏脚部 A_3	—YT 1	15.0			
63 —8	6—1678	…	坏部欠損。	脚上部から裾にかけての幅広い範囲に、櫛描の直線紋と刺突紋を組み合わせた文様がつく。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。裾端面は円頭状。	良 好
		—			精 良
	A10d	—			う す 橙
高坏脚部 A_2	—YT 1	14.6			
64 —8	6—1691	—	坏部欠損。	脚上部から裾にかけての幅広い範囲に、櫛描の直線紋と刺突紋を組み合わせた文様がつく。文様帯下部縦ハケ。内面上部ジボリ、下部ハケ。裾端面は面。円形透孔3ケ所。	良 好
		—			精 良
	A10e・h	—			赤 味 橙
高坏脚部 A_2	—YT 1	15.2			
65 —8	6—1677	—	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を1条施す他は無紋。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ヨコナデ。裾端面は円頭状に作る。円形透孔3ケ所。	良 好 む
		—			砂 粒 含
	A10d	—			に ぶ 橙
高坏脚部 A_6	—YT 1	15.2			
66 —8	6—1499	—	坏部欠損。	脚部の小破片。外面上部縦ハケ、裾部のみヨコナデ。内面横ハケ。裾端面は円頭状に作る。	良 好 む
		—			砂 粒 含
	A10i	…			に ぶ 橙
高坏脚部 D	—YT 1	11.6			
67 —8	6—2353	…	坏上部欠損。下部一部残存。内外面とも細かなヘラミガキ。	坏部の境に粘土帯を1条施す他は無紋。外面縦ハケ後、縦方向の細かなヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。裾端面は折返して円頭状に作る。	良 好
		—			精 良
	A10i	…			に ぶ 橙
高坏脚部 D	—YT 1	10.5			
68 —8	6 1251	…	坏上部欠損。下部一部残存。内面ハケ。外面ヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。裾端面は円頭状に作る。	良 好
		—			精 良
	A10d	—			う す 橙
高坏脚部 D	—YT 1	8.2			
69 —8	6—2353	…	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。裾端面は円頭状に作る。	良 好
		—			精 良
	A10i	—			に ぶ 橙
高坏脚部 D	—YT 1	7.1			
70 —8	6—2353	—	坏部欠損。	脚上部から裾にかけての幅広い範囲に、櫛描の直線紋と刺突紋を交互に施した文様がつく。文様帯下部縦ハケ。内面ナデ。裾端面は円頭状。円形透孔5ケ所。中実。	や や 軟 質
		—			精 良
	A10i	…			う す 橙
高坏脚部 D	—YT 1	11.9			
71 —8	6—1525	—	坏部欠損。	脚上部から裾にかけての範囲に櫛描直線紋と竹管紋を組み合わせた文様がつく。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。裾端面は面を作る。円形透孔2個1組3ケ所。	良 好
		—			精 良
	A10d	—			に ぶ 橙
高坏脚部 D	—YT 1	10.4			
72 —8	6—2374	—	坏部欠損。	脚上部から裾にかけての範囲に櫛描の直線紋と刺突紋を交互に施した文様がつく。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。内面ハケ。裾端面は面を作る。	良 好
		—			精 良
	A10d	—			赤 味 橙
高坏脚部 D	—YT 1	10.3			

番号 別刷図版 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
73 −8 高坏脚部E	6−2343 A10e −YT1	— — — 19.6	坏部欠損。	いわゆるパンタロン形態の脚部破片。外面縦方向のヘラミガキ。脚および裾端面は面をなる。内面磨滅により調整不明。	良 好 精 良 に ぶ 橙
74 −8 高坏脚部E	6−2350 A10i −YT1	— — — 16.4	坏部欠損。	いわゆるパンタロン形態の脚部破片。外面磨滅のため調整不明。内面ヨコナデ。脚には折返しによる段がつく。裾端面は円頭状に作る。	良 好 精 良 赤 味 橙
75 −8 高坏脚部F	6−1692 A10e・h −YT1	— — — 9.6	坏部欠損。	脚部の小破片。底部より2cm程上で明瞭な段を付け、外面に縦鋭(LR)を施す。脚上部ヘラミガキ。内面ナデ。裾端面は面?	良 好 砂 粒 多 色 茶
76 −8 高坏脚部F	6−1684 A10d −YT1	— — — —	高坏日の坏下部破片。内面斜方向のヘラミガキ。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。脚部との境に棒の押圧構線を6条施紋。	脚部欠損。	良 好 砂 粒 多 含 む 黄 味 白
77 −8 −8 鉢 A1	6−7852 A10d −YT1	13.2 16.4 10.5 5.9	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面斜方向の櫛刺突紋。	胴部無紋。外面上胴部縦、腹部横、下胴部縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底。	良 好 精 良 赤 味 橙
78 −8 鉢 A1	6−1029 A10h −YT1	15.2 11.8 17.4 6.9	口唇部は内側にわけて面取りする。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面ハケ後ナデ。底部平底、砂粒付着。	良 好 精 良 赤 味 橙
79 −8 鉢 C2	6−1252 A10d −YT1	8.4 — 9.7 —	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面斜方向の櫛刺突紋。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部欠損。外面のみ丹彩。	やや軟質 精 良 赤味橙(丹彩)
80 −8 −8 鉢 D	6−2916 A10d −YT1	11.0 8.2 12.1 5.1	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向の細かなヘラミガキ。内面上部ハケ後ナデ、下部縦方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。下胴部と底部に黒斑。	良 好 精 良 白 黄 味 白
81 −8 −8 鉢 D	6−1649 A10d −YT1	10.8 7.4 10.3 5.0	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	口頸部の境に沈線を1本施す他は無紋。胴部外面縦方向のヘラミガキ。内面ハケ後ナデか。底部ドーナツ底。	良 好 砂 粒 含 む 明 る い 黄 橙
82 −8 台付鉢 A1	6−2375 A10d −YT1	14.6 — 14.4 —	口唇部は面を作りヘラミガキ。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。口縁部外面に黒斑。	胴部無紋。	良 好 精 良 に ぶ 橙
83 −8 台付鉢 A2	6−1441 A10h −YT1	10.2 — 10.4 —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面ヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。脚台部欠損。	良 好 精 良 に ぶ 橙

B群(B10区・B11区YT1)

84 −9 −8 広口壷 B1	3−520 B11c −YT1	11.4 16.9 16.3 5.7	口唇部は面を作る。内面端部に櫛描波状紋2条施紋、下部磨滅のため調整不明。外面端部ヨコナデ、頸部にかけては縦方向の指ナデ。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した文様帯。文様帯下部は胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。内面板状施紋具によるケズリ。底部に穿孔。	良 好 精 良 赤 味 橙
85 −9 −8 広口壷 B1	4−1377−5 B11b −YT1	9.5 16.1 15.5 6.1	口唇部は面を作る。内面ハケ後ヨコナデ。内面頸部に紡ぎ目と合せ目。外面縦方向の細かなハケ後端部のみヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋3条を施した文様帯。文様帯下部は磨滅によりはっきりしないがハケ後ヘラミガキか。底部平底。口縁部内面と上胴部に黒斑。	良 好 精 良 白 黄 味 白
86 −9 −9 広口壷 B1	4−1377−58 B11b −YT1	11.1 18.9 17.0 7.2	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部に要を上にした櫛描扇形紋、下部横ハケ。外面細かな縦ハケ後口縁端部と頸部にヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋と扇形紋を交互に施した文様帯。文様帯下部は磨滅によりはっきりしないがハケ後横方向のヘラミガキか。底部平底、砂粒付着。	良 好 精 良 赤 味 橙

番号	別冊図版 / 写真図版	器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径	法量cm 胴部径	法量cm 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・底部（脚台部）	焼成 / 胎土 / 色調
87	—9	広口壺 B_2	4—1377 B11b —YT1	8.4 14.6 13.6		6.0	口唇部は面を作り、3個1組の棒状浮紋を3ヶ所に貼付。内外面ともハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋と斜突紋を交互に施した文様帯。最下段斜突紋上には口唇部棒状浮紋と同位置に3個1組とした円形浮紋がつく。下部ヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 黄味白
88	—9 —9	広口壺 B_1	4—1377—53 B11b —YT1	12.0 16.9 16.2 7.6			口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部に要を上にした櫛描扇形紋、下部磨滅により調整不明。外面縦ハケ。	頸部との境に櫛の押圧横線を1条、その下肩部には縦方向に施した櫛描紋で区画を作り、その中に斜格子状の櫛描紋を施紋。文様下部に円形浮紋5ヶ所。底部平底。	良好 精良 にぶ橙
89	—9 —9	広口壺 B_3	7—2503 B11a —YT1	10.8 16.7 15.9 5.0			口唇部は面を作り、櫛の刺突紋。内面端部水平面を作り、櫛の刺突紋、下部はナデ。外面細かな縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋→刺突紋→刺突羽状紋→扇形紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	良好 やや粘性弱い にぶ橙
90	—9 —9	広口壺 B_1	4—1377—51 B11b —YT1	10.5 18.1 16.2 6.2			口唇部は面を作る。内面ハケ後ヨコナデ。外面磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底、ヘラミガキ？　頸部と胴部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
91	—9 —9	広口壺 B_3	3—518 B11c —YT1	13.5 26.3 18.0 5.7			口唇部は面を作る。内面端部縄紋（LR）、下部磨滅により調整不明。外面端部ハケ、頸部にかけては縦方向のヘラミガキ。	肩部に低い凸帯を1条、その下に4個1組の棒状浮紋を3ヶ所に貼付。肩部から上胴部には縄紋（LR）。下胴部は横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。黒斑あり。	良好 砂粒多含 黄味白
92	—9	広口壺 B_4	番号不明 B11b —YT1	11.1 17.3 17.0 4.4			口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部横方向のヘラミガキ。外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→扇形紋を施した幅の狭い文様帯。文様帯下部は磨滅のため調整不明。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 黄味白
93	—9 —9	広口壺 F_1	4—1377—1 B11b —YT1	8.4 14.2 15.0 5.4			口唇部は面を作りヨコナデ。後、面上に3個1組の棒状浮紋を4ヶ所に貼付。内面横ハケ後ヨコナデ。外面細かな縦ハケ。	肩部に凸帯が1条、以下櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋→刺突紋→直線紋→扇形紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良好 精良 にぶ橙
94	—9 —10	壺胴部 I	6—2345 B10g —YT1	— — 24.5			口縁部欠損。頸部内面横方向のヘラミガキ。外面縦方向のヘラミガキ。上胴部の大型破片。	肩部最上段に凸帯と櫛の刺突紋、その下上胴部には櫛描の直線紋と扇形紋2段を交互に施し、その上に2個1組の円形浮紋とその下より垂下する櫛描波状紋を4ヶ所に配す。	軟質 砂粒多含 にぶ黄橙
95	—9	壺胴部 I	4—1377—52 B11b —YT1	— — 18.5			口頸部欠損。	頸部との境に櫛の押圧横線を3条、以下肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→刺突紋→直線紋→波状紋と施した幅広い文様帯。文様帯下部ヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良好 砂粒多含 赤味橙
96	—9 —10	小型広口壺 A_1	4—1377 B11b —YT1	9.1 11.9 11.9 6.2			口唇部は面を作り、櫛の刺突紋を施す。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部横方向のヘラミガキ、下胴部磨滅により調整不明。底部平底。	良好 精良 赤味橙
97	—9 —10	小型広口壺 A_1	4—1377—14 B11b —YT1	6.1 10.8 10.8 4.6			口唇部は面を作る。内面要を上にした櫛描扇形文。外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の波状紋→扇形紋→直線紋→扇状形を施紋。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部平底。胴部に黒斑。	やや軟質 砂粒含粘性弱 黄味白
98	—9 —10	小型広口壺 A_1	6—2382 B10g —YT1	7.7 11.9 10.4 5.0			口唇部は面を作りヨコナデ。内面横方向の細かなハケ。外面縦方向のハケ後口縁端部と頸部にヨコナデ。	胴部無紋。外面ハケ後、上胴部にのみ斜ないし横方向のナデ調整。底部ドーナツ底、砂粒付着。胴部にかなり大きな黒斑。	良好 精良 にぶ橙
99	—9 —10	壺胴部 IV	4—519 B11c —YT1	— — 12.1 5.3			口頸部欠損。	胴部無紋。外面全面丁寧なヘラミガキ。底部あげ底。胴部に一対の黒斑。	良好 精良 にぶ橙
100	—9	小型壺胴部 I	3—564 B11c —YT1	— — 10.1 4.0			口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋を施紋。文様帯下部は磨滅により調整不明。底部平底、砂粒付着。胴部2ヶ所に黒斑。	軟質 砂粒多含 黄味白
101	—10 —10	甕 A_1	番号不明 B10 —YT1	17.8 18.0 18.4 8.5			口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面横方向のナデ。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部内外面ともナデ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶

番号	別図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径・底径・器高	技法・調整等の特徴 口縁部（坏部）	胴部・底部（脚台部）	焼成 胎土 色調
器種・形態						
102	−10 −10	6−1644 A10d	15.2 — 16.9	口縁部は面を作る。口縁下端に施状器具による刻目紋。内外面とも横ハケ。	胴部外面斜方向の粗いハケ、煤付着。内面上部ナデ、下部横ハケ、内面下部に炭化物付着。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部外面ハケ。内面ナデ。脚台底部は欠損。	良 砂粒多含 暗い黄茶
甕	A_4	−YT1	—			
103	−10 −11	4−1377−10 B11b	16.9 — 18.4	口唇部は面を作る。口縁下端に施状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面横ハケ後ヨコナデ。	胴部外面斜ハケ、腹部のみ横ハケ、煤付着。内面板状器具による丁寧なナデ、下部に炭化物付着。脚台部欠損。	良 砂粒含む 暗い黄茶
甕	A_4	−YT1	—			
104	−10 −11	6−2381 B10g	15.7 — 19.3	口唇部は面を作り、面上に櫛状器具による刻目紋。内外面ともナデ。	胴部外面施状器具によるナデ、煤付着。内面もやはり板状器具によるナデ調整。脚台部欠損。	良 精 暗い黄茶
甕	A_3	−YT1	—			
105	−10	番号不明 B11b	15.0 — 14.6	口唇部は面を作る。口縁下端に櫛状器具による刻目紋。内外面とも横ハケ。	胴部外面右下りの粗い斜ハケ。内面板状器具によるナデ。脚台部下部欠損。上部は脚滅のため調整不明。	良 砂粒多含 暗い黄茶
甕	B_1	−YT1	—			
106	−10	6−2305 B10g	— — —	口頸部欠損。	脚台部の破片。高坏の脚である可能性もある。外面縦ハケ後ナデ。内面ナデ。	良 砂粒含む 黄茶
甕脚台部	A	−YT1	9.5			
107	−10 −11	番号不明 A11b	19.7 19.1 24.3	口唇部は面を作りハケ調整。剥ろは施さない。内面横ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。外面斜ハケ後ナデ。	めずらしく脚台部の付かない器形。外面右下りの斜ハケ、下胴部の一部ヘラミガキ、煤付着。内面丁寧なナデ。底部ドーナツ底。	良 砂粒含む 暗い黄茶
甕	H	−YT1	7.1			
108	−10	7 2466 B11a	17.8 — —	口唇部は面を作る。坏部無紋。内面横ハケ。外面磨滅のため調整不明。	脚部欠損。	やや軟質 精良 にぶい橙
高坏		−YT1	—			
109	−10 −11	7−2502 B11a	— — —	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋（3歯／5㎜）を8条程連続施紋。文様帯下部縦方向のヘラミガキ、裾部ヨコナデ。内面上部ナデ、下部横ハケ。裾端面は面。円形透孔2個1組3ケ所。	良 精 にぶい橙
高坏脚部	A_4	−YT1	14.8			
110	−10	6−2305 B10g	— — —	坏部欠損。	脚部無紋。外面ハケ後縦方向の粗いヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。坏部との接合は円板充填法。	良 精 にぶい黄茶
高坏脚部	B_1	−YT1	15.0			
111	−10	7−2502 B11a	— — —	坏上部欠損。下部一部残存。内面縦方向のヘラミガキ。外面磨滅のため調整不明。	脚部外面磨滅のため調整不明。内面上部ナデ。下部横ハケ。裾端面は円頭状に作る。	良 精 にぶい橙
高坏脚部	D	−YT1	7.3			
112	−10 −11	4−1377−50 B11b	11.8 7.7 13.4	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面櫛の刺突紋（斜）。	肩部に櫛描の直線紋と扇形紋を施紋。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底、砂粒付着。	良 精 にぶい橙
鉢	A_2	−YT1	6.6			
113	−10 −11	7−1661 B11b	8.8 7.8 10.0	口唇部は面を作る。内面横ハケ後ヨコナデ。外面端部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面横ハケ。底部ドーナツ底。	良 精 にぶい橙
鉢	B_2	−YT1	5.0			

C群（A10区YT2東壁）

114	−10	6−2573 A10f	13.7 26.2 25.2	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に低い凸帯を1条施す他は無紋。外面縦ハケ後ヘラミガキか。内面ハケ。底部平底。腹部に小さな黒斑。	良 精 黄味白
広口壺	B_2	−YT2	5.5			
115	−11	6−2588 A10f	14.3 29.2 24.0	口唇部は面を作り粗いハケ。内面横・斜方向の粗いハケ。外面粗い斜ハケ後ヨコナデ。	肩部に低い凸帯を1条、その下に櫛先端による刺突紋を間隔をあけて2段。間帯部には刷毛による羽状紋。文様帯下部は斜ハケ後ヘラミガキ。底部平底。胴部に黒斑。	良 精 うす橙
広口壺	C_1	−YT2	6.6			

番号	別冊図版 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部（脚台部）	焼成 胎土 色調
116	−11 −12 広口壷 C_1	6−2574 A10 f −YT 2	14.9 23.0 24.6 6.7	口唇部は面を作る。内面横ハケ。外面縦ハケ後、頸部のみ横方向のヘラミガキ。	肩部に低い凸帯を1条、その下に櫛先端による刺突紋→斜ハケ→刷刺突紋→羽状のハケを施紋。ハケは粗く、櫛の役目を果す。下部横ヘラミガキ。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 にぶい橙
117	−10 −11 壺胴部 Ⅲ	6−2585 A10 f −YT 2	— — 26.5 7.5	口縁部欠損。頸部一部残存。内面摩滅のため調整不明。外面ヨコナデ。	頸部との境に低い凸帯を1条施すが他は胴部無紋。外面斜ハケ後横方向の細かなヘラミガキ。底部平底。上胴部に黒斑。	良好 精良 黄味白
118	−11 −12 壺胴部 Ⅲ	6−2582 A10 f −YT 2	— — 18.8 6.0	口縁部欠損。頸部一部残存するが摩滅のため内外面とも調整不明。	胴部無紋。外面上胴部横方向のヘラミガキ後縦方向のヘラミガキ。下胴部横方向のヘラミガキ。内面板状器具によるナデ。底部ドーナツ底。	良好 砂粒含む にぶい橙
119	−11 甕 B_1	6−2589 A10 f −YT 2	15.4 — 15.7 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	胴部外面縦方向のハケ、煤付着。内面横方向のハケ。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
120	−11 −12 高坏 D_1	6−2581 A10 f −YT 2	24.0 21.1 — 15.1	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも磨滅して調整痕ははっきりしないが、全面縦方向のヘラミガキのようである。	脚部外面全面縦方向のヘラミガキ後、脚上部に櫛描直線紋をやや間隔をあけて2条施紋。内面上部紋り目、下部横ハケ。裾端面は凹を作る。円形透孔3ケ所。	良好 精良 うす橙
121	−11 −12 鉢 B_1	6−2580 A10 f −YT 2	11.1 8.9 11.6 4.8	口唇部は円頭状に作る。口唇部から内面にかけてはヨコナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部横方向の丁寧なヘラミガキ、下胴部横方向の雑なヘラミガキ。内面上部と下部ハケ、中央付近はナデ。底部ドーナツ底。	良好 精良 にぶい橙
122	−11 −12 鉢 C_1	6−2569 A10 f −YT 2	15.4 14.9 16.8 7.0	口唇部は面を作る。内面横ハケ後ヨコナデ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部縦方向の丁寧なヘラミガキ、下胴部横方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底、砂粒付着。内面下部に黒斑。	良好 精良 赤味橙

D群（A10区ＹＴ９西縁）

123	−11 受口壷 A_2	6−2649 A10 f−D	12.1 — — —	口唇部は面を作り、面上に櫛描波状紋を施す。内面ヨコナデ。外面端部に櫛の押圧横線を2条、その下に櫛の刺突紋を1段施す。文様帯下部は斜ハケ。	肩部一部残存。頸部との境に低い凸帯を1条、その下に櫛描直線紋を施紋。胴部欠損。	良好 砂粒含む 赤味橙
124	−11 広口壷 B_1	6−1997 A10 f−D	15.8 — 24.0 7.3	口唇部は上部より押えつけるようにして幅広い面を作り櫛描波状紋を施す。内面ナデ後端部に櫛描波状紋。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋2条→直線紋→波状紋を施した文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底、木葉痕が残る。	軟質 精良 うす橙
125	−11 広口壷 A	6−2744 A10 f−D	17.0 — — —	口唇部は端部を下方に引き延して幅広い面を作りヨコナデ。内面端部要を右にした櫛描簡形紋、下部は磨滅のため調整不明。外面縦ハケ。	胴部欠損。	良好 精良 赤味橙
126	−11 広口壷 A	6−2722 A10 f−D	13.4 — — —	口唇部は面を作り、櫛の刺突紋を施紋。内面端部にも同一器具による刺突紋。外面磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。頸部との境に口縁部と同じ櫛を用いた羽状紋を施紋。胴部欠損。	軟質 砂粒含む うす橙
127	−11 広口壷 B_4	6−1980 A10 b−D	11.6 18.8 20.2 7.0	口唇部は面を作る。内面端部櫛描波状紋、下部ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描波状紋を2条施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部縦ハケ後横方向のヘラミガキ。内面下部粗い横ハケ。底部ドーナツ底、砂粒付着。胴部に一対の黒斑。	良好 精良 黄味白
128	−11 −13 広口壷 B_4	6−2664 A10 b−D	11.1 14.9 14.5 5.3	口唇部は面を作り、櫛描波状紋を施す。後、2個1組の棒状浮紋を4ケ所に貼付。内面端部櫛描波状紋、下部ナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→扇形紋を施した文様帯。扇形紋の上には2個1組の円形浮紋が4ケ所。文様帯下部斜方向のヘラミガキ。ドーナツ底、木葉痕付着。	良好 精良 にぶい橙
129	−12 −13 広口壷・B_4	6−2262 A10 a−D	14.7 25.3 23.5 7.0	口唇部は肥厚させ面を作り、沈線（強いヨコナデかも知れない）を1条施す。内外面はともヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した文様帯（左回り数回巻止）。文様帯下部磨滅のため調整不明。内面下部はハケ。底部平底。	やや軟質 粘性弱い 黄味白

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
130 −12 広口壷 B_4	6−2666 A10f−D	14.6 − 24.4 −	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部横方向のヘラミガキ。外面横方向のヘラミガキ。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した後、その上に縦方向の櫛描直線紋を4ケ所に施紋。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面ハケ。底部欠損。	良好 精良 黄味白
131 −12 −13 広口壷 B_4	6−1800 A10f−D	10.4 17.2 15.1 7.2	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部に縦方向の櫛刺突紋を1段施す他は無紋。外面上胴部縦方向のヘラミガキ、下胴部横方向のヘラミガキ。内面横ハケ、底部平底。	良好 精良 黄味白
132 −12 広口壷 B	6−2607 A10f −YT2	11.8 − − −	口唇部は上部より押えつけるようにして幅広い面を作り、櫛描波状紋。内面端部櫛描波状紋、その下に刺突紋。外面磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。頸部との境に低い凸帯を1条、その下に櫛の刺突紋を施紋。胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
133 −12 広口壷 B	6−2743 A10f−D	10.4 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。櫛描の波状紋と直線紋を交互に施紋。	良好 精良 うす橙
134 −12 広口壷 B	6−2434 A10f−D	12.3 − − −	口唇部は面を作り、横ハケ。後、下端部に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後横方向のヘラミガキ。外面縦方向の粗いハケ。	肩部の一部残存。頸部との境に櫛の押圧横線を1条、その下に櫛の先端による刺突紋を施紋。胴部欠損。	良好 精良 うす橙
135 −12 広口壷 B	6−2644 A10f−D	12.9 − − −	口唇部は面を作る。内面端部櫛描波状紋、下部ナデか。外面ヨコナデ。	上胴部の破片。肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施した幅狭い文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。内面には粘土帯の合わせ目が良く残る。	軟質 精良 うす橙
136 −12 広口壷 B	6−2669 A10f−D	13.8 − − −	口唇部は円頭状に作る。内面端部櫛描波状紋、下部磨滅のため調整不明。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部欠損。	やや軟質 砂粒含む うす橙
137 −12 広口壷 B	6−2723 A10f−D	11.6 − − −	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。櫛描の直線紋と波状紋を交互に施紋。胴部欠損。	やや軟質 砂粒含む にぶ橙
138 −12 −13 広口壷 C_1	6−2262 A10a−D	13.1 − 27.4 −	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	肩部に稚拙な感じのする櫛描の波状紋2条と扇形紋を施した幅狭い文様帯。文様帯下部は底部まで横方向のヘラミガキ。内面上部指ナデ、下部ハケ。底部欠損。	良好 精良 うす橙
139 −12 広口壷 C_2	6−2703 A10b−D	9.6 23.9 16.8 6.0	口唇部は面を作り、櫛の刺突紋あるいは縄紋を施す。内面ヨコナデ。外面粗い縦ハケ後、頸部のみ縦方向のヘラミガキ。	肩部に3個1組の円形浮紋を4ケ所に貼付。肩部から上胴部にかけては羽状縄紋。文様帯下部は横方向のヘラミガキ。底部平底。東（中遠地域）からの搬入品か。	良好 砂粒多含 うす黄
140 −12 広口壷 C	6−2731 A10f−D	12.4 − − −	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	上胴部の破片。肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。下胴部欠損。	やや軟質 精良 うす橙
141 −12 広口壷 C	6−2406 A10f−D	16.7 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。内面端部に凹線紋状の沈線がつく。	胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
142 −12 広口壷 C	6−2650 A10f−D	13.5 − − −	口唇部は上部より押えつけるようにして幅広い面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部欠損。	やや軟質 砂粒多含 にぶ橙
143 −12 広口壷 C	6−2464 A10f−D	13.8 − − −	口唇部は上部より押えつけるようにして幅広い面を作る。内面ヨコナデ。外面斜ハケ。	肩部の一部残存。無紋。調整は磨滅により不明。胴部欠損。	良好 精良 黄味白
144 −12 −13 広口壷 D_3	6−1503 A10b−D	10.7 14.4 14.2 5.3	口唇部は円頭状に作る。内面端部櫛描波状紋（右回り2回停止）、下部ヨコナデ。外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施文（左回り数回停止）。文様帯下部は横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。下胴部から底部にかけて黒斑。	良好 精良 黄味白

番号 別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
器種・形態					
145 −12 −14	6−1367	12.7	口唇部は円頭状に作る。内面縦方向の丁寧なヘラミガキ、頸部付近は横方向のヘラミガキ。外面も縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部縦方向の丁寧なヘラミガキ。下胴部磨滅のためはっきりしないが横方向のヘラミガキか。内面板状器具によるナデ。底部欠損。	良 好 精 良 う す 橙
	A10a−D	—			
広口壺 D_3		15.8			
		—			
146 −12 −14	6−2686	7.3	口唇部は円頭状に作る。口唇部から内外面端部にかけてはヨコナデ。内外面は縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部縦方向の丁寧なヘラミガキ。下胴部磨滅のため調整不明。内面下部ハケ。底部平底、ヘラケズリ。	良 好 精 良 に ぶ 橙
	A10C−D	13.0			
広口壺 D_3		11.5			
		5.8			
147 −12	6−2841	14.4	口唇部は面を作りヨコナデ。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部欠損。	良 好 精 良 赤 味 橙
	A10f−D	—			
広口壺 D		—			
		—			
148 −12	6−2644	13.2	口唇部は面を作り、下端部に櫛状器具による刺目紋。内面横ハケ。外面磨滅のため調整不明。	胴部欠損。	良 好 精 良 赤 味 橙
	A10f−D	—			
広口壺 D		—			
		—			
149 −13	6−2553	14.0	口唇部は面を作る。内面縦方向の丁寧なヘラミガキ、頸部付近は横方向のヘラミガキ。外面磨滅のため調整不明。	頸部との境に低い凸帯を1条、その下胴部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した文様帯。文様帯下部は磨滅のため調整不明。内面ハケ。底部ドーナツ底。	軟 質 精 良 黄 味 白
	A10b−D	26.0			
広口壺 E_1		24.4			
		6.3			
150 −13	6−1008	13.3	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。磨滅のためはっきりしないが、肩部に櫛描直線紋の痕跡がわずかに残る。胴部欠損。	軟 質 精 良 黄 味 白
	A10b−D	—			
広口壺 E		—			
		—			
151 −13 −14	6−2204	17.9	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横ハケ後ヨコナデ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施した幅狭い文様帯。文様帯下部は斜ハケ後横方向のヘラミガキ。内面横ハケ。底部欠損。	良 好 精 良 黄 味 白
	A10a−b	—			
広口壺 F_4		27.0			
		—			
152 −13	6−2265	12.0	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部に櫛描の波状紋→直線紋→波状紋を施した幅狭い文様帯。文様は回転を利用しないで描いた線で種抽な感じがするもの。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部平底。	や や 軟 質 精 良 黄 味 白
	A10a−D	24.2			
広口壺 F_4		23.2			
		6.0			
153 −13 −14	6−2522	12.8	口唇部は面を作る。内面端部に櫛描波状紋、下部はナデか。外面ヨコナデ。	肩部に櫛描直線紋を2条施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部は磨滅のため調整不明。内面横ハケ。底部平底。胴部に一対の黒斑。	軟 質 やや粘性弱い に ぶ 橙
	A10b−D	23.2			
広口壺 F_4		21.3			
		6.3			
154 −13	6−2607	13.2	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部欠損。	や や 軟 質 砂 粒 含 に ぶ 橙
	A10f−D	—			
広口壺 F−a		—			
		—			
155 −13	6−2607	13.5	口唇部は面を作り、下端部に櫛状器具による刺目紋。内外面は磨滅のため調整不明。	胴部欠損。	良 好 砂 粒 含 に ぶ 橙
	A10f−D	—			
広口壺 F−a		—			
		—			
156 −13	6−2432	16.2	口唇部は面を作りヨコナデ。後、面上に8個1組の棒状浮紋を数ケ所貼付。内面端部に櫛描波状紋、その下に扇形紋。外面細かな縦ハケ。	胴部欠損。	良 好 精 良 に ぶ 橙
	A10f−D	—			
広口壺 F−a		—			
		—			
157 −13	6−2606	14.1	口唇部は面を作り、面上に櫛による刺突紋を施す。内面端部櫛描波状紋、下部横方向のヘラミガキ。外面粗い縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。頸部との境に低い凸帯を1条、その下肩部には刷毛状器具で斜線を施紋。胴部欠損。	良 好 精 良 に ぶ 橙
	A10f−D	—			
広口壺 F−b		—			
		—			
158 −13	6−2840	26.9	口唇部は幅広い面を作り、櫛の刺突による羽状紋を施す。内面端部も口唇部と同じ羽状紋。内面下部は丁寧なヘラミガキ。外面縦ハケ。	肩部の一部残存。頸部との境に断面三角形の幅広い凸帯を1条施し、その上辺と下辺に櫛の刺突による羽状紋を施紋する。胴部欠損。	良 好 砂 粒 含 黄 味 白
	A10f−D	—			
広口壺 F−b		—			
		—			
159 −13	6−2518	—	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部斜ハケ。下胴部横方向のヘラミガキ。内面下部ハケ。底部平底。胴部に黒斑。	良 好 砂 粒 多 含 う す 橙
	A10b−D	—			
壺 胴部 I		16.6			
		5.9			

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・底部	焼成 胎土 色調
160 −13 −14 / 壺胴部Ⅲ	6−2805 A10f−D	— — 18.9 7.6	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅により調整不明。底部平底。胴部2ケ所に黒斑。	良好 精良 黄味白
161 −13 −15 / 小型広口壺A_1	6−2370 A10f−D	4.3 11.3 11.7 4.2	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横方向の丁寧なヘラミガキ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部浅いドーナツ底。下胴部に2cm×3cmの焼成後の穿孔。胴部の半分以上に黒斑。	やや軟質 砂粒含む 黄味白
162 −13 −15 / 小型広口壺A_3	6−2688 A10f−D	8.2 12.3 12.1 4.5	口唇部は丸く作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した幅広い文様帯。文様帯下部は粗い斜ハケ。底部ドーナツ底、砂粒付着。胴部3ケ所に黒斑。	やや軟質 砂粒多含 黄味白
163 −13 −15 / 小型広口壺A_2	6−1827 A10b−D	6.8 11.2 10.1 4.9	口唇部は面を作り、面上に櫛の刺突紋と4個1組の棒状浮紋を4ケ所に貼付。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後、頸部にかけて縦方向のヘラミガキ。	肩部に櫛の押圧横線を3条、その下上胴部には縄紋(LR)を3段にわたり施紋。縄紋帯上部には3個1組の円形浮紋が4ケ所につく。下部ヘラミガキ。底部平底。胴黒斑。	良好 精良 黄味白
164 −13 / 小型壺C	6−2713 A10f−D	9.6 — 10.0 —	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面は胴部にむけて縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面ナデ。底部欠損。	良好 精良 黄味白
165 −14 −15 / 坩	6−2665 A10f−D	9.1 8.7 8.8 4.9	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面はナデ。底部平底、ナデ。底部一坏に黒斑。	良好 精良 黄味白
166 −14 −15 / 坩	6−2548 A10b−D	10.4 9.1 9.9 5.3	口唇部は円頭状に作る。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面下部板状器具によるナデ。底部浅いドーナツ底。	良好 精良 黄味白
167 −14 −15 / 坩	6−2070 A10f−D	7.4 7.7 8.0 4.1	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面櫛の刺突による羽状紋(2段)。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。	良好 砂粒含む うす茶
168 −14 / 坩	6−2268 A10a−D	11.2 8.4 10.5 3.8	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ？ 外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底、ヘラミガキ。下胴部から底部に黒斑。	良好 砂粒含む 黄味白
169 −14 −15 / 小型壺胴部Ⅱ	6−2727 A10f−D	— — 11.1 6.0	口頸部欠損。	頸部との境に櫛の押圧横線を2条、その下上胴部には全面に縄紋（LR）を施紋。下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。東(中遠地域）からの搬入品か。	良好 砂粒多含 黄味白
170 −14 −15 / 壺胴部Ⅱ	6−2699 A10f−D	— — 13.1 5.8	口頸部欠損。	肩部最上段に櫛描波状紋がわずかに残る。文様は胴部調整のヘラミガキによって大半が消る。胴部外面斜方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。ドーナツ底。	良好 精良 黄味白
171 −14 −15 / 小型壺胴部Ⅲ	6−2502 A10b−D	— — 12.5 5.2	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→簾状紋風波状紋→扇形紋を施紋。文様帯下部は磨滅のため調整不明。内面下部ハケ。底部平底。上胴部に黒斑。	軟質 粘性弱い うす橙
172 −14 −15 / 小型壺胴部Ⅲ	6−2523 A10b−D	— — 12.1 5.6	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。	軟質 粘性弱い にぶ橙
173 −14 −15 / 壺胴部Ⅳ	6−2696 A10f−D	— — 13.4 5.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。胴部に一対の黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ橙
174 −14 −15 / 小型壺胴部Ⅲ	6−2542 A10b−D	— — 13.5 5.9	口頸部欠損。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部浅いドーナツ底。	良好 精良 黄味白

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 胴径 / 底径 / 器高	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部（脚台部）	焼成 / 胎土 / 色調
175 −14 −16 小型壺胴部	6−2546 A10b−D	− − 9.4 5.0	口縁部欠損。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。	やや軟質 砂粒多含 黄味白
176 −14 −16 小型壺胴部Ⅱ	6−2730 A10f−D	− − 9.6 4.6	口頸部欠損。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。胴部の¼に黒斑。	軟質 精良 うす橙
177 −14 小型壺胴部Ⅲ	6−2687 A10c−D	− − 7.3 4.1	口頸部欠損。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。	良好 精良 黄味白
178 −14 −16 長頸壺 C	6−2755 A10f−D	7.0 − 14.2 −	全体に磨滅していてはっきりしない部分もあるが、口唇部は円頭状に作り、外面には櫛描直線紋と刺突紋を交互（4回）に施す。内面ナデ。	頸部との境に、口頸部からの文様の続きとして櫛描直線紋を1条施す他は無紋。文様帯下部は磨滅のため調整不明。内面ハケ。底部欠損。	やや軟質 精良 うす橙
179 −14 短頸壺 B	6−2464 A10f−D	10.9 − − −	口唇部は円頭状に作る。内面縦方向のヘラミガキ。外面櫛の刺突による羽状紋。	肩部に櫛描の直線紋・刺突紋・直線紋を施紋。内面上部ナデ。胴部欠損。	やや軟質 精良 にぶ橙
180 −14 短頸壺 B	6−2874 A10i−D	13.9 − 16.4 −	口肩部は面を作りヨコナデ。内面ヨコナデ。外面櫛による斜方向の刺突紋。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向のヘラミガキ。内面板状器具によるナデ。下胴部欠損。	良好 精良 にぶ黄橙
181 −14 短頸壺 B	6−2743 A10f−D	15.2 − − −	全体に磨滅していてはっきりしないが、口唇部は面を作り、外面には櫛による斜方向の刺突紋を施しているようである。内面は調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。下胴部欠損。	軟質 精良 赤味橙
182 −14 短頸壺 C	6−2649 A10f−D	25.0 − − −	口唇部は面を作る。内面横ハケ後ナデ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面横ハケ。下胴部欠損。	良好 精良 黄味白
183 −14 短頸壺 D	6−2845 A10i−D	10.0 − − −	口縁部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。下胴部欠損。	やや軟質 精良 赤味橙
184 −14 壺脚台部	6−2622 A10b−D	− − − 13.0	口頸部欠損。	壺の脚台部。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部縦方向のヘラミガキ。下部ハケ。脚台底部は円頭状。	良好 精良 にぶ橙
185 −14 蓋 C	6− 168 A10f−D	直径 10.3 高さ 7.9	円盤状を呈する。中央部につまみ部を作り出す。	上下面とも指ナデ。	良好 精良 にぶ橙
186 −14 −16 甕 A_1	6−2514 A10b−D	15.0 19.5 14.5 7.5	口唇部は面を作る。口縁下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	外面上胴部右下り、下胴部左下りの斜ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部外面左下りの斜ハケ。内面ハケ後ナデ。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
187 −14 甕 A_3	6−2338 A10a−D	18.8 − 19.0 −	口唇部は面を作る。刻目紋は施さない。内面横ハケ後ヨコナデ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	胴部外面非常に細かな斜ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好むら 砂粒含む 暗い黄茶
188 −14 −16 甕 B_1	6−2668 A10f−D	20.2 25.9 21.5 9.5	口唇部は面を作りハケ。口縁下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面横ハケ後ヨコナデ。	胴部外面右下りの斜ハケ、下胴部にのみ煤付着。内面頸部付近は斜ハケ、以下ナデ。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部外面縦・斜ハケ。内面上部ナデ、下部ヘラミガキ。	良好むら 砂粒含む茶 にぶ黄
189 −14 甕 B_1	6−2494 A10b−D	17.7 − 19.5 8.4	口肩部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	外面上胴部斜ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。下胴部は指するが接合せず。脚台部と胴部の境に粘土帯。脚台部外面ナデ。内面斜ハケ。	良好 砂粒多含 暗い黄茶

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・脚台部	焼成 胎土 色調
190 −15 −16 / 甕 B_1	6−2062 A10b−D	18.5 — 20.7 —	口唇部は面を作る。口縁下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	外面上胴部および下胴部右下りの斜ハケ、腹部のみ左下りの斜ハケ。内面横方向の粗いハケ。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部外面縦ハケ後ナデ。内面粗いハケ。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
191 −15 / 甕 B_1	6−1982 A10b−D	14.8 26.1 18.9 8.3	口唇部は面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、腹部横ハケ、下胴部縦ハケ、煤付着。内面ハケ後ナデ。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部外面細かな斜ハケ。内面上部ナデ、下部横ハケ。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
192 −15 −16 / 甕 B_1	6−2693 A10f−D	— — 21.5 9.0	口縁部欠損。	外面上胴部右下りの斜ハケ、下胴部縦ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部との接合部に粘土帯。脚台部外面斜ハケ。内面ナデ。	やや軟質 砂粒多含 にぶ黄橙
193 −15 / 甕 B_1	6−1983 A10b−D	24.8 — 26.8 —	口唇部は面を作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ。	胴部外面右下りの斜ハケ、腹部のみ横ハケ、煤付着。内面右下りの斜ハケ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
194 −15 −17 / 甕 B_1	6−2481 A10b−D	16.7 — 18.5 —	口唇部は面を作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面粗い横ハケ。外面縦ハケ。	外面上胴部横ハケ、下胴部左下りの斜ハケ、煤付着。内面上部ナデ、下部粗い横ハケ。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
195 −15 −17 / 甕 B_1	6−2712 A10f−D	17.0 — 17.8 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面粗い横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	外面上胴部縦ハケ、煤付着。下胴部器面剥離で調整不明、内面上部ハケ後ナデか。下部横ハケ、炭化物付着。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
196 −15 −17 / 甕 B_1	6−1378 A10a−D	20.5 — 22.7 —	口唇部は面を作りハケ。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面横ハケ後ナデ？ 脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
197 −15 −17 / 甕 B_1	6−2202 A10a−D	13.4 14.5 13.0 7.2	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面ハケ後ナデ。脚台部外面斜ハケ。内面横ハケ後ナデ。	軟質 砂粒多含 暗い黄茶
198 −15 −17 / 甕 B_2	6−1962 A10b−D	12.5 — 13.6 —	口唇部は円頭状に作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	外面上胴部粗い斜ハケ、下胴部器面剥離のため調整不明。煤上胴部に一部付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 にぶ橙
199 −15 / 甕 B_1	6−1960 A10b−D	15.0 — 15.1 —	口唇部は面を作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、煤付着。内面上部ハケ後ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
200 −15 −17 / 甕 B_3	6−1502 A10a−D	18.8 22.5 19.6 8.5	口唇部は面を作る。口唇下部に棒状器具による刻目紋。内面横ナデ。外面斜ハケ後ナデ。胴部との境に段。	外面縦方向の粗いハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部外面縦ハケ、内面横ハケ。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
201 −15 −18 / 甕 B_3	6−2487 A10b−D	16.8 — 16.2 —	口唇部は面を作る。口唇下端に箆状器具による刻目紋。内面粗い斜ハケ。外面ヨコナデ。胴部との境に段。	外面上胴部右下り、下胴部左下りの斜ハケ、一部ナデか、煤付着。内面上部粗い横ハケ、下部ハケ後ナデ。脚台部との接合は円盤充填法。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
202 −15 / 甕 B_3	6−2488 A10b−D	26.0 — 25.8 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後ナデ？ 外面斜ハケ後ヨコナデ。胴部との境に段。	外面上胴部右下り、下胴部左下りの斜ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
203 −15 / 甕 B_3	6−1960 A10b−D	19.6 — 19.9 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ後ヨコナデ。胴部との境に段。	外面上胴部右下りの粗い斜ハケ、煤付着。内面上部板状器具によるナデ。下胴部から脚台部は欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
204 −16 −18 / 甕 B_3	6−2552 A10b−D	18.3 — 20.5 —	口唇部は面を作る。口唇端部に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ後ナデ。胴部との境に段。	胴部外面斜ハケ、腹部のみ横ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶

番号	別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・脚台部	焼成 胎土 色調
205	−16 −18	6−2709 A10 f −D	12.1 16.2 12.3 7.3	口唇部は丸味をもつ面を作る。刻目紋は施さない。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面縦ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部との境に粘土帯の接続。脚台部外面斜ハケ後ナデ？ 内面横ハケ後ナデ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
器種・形態	Bs					
206	−16 −18	6−2205 A10 a −D	17.4 25.2 19.6 9.6	口唇部は丸味をもつ面を作りハケ。口唇端部に櫛状器具による大きな刻目紋。内面粗い横ハケ。外面粗い斜ハケ。	胴部外面粗い斜ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部との境に粘土帯。脚台部外面粗い斜ハケ。内面縦かな横ハケ。	やや軟質 やや含む 砂粒 暗い黄茶
壺	C_1					
207	−16 −18	6−2485 A10 b −D	14.6 18.4 14.8 7.0	口唇部は面を作る。口唇端部に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後ナデ。外面斜ハケ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、腹部横ハケ、下胴部は磨滅のため調整不明。内面板状器具によるナデ。脚台部との境に粘土帯。脚台部外面ナデ。内面ハケ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
壺	C_1					
208	−16	6−2499 A10 b −D	21.2 — 25.0 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による大きな刻目紋。内外面とも粗い横ハケ。	外面上胴部斜ハケ、下胴部剥離により調整不明。内面粗い横ハケ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
壺	C_1					
209	−16	6−2552 A10 b −D	19.6 — 20.7 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による大きな刻目紋。内外面とも横ハケ後ナデか。	外面上胴部細かな斜ハケ、下胴部は全面剥離。上胴部に煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
壺	C_1					
210	−16	6−2746 A10 f −D	19.4 — 22.1 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による大きな刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	外面上胴部横ハケ、下胴部縦ハケ、煤付着。内面全面横ハケ。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
壺	C_1					
211	−16	6−2648 A10 f −D	19.5 — 21.0 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、煤部分的に付着。内面上部ハケ？ 下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒多含 うす茶
壺	C_1					
212	−16	6−2535 A10 b −D	19.5 — 22.2 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による大きな刻目紋。内面横ハケ後ナデ？外面ヨコナデ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、煤部分的に付着。内面上部ハケ？ 下胴部から脚台部にかけては欠損。	やや軟質 やや精良 にぶ黄橙
壺	C_1					
213	−16	6−2912 A10 f −D	19.9 — 20.6 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後ナデ。外面ヨコナデ。	胴部横方向の粗いハケ、胴部最大径を境にして下部にのみ煤付着。内面板状器具によるナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
壺	C_1					
214	−16	6−2511 A10 b −D	20.3 — 23.4 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、煤付着。内面上部ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好良 精良 暗い黄茶
甕	C_1					
215	−16 −18	6−2336 A10 a −D	19.9 — 23.3 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具を押引きして付けたような刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、腹部横ハケ、下胴部左下りの斜ハケ、煤付着。内面上部ナデ、下部ナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
壺	C_1					
216	−16 −19	6−2064 A10 b −D	16.2 — 18.4 —	口唇部は面を作る。口唇下端に施状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ナデ。	胴部外面右下りの斜ハケ、煤付着。内面上部横ハケ、下部ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
甕	C_1					
217	−16 −19	2510 A10 b −D	17.5 — 19.8 —	口唇部は面を作る。口唇下端に棒あるいは施状器具による大きな刻目紋。内面横ハケ。外面粗い羽状のハケ後ヨコナデ。	胴部外面右下りの斜ハケ、煤付着。内面ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
壺	C_1					
218	−17	6−2000 A10 f −D	19.3 — 20.8 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後ヨコナデ？外面ハケ後ヨコナデ。	胴部外面右下りの斜ハケ、煤付着。内面横ハケ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
壺	C_1					
219	−17 −19	0−2695 A10 f −D	18.4 — 19.6 —	口唇部は面を作る。口唇下端に施状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ。	胴部外面右下りの斜ハケ、煤部分的に付着。内面ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	やや軟質 やや含茶 砂粒多含 暗い黄茶
壺	C_1					

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・脚台部	焼成 胎土 色調
220 −17 −19 / 甕 C_1	6−2741 A10f−D	18.4 — 19.6 —	口唇部は面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ後ナデ。外面ヨコナデ。	胴部外面右下りの粗い斜ハケ、煤付着。内面粗い横ハケ後ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
221 −17 / 甕 C_1	6−2541 A10b−D	15.8 — 18.6 —	口唇部は円頭状に作る。口唇上に棒状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	胴部外面細かな斜ハケ後ナデ、煤付着。内面ナデか。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
222 −17 / 甕 C_1	6−2901 A10a−D	16.1 — 17.4 —	口唇部は面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ後ナデ？ 外面ヨコナデ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、下胴部縦ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
223 −17 −19 / 甕 C_1	6−2495 A10b−D	16.0 — 16.7 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面ヨコナデ。外面斜ハケ。	外面上胴部右下りの粗い斜ハケ、下胴部磨滅のため調整不明、煤付着。内面ナデ。脚台部欠損。	やや軟質 砂粒多含 暗い黄茶
224 −17 / 甕 C_1	6−1336 A10a−D	14.5 — 16.1 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ。	外面上胴部右下りの斜ハケ、下胴部磨滅および剥離のため調整不明、煤付着。内面横ハケ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
225 −17 −19 / 甕 C_1	6−2497 A10b−D	14.7 — 17.0 —	口唇部は面を作る。口唇下端に箆状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	外面上胴部細かな斜ハケ、下胴部器面剥離のため調整不明、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
226 −17 −20 / 甕 C_2	6−2489 A10b−D	19.7 — 20.2 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による大きな刻目紋。内面細かな横ハケ。外面ヨコナデ。	外面は熱により器壁の大半が剥離、残存部斜ハケ、煤付着。内面斜ハケ。脚台部欠損。	軟質 砂粒含む 暗い黄茶
227 −17 −20 / 甕 C_2	6−1973 A10b−D	17.7 — 18.7 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による大きな刻目紋。内面細かな横ハケ。外面ヨコナデ。胴部との境に段。	外面粗い横ハケ、煤付着。内面細かな横ハケ。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
228 −17 −20 / 甕 C_2	6−1957 A10b−D	15.7 — 16.8 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面粗い斜ハケ。外面ヨコナデ。胴部との境に段。	外面磨滅していて調整痕ははっきりしないが粗い斜ハケを施している、煤付着。内面ハケ後ナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
229 −17 / 甕 C_3	6−1964 A10b−D	14.2 — 14.1 —	口唇部は面を作る。刻目紋は磨滅のためはっきりしないが施していないようである。内面粗い横ハケ。外面斜ハケ。	胴部外面斜ハケ、煤一部付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む にぶ黄橙
230 −17 / 甕 D_1	6−1999 A10f−D	16.4 — 17.9 —	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面粗い横ハケ。外面粗い斜ハケ。	胴部外面粗い斜ハケ、煤付着。内面斜ハケ。脚台部欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
231 −17 −20 / 甕 D_2	6−1984 A10b−D	16.7 — 17.3 —	全面著しく磨滅しているためはっきりしないが、口唇部は面を作り、刻目紋は施していないようである。内外面は調整不明。	内外面とも磨滅のため調整不明。脚台部欠損。	軟質 砂粒多含 にぶ橙
232 −17 −20 / 甕 E_1	6−1974 A10b−D	15.5 — 20.2 —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ後ヨコナデ。外面ヨコナデ。	胴部外面右下りの斜ハケ、腹部のみ横ハケ、煤付着。内面斜ハケ。脚台部欠損。	やや軟質 砂粒含む 暗い黄茶
233 −17 / 甕	6−2662 A10f−D	24.9 — — —	口唇部は上部より押えつけるようにして幅広い面を作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面粗い横ハケ。外面粗い縦ハケ。	外面上胴部右下りの粗い斜ハケ、煤付着。内面上部ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
234 −17 / 甕	6−2428 A10f−D	21.2 — — —	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面粗い横ハケ。外面粗い縦ハケ。	外面上胴部右下りの粗い斜ハケ、煤付着。内面上部ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 暗い黄茶

別冊図版番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・脚台部	焼成 胎土 色調
235 −18 甕	6−2428 A10f−D	22.9 — —	LI縄部はやや丸味をもつ面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	外面LI類部との境に櫛状器具による雑な刺突紋。上胴部斜ハケ、煤付着。内面上部縦ハケ、炭化物付着。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良 軟質 砂粒含む う す 茶
236 −18 甕	6−2545 A10b−D	20.4 — —	口唇部は面?を作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	上胴部の一部残存。外面縦ハケ、煤付着。内面斜ハケ後ナデ? 下胴部から脚台部にかけては欠損。	良 好 砂粒多含 暗い黄茶
237 −18 甕	7−2674 A10e−D	23.4 — —	口唇部は面を作る。刻目紋は施さない。内面磨滅のため調整不明。外面ハケ。	外面上胴部斜ハケ。内面上部磨滅のため調整不明。下胴部から脚台部にかけては欠損。	やや軟質 砂粒含む橙 に ぶ
238 −18 甕脚台部A	6−1293 A10b−D	— — —	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面縦ハケ。内面ナデ。胴内面底部に放射線状のハケと炭化物。胴部との接合法は不明。	良 好 砂粒含む 黄 茶
239 −18 甕脚台部A	6−2752 A10f−D	— — —	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面細かな斜ハケ。内面粗い横ハケ。胴部との接合法は不明。	良 好む茶 砂粒含 黄
240 −18 甕脚台部A	6−2535 A10b−D	— — —	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面縦ハケ後摺部のみヨコナデ。内面細かな斜ハケ。胴部との接合は円板充填法。	良 好む 砂粒含 黄 茶
241 −18 甕脚台部A	6−2712 A10f−D	— — —	LI類部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面粗い縦ハケ後ナデ。内面ナデ。胴部との接合は円板充填法。	良 好む白 砂粒含 黄 味
242 −18 甕脚台部A	6−2712 A10f−D	— — —	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面細かな斜ハケ後ナデ。内面ナデ。胴部との接合は円板充填法。	良 好む白 砂粒含 黄 味
243 −18 甕脚台部A	6−2535 A10b−D	— — —	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面斜ハケ。内面斜ハケ。胴部との接合は円板充填法。	良 好む黄 砂粒含 う す
244 −18 甕脚台部A	6−1973 A10b−D	— — —	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面ハケ後ナデ。内面斜ハケ。胴部との接合は円板充填法か。	やや軟質 砂粒含む黄 う す
245 −18 甕脚台部A	6−2533 A10b−D	— — —	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面ハケ後ナデ。内面斜ハケ。胴部との接合は円板充填法。	やや軟質 砂粒含む白 黄 味
246 −18 甕脚台部A	6−2913 A10f−D	— — —	口頸部欠損。	上胴部欠損。下胴部から脚台部の破片。下胴部外面斜ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部外面縦ハケ後ナデ。内面ナデ。接合法は不明。	軟質 砂粒含む茶 暗い黄
247 −18 甕脚台部B	6−2600 A10f−D	— — —	口頸部欠損。	上胴部欠損。下胴部から脚台部の破片。下胴部外面細かな斜ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部との境に粘土帯、脚台部外面縦ハケ。内面細かな横ハケ。接合は円板充填法か。	良 好む黄 砂粒含 う す
248 −18 甕脚台部B	6−1031 A10b−D	— — —	口頸部欠損。	上胴部欠損。下胴部から脚台部の破片。下胴部外面上部横ハケ、下部斜ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部との境に粘土帯。脚台部外面縦ハケ。内面横ハケ。接合法は不明。	良 好む黄茶 砂粒含む 暗い黄
249 −18 −20 甕脚台部B	6−1958 A10b−D	— — —	口頸部欠損。	上胴部欠損。下胴部から脚台部の破片。下胴部外面粗い斜ハケ、煤付着。内面横ハケ。脚台部外面斜ハケ。内面細かな斜ハケ。胴部と脚台部は別作りの後接合か。	良 好む茶 砂粒含 黄

別冊図版番号 写真図版番号 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
250 －18 甕脚台部B	6－1983 A10b－D	－ － 9.9	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面磨滅のため調整不明。内面細かな横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴部とは別作りの後接合か。	やや軟質 砂粒含む 黄茶
251 －18 甕脚台部B	6－2621 A10b－D	－ － 8.3	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面細かな斜ハケ。内面上部ナデ、下部横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合法は不明。	良好 砂粒含む うす黄茶
252 －18 甕脚台部B	6－1342 A10b－D	－ － 7.7	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面粗い羽状のハケ、煤付着。内面粗い横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合法は不明。	軟質 砂粒多含 暗い黄茶
253 －18 甕脚台部B	6－2894 A10b－D	－ － 9.5	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面ハケ後ナデ。内面横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合法は不明。	良好 砂粒多含 うす黄
254 －18 甕脚台部B	6－2912 A10f－D	－ － 11.7	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面細かなハケ後ナデ、煤付着。内面細かな横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合は円板充填法か。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
255 －18 甕脚台部B	6－1479 A10b－D	－ － 9.1	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面粗い斜ハケ。内面ナデ。胴部との境に粘土帯。胴部とは別作りの後接合か。	良好 砂粒多含 黄茶
256 －18 甕脚台部B	6－2621 A10b－D	－ － 8.4	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面斜ハケ、煤付着。内面ナデ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合法は不明。	良好 砂粒多含 黄茶
257 －18 甕脚台部B	6－2751 A10f－D	－ － 8.0	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面上部ナデ、下部斜ハケ。内面ナデ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合は円盤充填法か。	良好 砂粒含む うす黄
258 －18 甕脚台部B	6－2751 A10f－D	－ － 7.5	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面上部ナデ、下部斜ハケ。内面上部絞り目、下部横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合は円盤充填法か。	良好 砂粒含む うす黄
259 －18 甕脚台部B	6－2428 A10f－D	－ － 7.9	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面粗い縦ハケ。内面ナデ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合は円盤充填法。	良好 砂粒含む うす黄
260 －18 甕脚台部B	6－2894 A10b－D	－ － 7.0	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面細かな斜ハケ。内面粗い横ハケ。胴内面底部に炭化物付着。胴部との境に粘土帯。胴部との接合法は不明。	良好 砂粒多含 にぶ黄橙
261 －18 甕脚台部A	6－2533 A10b－D	－ － 8.5	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。脚台部外面細かな縦ハケ、部分的に煤付着。内面細かな斜ハケ。胴部との接合は円盤充填法か。	良好 砂粒含む にぶ黄橙
262 －18 片口 A_3	6－2900 A10a－D	19.9 15.0 21.7 6.0	口唇部は面を作る。内外面はヨコナデか。	胴部は内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部はやや突出したドーナツ底。底部に黒斑。内面下部に炭化物らしき付着物。	良好 砂粒含む にぶ橙
263 －18 片口 A_2	6－2543 A10b－D	13.3 6.5 7.6	口唇部は面を作る。	胴部外面細かな斜ハケ後ナデ？ 内面ハケ後ナデ？ 底部ドーナツ底。	軟質 精良 赤味橙
264 －19 －21 高坏 B_1	6－2509 A10b－D	27.8 18.6 － 14.4	口唇部は面を作る。坏部無紋。口縁部内外面ともヨコナデ。坏部内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部シボリ。下部横ハケ。裾端面は折返しにより幅の広いやや丸昧をもつ面を作る。	良好 精良 黄味白

番号 別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高	技法・調整等の特徴 坏部	脚部	焼成 胎土 色調
265 −19 高 坏 B_1	6−2368 A10 f − D	33.0 − −	口唇部は円頭状に作る。坏部内面端部に櫛描直線紋、外面上部に櫛描波状紋と棒状器具による沈線紋（4条）を施紋。他は丁寧な縦方向のヘラミガキ。	脚部欠損。	良好 精良 赤味橙
266 −19 高 坏 B_2	6−1976 A10 b − D	19.1 13.1 − 12.1	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部外面上部に櫛描波状紋を1条施紋。内面は上部横、下部縦方向のヘラミガキ。外面下部は縦方向のヘラミガキ。	脚上部に乾燥してから施したと思われる繊細な櫛描直線紋が2条、文様帯下部縦方向ヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部不明。裾端面は幅広い面を作る。	やや軟質 精良 うす黄
267 −19 高 坏 B_2	6−2214 A10 a − D	23.2 − − −	口唇部は円頭状に作る。坏部内面端部に棒状器具による沈線を1条、外面上部に櫛描波状紋1条を施す。他は縦方向のヘラミガキ。内面全面に煤付着。	脚部欠損。	やや軟質 精良 赤味橙
268 −19 高 坏 B_2	6−2663 A10 f − D	20.5 − − −	口唇部は円頭状に作る。坏部内面端部及び外面上部に櫛描直線紋を施紋。外面下部は縦方向のヘラミガキ。他は磨滅のため調整不明。脚部との接合は接合法か。	脚部欠損。	やや軟質 精良 赤味橙
269 −19 高 坏 B_3	6−1377 A10 a − D	25.2 − − −	口唇部は面を作る。坏部無紋。内面縦方向の丁寧なヘラミガキ後上部のみヨコナデ。外面上部縦方向のヘラミガキ後ヨコナデ、下部斜方向のヘラミガキ。	脚部欠損。	良好 精良 うす黄
270 −19 高坏 B_4 ?	6−2740 A10 f − D	23.9 − − −	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚部欠損。	軟質 精良 黄味白
271 −19 高坏 B_5 ?	6−2551 A10 b − D	26.6 − − −	口唇部は面を作る。坏部外面上部に櫛描波状紋を1条施紋。外面下部縦方向のヘラミガキ。内面は磨滅のため調整不明。	脚部欠損。	やや軟質 精良 黄味白
272 −19 −21 高 坏 B_3	6−2705 A10 b − D	23.7 19.7 − 15.2	口唇部は面を作る。坏部無紋。内面上部横、下部縦方向の丁寧なヘラミガキ。外面上部ヨコナデ、下部ハケ後ナデ。	脚部無紋。外面上部縦方向のヘラミガキ、裾部ヨコナデ。内面上部ジボリ、下部ヨコナデ。裾端面は面を作りヨコナデ。	良好 精良 赤味橙
273 −19 −21 高 坏 B_4	6−2507 A10 b − D	17.9 14.8 − 12.6	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ヨコナデ。裾端面は折返しにより幅広い丸味のある面を作る。	良好 精良 ピンク
274 −19 −21 高 坏 B_5 ?	6−2055 A10 b − D	22.7 18.9 − 14.0	口唇部は円頭状に作る。坏部外面上部に櫛描な感じのする櫛描波状紋を1条施紋。外面下部縦方向のヘラミガキ。内面は磨滅のため調整不明。	脚上部に櫛描直線紋を2条施紋。下部は縦方向のヘラミガキ（調整痕は磨滅のためほとんど残らない）。内面上部ジボリ、下部ハケ。裾端面は折返して面。透孔3ケ所。	やや軟質 砂粒含む うす橙
275 −19 −21 高 坏 B_5	2491 A10 b − D	21.0 16.5 − 12.2	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。裾端面は円頭状に作る。円形透孔3ケ所。	軟質 精良 うす橙
276 −19 高 坏 B_6	6−2691 A10 f − D	21.8 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚下部欠損。無紋。外面上部磨滅のため調整不明。内面上部ジボリと横ハケ。割れ口に円形透孔の跡。	軟質 精良 にぶ橙
277 −19 −21 高 坏 D_1	6−2540 A10 b − D	19.8 17.1 − 14.2	口唇部は面を作る。坏部無紋。内面上部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキ。外面ハケ後ヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ハケ。裾端面は折返しにより幅広い面を作る。円形透孔3ケ所。	良好 砂粒含む 黄味白
278 −19 高 坏 D_2	6−2744 A10 f − D	13.8 − − −	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。	脚部欠損。	良好 精良 にぶ橙
279 −19 −22 高 坏 D_3	6−2685 A10 b − D	20.0 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。外面下部第2次焼成をうけ煤付着。脚部との接合は円盤充填法。	脚部欠損。	良好 精良 うす黄

番号	別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 坏部	脚部	焼成 胎土 色調
280	− 20 − 22	6−2482 A10b−D	30.5 22.7 −	口縁部は面を作る。口縁端部は水平面をもち、内外面ヨコナデ調整。坏部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は面を作る。円形透孔3ヶ所。	良好 精良 にぶい橙
高坏	F_1		15.7			
281	− 20	6−2506 A10b−D	26.1 21.6 −	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキと思われるが磨滅のため調整痕ははっきりしない。脚部との接合は円盤充填法又は挿入付加法。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は折返しにより幅広い丸味のある面を作る。脚部外面に黒斑。	軟質 良 にぶい橙
高坏	F_1		14.1			
282	− 20 − 23	6−2556 A10b−D	26.6 − −−	口唇部は面を作る。口縁端部は水平面をもち、内外面ヨコナデ調整。坏部は無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。上部ひびわれに2個の補修孔。	脚下部欠損。外面上部に櫛描直線紋が2ないし3条施されている。内面上部シボリ、下部横ハケ。円形透孔3ヶ所。	軟質 砂粒多含 にぶい橙
高坏	F_1		−			
283	− 20	2520 A10b−D	26.6 − −	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面下部に煤ドーナツ状に付着。	脚下部欠損。外面上部に櫛描直線紋を数条施紋。内面上部シボリ。円形透孔3ヶ所。	良好 精良 にぶい黄橙
高坏	F		−			
284	− 20 − 22	6−1986 A10b−D	31.1 24.6 −	口唇部は面を作る。口縁端部は水平面をもち、内外面ヨコナデ調整。坏部は無紋。外面上部ヨコナデ、下部および内面は縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面が底面。円形透孔3ヶ所。	良好 精良 黄味白
高坏	F_2		14.5			
285	− 20 − 24	6−2054 A10b−D	25.1 20.2 −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。口縁端部は水平面をもち、内外面ヨコナデ調整。坏部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。坏外面に黒斑、内面に煤付着。	脚上部に櫛描直線紋を2条施紋、下部縦方向のヘラミガキ（調整痕は磨滅のためはっきりしない）。内面上部シボリ、下部斜ハケ。裾端面が底面。円形透孔3ヶ所。	軟質 精良 黄味白
高坏	F_2		12.3			
286	− 20 − 23	6−1966 A10b−D	32.6 24.0 −	口唇部は実頭状に作る。坏部無紋。外面上部から内面にかけては横方向のヘラミガキ。外面下部は縦方向のヘラミガキ。	脚上部は円柱状に作り、櫛描直線紋を7条施紋。脚下部は大きく開き、鍔がつく。鍔部をはさんで上部レンズ状、下部円形の透孔が5ヶ所にあく。	良好 精良 にぶい橙
高坏	G_1		19.2			
287	− 21	6−887 A10e−C	27.0 23.5 −−	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚上部は下部にむけてややすぼまる形態で、中実。櫛の押圧横線らしい文様がつく。脚下部は大きく開き、鍔がつく。透孔はない。	良好 精良 赤味橙
高坏	G_1		17.8			
288	− 20 − 24	6−2557 A10b−D	31.3 24.7 −−	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚上部は円柱状で無紋。脚下部は大きく開き、鍔がつく。鍔部をはさんで上部レンズ状、下部円形の透孔が4ケ所にあく。	やや軟質 精良 にぶい黄橙
高坏	G_2		20.0			
289	− 21	6−2910 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ後ナデ。裾端面は円頭状に作る。裾部外面に黒斑。外面のほぼ全面に煤付着。	良好 精良 にぶい黄橙
高坏脚部	A_2		15.6			
290	− 21	6−189 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。裾端面は折返しにより幅広い面を作る。坏部との接合は円盤充填法か。	良好 精良 黄味白
高坏脚部	A_2		14.0			
291	− 21	6−2646 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は折返しにより幅広のやや丸味のある面を作る。坏部との接合は円盤充填法か。	やや軟質 精良 黄味白
高坏脚部	A_2		14.4			
292	− 21	6−2474 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ハケ後シボリ、下部横ハケ。裾端面は折返しにより幅広い面を作る。坏部との接合は円盤充填法か。	良好 精良 にぶい黄橙
高坏脚部	A_2		13.5			
293	− 21	6−2512 A10b−D	− − −	坏上部欠損。下部一部残存。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ？　裾端面は折返しにより幅広いやや丸味のある面を作る。裾部に黒斑。接合は円盤充填法。透孔3ヶ所。	やや軟質 精良 うす橙
高坏脚部	A_2		14.3			
294	− 21	6−2841 A10f−D	− − −	坏上部欠損。下部一部残存。内外面ともヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。裾端面は面を作りハケ。円形透孔3ヶ所。坏部との接合は円板充填法。	良好 精良 うす橙
高坏脚部	A_2		15.9			

番号 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 底径	技法・調整等の特徴 坏部	技法・調整等の特徴 脚部	焼成 胎土 色調
295 −21 高坏脚部 A_2	6−2646 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ハケ。裾端面は折返しにより幅広いやや丸味のある面を作る。円形透孔3ケ所。坏部との接合は円板充填法。 11.7	良 好 精 良 うすい橙
296 −21 高坏脚部 A_2	6−2710 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚外面縦方向のヘラミガキ後、上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋。内面上部ジボリ、下部ハケ後ナデ。裾端はやや丸味をもつ面を作る。透孔3ケ所。円板充填法。 14.7	良 好 砂粒含む 黄 味白
297 −21 高坏脚部 A_2	6−2474 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき4条施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ハケ、下部ナデ。裾端面は折返しにより幅広いやや丸味のある面を作る。外面に黒斑。 14.5	良 好 精 良 黄 味白
298 −21 高坏脚部 A_2	6−2536 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋。下部磨滅のため調整不明。内面上部ジボリ下部磨滅のため調整不明。裾端面はやや丸味のある面を作る。円形透孔3ケ所。 13.3	やや軟 質 精 良 うすい橙
299 −21 高坏脚部 A_2	6−2061 A10b−D	− − −	坏上部欠損。下部一部残存。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向のヘラミガキ。 12.5	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき2条施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部横ハケ後ナデ。裾端面は面？　裾部に黒斑。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良白 黄 味白
300 −21 高坏脚部 A_2	6−2537 A10b−D	− − −	坏上部欠損。下部一部残存。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向のヘラミガキ。 13.7	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき2条施紋。下部磨滅のため調整不明。内面上部ジボリ、下部横ハケ。裾端面は折返しにより幅広い丸味のある面。透孔3ケ所。底部黒斑。	良 好 精 良 黄 味白
301 −21 高坏脚部 A_2	6−2910 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に間帯を挟んで上段2条下段1条の櫛描直線紋がつく。下部は縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部横ハケ。裾端面は面を作る。円形透孔3ケ所。 16.3	良 好 精 良 うすい橙
302 −21 高坏脚部 A_2	6−2400 A10e−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を連続して7条施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ハケ後ヨコナデ。裾端面は面を作る。円形透孔3ケ所。中実。 16.2	良 好 砂粒多含 うすい橙
303 −21 高坏脚部 A_2	6−2710 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋と櫛の刺突による羽状紋とを交互に施した文様がつく。文様帯下部は縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ。下部横ハケ。裾端面は円頭状。透孔3ケ所。 14.6	良 好 精 良白 黄 味白
304 −21 高坏脚部 A_3	6−2647 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚外面縦方向のヘラミガキ後、上部に櫛描直線紋を間帯をおき2条施紋。内面上部ジボリ、下部ハケ。裾端面は折返しにより幅広い面を作る。透孔3ケ所。裾部に黒斑。 13.3	やや軟 質 精 良 黄 味白
305 −21 −22 高坏脚部 A_3	6−2066 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ハケ。裾端面は折返しにより幅広い丸味のある面を作る。円形透孔3ケ所。 15.0	やや軟 質 精 良 黄 味白
306 −21 高坏脚部 A_3	6−2755 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面横ハケ、裾部のみヨコナデ。裾端面は折返しにより幅広い面を作りヨコナデ。円形透孔3ケ所。 14.0	良 好 精 良 黄 味白
307 −21 高坏脚部 A_3	6−2531 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋、下部磨滅のため調整不明。内面上部ジボリ、下部細かな斜ハケ。裾端面は折返しにより幅広い面。円形透孔3ケ所。裾部に黒斑。 15.8	やや軟 質 精 良 にぶい橙
308 −21 高坏脚部 B_2	6−1864 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき2条施紋、下部磨滅のため調整不明。内面上部指頭圧痕、下部ハケ。裾端面は折返しにより幅広い丸味のある面を作る。円形透孔3ケ所。 11.2	良 好 精 良白 黄 味白
309 −22 高坏脚部 C	6−2531 A10b−D	− − −	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ハケ、下部ナデ。裾端面が底部。 10.7	良 好 精 良白 黄 味白

別冊図版番号 写真図版番号 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
310 −22 高坏脚部C	6−2912 A10f−D	− − −	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦ハケ、煤付着。内面上部縦ハケ、下部横ハケ。裾端面が底部。	良 好 精 良 暗い黄茶
311 −22 高坏脚部D	6−1428 A10a−D	− − 11.4	坏部欠損。	脚部無紋。坏部との接合部に粘土帯。脚部内外面ともナデ。裾端面は円頭状に作る。	良 好 砂粒多含 黄 味白
312 −22 高坏脚部D	6−1890 A10b−D	− − 14.0	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋と筒の刺突紋とを交互に施した文様帯（磨滅によりほとんど消えている）。下部調整不明。内面も磨滅により調整不明。裾端面は円頭状に作る。	軟 質 精 良 にぶい橙
313 −22 高坏脚部D	6−2724 A10f−D	− − 10.9	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部横ハケ。裾端面は面を作る。坏部内面下部丹彩。	良 好 砂粒含む 黄 味白
314 −22 −24 高坏脚部F	6−2662 A10f−D	− − 10.4	坏上部欠損。下部一部残存。内外面とも縦方向のヘラミガキ。	坏部との境に櫛の押圧横線を5条施紋。紋様帯下部縦方向のヘラミガキ。裾部は段をもうけ、段外面に斜ハケを文様風に施す。内面ナデ。東（中遠地域）からの搬入品か。	良 好 砂粒多含 黄 茶
315 −22 −24 高坏脚部F	6−2697 A10f−D	− − 12.4	坏部欠損。	坏部との境に櫛の押圧横線を2条施紋。文様帯下部磨滅のため調整不明。裾部は段をもうけ、段外面に斜ハケを文様風に施す。内面ナデ。外面に黒斑。	良 好 砂粒多含 明るい茶灰
316 −22 −25 鉢 B1	6−1640 A10e−D	12.9 12.2 13.7 5.6	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面櫛の刺突による羽状紋（1.5段）。	胴部無紋。外面上胴部ナデ、下胴部縦方向のヘラミガキ。内面上部板状器具によるナデ、下部ハケ。底部平底、初期付着。胴部に黒斑。	良 好 精 良 うす橙
317 −22 −25 鉢 B1	6−1979 A10b−D	12.6 10.3 14.0 4.0	口唇部は円頭状に作る。内面横方向のヘラミガキ。外面ナデ後櫛の刺突による羽状紋（1.5段）。	胴部無紋。外面上胴部横、下胴部斜方向のヘラミガキ。内面横方向のヘラミガキ。底部あげ底。底部に黒斑。	良 好 精 良 黄 味白
318 −22 −25 鉢 B1	6−1967 A10b−D	15.2 11.8 15.3 6.1	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。下胴部に黒斑。	軟 質 精 良 うす橙
319 −22 −25 鉢 C1	6−2266 A10a−D	15.7 12.3 14.9 5.2	口唇部は円頭状に作る。内面縦方向のヘラミガキ。外面櫛の刺突による羽状紋（2段）。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面横ハケ。底部平底。底部内面に黒斑。	良 好 精 良 黄 味白
320 −22 −25 鉢 C1	6−2667 A10f−D	14.6 11.5 15.8 5.4	口唇部は円頭状に作る。内面磨滅のため調整不明。外面櫛の刺突による羽状紋（2段）。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部ハケ、下部調整不明。底部平底。下胴部に黒斑。	やや軟 質 精 良 黄 茶
321 −22 −25 鉢 C1	6−2690 A10f−D	13.6 10.5 12.5 4.8	口唇部は円頭状に作る。内面縦方向のヘラミガキ。外面櫛の刺突による大きな羽状紋（1段）。	胴部無紋。外面磨滅のため調整度はっきりしないが縦方向のヘラミガキのようである。内面ナデか。底部平底。口縁部と胴部に黒斑。	良 好 砂粒多含 茶 色
322 −22 −25 鉢 C1	6−2510 A10b−D	19.1 12.3 19.0 7.2	口唇部はやや丸味のある面を作る。内面縦方向の丁寧なヘラミガキ。外面櫛の刺突による羽状紋（2.5段）。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面ハケ後ナデ。底部平底、砂粒付着。内外面の底部に黒斑。口頸部内外面と胴部外面丹彩。	良 好 精 良 ピンク
323 −22 鉢 C2	6−2001 A10f−D	16.6 − 19.3 −	口唇部は面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面磨滅して不鮮明であるが櫛描波状紋が全面につく。	胴部無紋。下胴部から底部にかけては欠損。上胴部内外面とも磨滅のため調整不明。	良 好 精 良 うす橙
324 −22 鉢 C3	6−2058 A10b−D	10.8 8.4 13.8 5.8	口唇部は上部より押えつけるようにして面を作る。内面指頭圧痕。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面ハケ後ヘラミガキか。底部平底、ヘラミガキ。底部全面に黒斑。	良 好 精 良 黄 茶

別掲図版 番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
325 −22 −26 台付鉢 A_1	6−2514 A10b−D	13.6 − 13.3	口唇部は円頭状に作る。鉢部無紋。口縁部内外面ヨコナデ。内面ナデ。煤付着。外面縦方向のヘラミガキ。	脚上部のみ残存。外面上部に櫛描直線紋2条の間に櫛の刺突紋を施した文様がつく。内面磨滅により調整不明。円形透孔3ケ所。	良好 精良 うす黄
326 −22 −26 台付鉢 A_1	6−1961 A10b−D	9.0 8.7 9.6 7.1	口唇部は円頭状に作る。鉢部無紋。内面ナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。円形透孔3ケ所。	良好 精良 にぶ橙
327 −22 脚部D(鉢)	6−2749 A10f−D	− − 10.6	鉢上部欠損。下部一部残存。下部内面ハケ後ヘラミガキ。外面縦方向のヘラミガキ。	脚上部に櫛描直線紋と刺突紋を交互に施した文様がつく。下部縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。裾端面は円頭状に作る。円形透孔3ケ所。	良好 精良 赤味橙

A10区・B10区ＹＴ2

328 −23 受口壺 B	6−2847 A10i −ＹＴ2	11.9 − −	口唇部は面を作り櫛の刺突紋。内面ハケ後ナデ。外面櫛の刺突紋、頸部にかけてはハケ。	胴部欠損。	良好 精良 黄味白
329 −22 −26 広口壺 B_1	7−2458 B10g −ＹＴ2−D	11.2 − 18.0	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ヨコナデ。外面ハケ後ナデ。	肩部に櫛描直線紋を1条、その下1胴部全面に縄紋(無節Ｒ？)を施す。下胴部欠損。	やや軟質 精良 黄味白
330 −22 −26 広口壺 B_2	7−2660 B10i −ＹＴ2−C_2	12.6 22.0 19.7 8.3	口唇部に面を作る。内面端部櫛描波状紋、下部ヨコナデ。外面縦ハケ後端部のみヨコナデ。	肩部に櫛の直線紋→波状紋→直線紋を施した幅狭い文様帯。文様帯下部上胴部横、下胴部縦方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。	良好 精良 ピンク
331 −22 −26 広口壺 B_4	6−2828 A10i −ＹＴ2	8.8 14.8 15.8 6.2	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ヨコナデ。外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋を施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部は底部まで横方向のヘラミガキ。内面黒色。底部平底、砂粒付着。胴部に黒斑。	良好 砂粒含む うす橙
332 −22 −27 広口壺 B_4	6−2738 A10c −ＹＴ2	9.0 16.3 14.0 5.6	口唇部はやや肥厚させ丸味をもつ面を作る。内面ハケ後ヨコナデ。外面ヨコナデ、頸部は縦ハケ。	肩部に刷毛状器具による羽状紋。文様帯下部ハケ後ナデ。底部ドーナツ底。砂粒付着。外面2/3に煤付着。	良好 精良 黄味白
333 −23 広口壺 B	6−2823 A10i −ＹＴ2	16.7 − −	口唇部は幅広い面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋。内面下部および外面磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。頸部との境に櫛描直線紋を1条施紋。胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
334 −23 広口壺 B	6−2075 A10i −ＹＴ2	7.1 − −	口唇部は幅広い面を作る。内面端部櫛の刺突紋。内面下部および外面磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。外面磨滅のためはっきりしないが、ほぼ残存部全面に櫛描紋(直線紋ないしは細かな波状紋)を施している。胴部欠損。	軟質 精良 黄味灰
335 −23 広口壺 B	6−2817 A10i −ＹＴ2	13.1 − −	口唇部はやや肥厚させ、幅広い面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ナデ。外面端部ヨコナデ、頸部にかけては縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。頸部との境に低い凸帯を1条、その下に櫛描の直線紋→波状紋を施紋。胴部欠損。	良好 精良 黄味白
336 −23 広口壺 B	6−2824 A10i −ＹＴ2	15.2 − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。頸部外面に黒斑。	肩部の一部残存。頸部との境に櫛描波状紋を1条施紋。胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
337 −23 広口壺 B	6−2399 A10e −ＹＴ2	12.8 − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ナデ。外面ヨコナデ。	肩部の一部残存。頸部との境に櫛描波状紋を1条施紋。胴部欠損。	良好 砂粒含む 赤味橙
338 −23 広口壺 B	6−2887 A10i ＹＴ2	16.1 − −	口唇部は幅広い面を作り、面上に円形浮文(中央に竹管を施した)を施紋(単位不明)。内面端部櫛の刺突紋、下部横方向のヘラミガキ。外面縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。頸部との境に低い凸帯を1条施紋。胴部欠損。	良好 精良 黄味白

別冊図版番号 写真図版番号 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 底径 器高 復元径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
339 −23 広口壷 B	6−2625 A10a −YT2	11.7 − − −	口唇部は上部より押えつけるようにして粘土い面を作りヨコナデ。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施紋。胴部欠損。	良好 精良 黄味白
340 −23 −27 広口壷 C_2	6−2680 A10i −YT2	12.3 25.9 21.2 6.5	口唇部は上部より押えつけるようにして幅広い面を作りヨコナデ。内外面とも磨滅のため調整不明。	頸部との境に凸帯を1条、その下胴部に櫛又は刷毛状器具による羽状紋（1.5段）、最下段には櫛の刺突紋を施した文様帯。文様帯下部ヘラミガキ。底部ドーナツ底。	軟質 砂粒含粘性弱 にぶ橙
341 −23 −27 広口壷 C_2	6−2347 B10g −YT2−C_2	12.7 29.6 22.6 7.3	口唇部は面を作り櫛の刺突紋を施す。内面磨滅のため調整不明。外出一部に縦ハケがみられるが大半は磨滅のため調整不明。	頸部との境に凸帯を1条、その上に櫛の刺突紋。肩部には縄紋（無節R）を施紋。文様帯下部縦方向ヘラミガキ。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	やや軟質 砂粒多含 にぶ橙
342 −23 広口壷 C	6−2571 A10f −YT2	12.9 − − −	口唇部は面を作り櫛の刺突紋を施す。内面上部縦、下部横方向のヘラミガキ。外面端部ヨコナデ、頸部にかけては縦方向のヘラミガキ。	頸部との境に低い凸帯を1条、その上に櫛の刺突紋。肩部には櫛又は刷毛状器具による羽状紋、その下文様帯最下段には櫛の刺突紋を施す。文様帯下部横方向のヘラミガキ。下胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
343 −23 広口壷 C	6−2890 A10i −YT2	14.9 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面ナデ。外面は格子状に施された斜ハケ。頸部から肩部にかけては縦方向のヘラミガキ。	胴部欠損。	良好 精良 うす橙
344 −23 広口壷 C	6−2764 A10f −YT2	11.4 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	肩部の一部残存。頸部との境に稚拙な感じのする櫛描波状紋と直線紋を施紋。胴部欠損。	良好 砂粒含む 黄味白
345 −23 広口壷 C	6−2415 B10g −YT2−D	12.2 − − −	口肩部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面端部ヨコナデ、頸部にかけては横ハケ後縦方向のヘラミガキ。外面の2/3に煤付着。	胴部欠損。	良好 精良 暗い黄茶
346 −23 広口壷 C	6−2765 A10f −YT2	13.6 − − −	口唇部は面を作る。内外面とも横ハケ。	肩部の一部残存。頸部との境に低い凸帯を1条施す他は無紋。凸帯直下が縦ハケ、以下肩部はヘラミガキ。胴部欠損。	良好 砂粒含む にぶ橙
347 −23 −27 広口壷 D_2	6−2679 A10i −YT2	11.1 16.3 13.3 4.7	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面上胴部横、下胴部横から縦方向のヘラミガキ。内面ハケ後ヘラケズリ。底部ドーナツ底、ヘラケズリ。胴部に一対の黒斑。	良好 砂粒含む 黄味白
348 −23 広口壷 D_3	6−1633 A10e −YT2	9.2 16.0 15.1 5.8	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底、胴部に一対の黒斑。	軟質 砂粒多含 赤味橙
349 −23 広口壷 D	6−2804 A10i −YT2	13.7 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した文様帯。胴部欠損。	良好 砂粒含む にぶ橙
350 −23 広口壷 D	6−2847 A10i −YT2	14.4 − − −	口唇部は幅広い面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ、外面縦ハケ。	胴部欠損。	やや軟質 砂粒含む にぶ橙
351 −23 広口壷 D	6−2847 A10i −YT2	13.2 − − −	口唇部は幅広い面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	肩部の一部残存。無紋。外面上胴部縦方向のヘラミガキ。胴部欠損。	良好 精良 うす橙
352 −23 広口壷 E	6−2413 B10g −YT2−D	11.8 − − −	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面ハケ後ナデ。	上胴部はぼ残存。肩上部に低い凸帯を1条施す他は無紋。外面縦方向のヘラミガキ。凸帯以下全面丹塗。内面肩部指頭圧痕。下胴部欠損。	良好 砂粒多含 茶色
353 −23 広口壷 E	6−2708 A10f −YT2	24.4 − − −	口唇部は内面に折返すようにして幅広い面を作り櫛刺突による羽状紋。内面縦方向のヘラミガキ。外面端部に櫛の押圧横線を2条、その下に櫛刺突による羽状紋。	胴部欠損。	良好 砂粒多含 にぶ橙

別冊図版番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
354 −24 広口壺E	6−2229 B10g −YT2	14.1 − − −	口唇部は面を作る。内面横ハケ。外面端部ヨコナデ。下部縦方向のヘラミガキ、頸部ヨコナデ。	胴部欠損。割れ口に断面三角形をした凸帯の一部が残存する。	良好 精良 黄味白
355 −24 広口壺E	6−1875 A10f −YT2	15.2 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面ヨコナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部欠損。	良好 精良 黄味白
356 −24 広口壺E	7−2349 B10g −YT2−C_2	14.0 − − −	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴上部残存。無紋。外面ハケ後ヘラミガキ。内面ナデ。下胴部欠損。	良好 砂粒多含 うす橙
357 −24 広口壺E	6−2235 B10g −YT2	14.6 − − −	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。肩部に低い凸帯を1条施す他は無紋。外面磨滅のため調整不明。胴部欠損。	軟質 精良 黄味白
358 −24 広口壺E	7−2291 B10g −YT2−C_2	16.0 − − −	口唇部は円頭状に作る。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部欠損。	良好 精良 黄味白
359 −24 広口壺F	6−1875 A10f −YT2	14.0 − − −	口縁部は折返し。口唇部は面を作り、櫛の刺突紋を施す。内面磨滅のため調整不明。外面縦ハケ。	胴部欠損。	やや軟質 精良 うす橙
360 −24 −28 広口壺F_1	6−2839 B10g −YT2	12.9 26.0 23.2 8.0	口唇部は面を作り横ハケ。内面端部櫛描波状紋、下部横ハケ。外面縦ハケ、頸部のみヨコナデ。	胴部外面粗い斜ハケ後肩部に櫛描の直線紋と波状紋2条を施紋。内面ハケ後ナデ。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 うす橙
361 −24 広口壺F−a	6−2858 B10g −YT2	17.4 − − −	口唇部は幅広い面を作り、櫛描波状紋を施す。内面端部櫛描波状紋、下部ハケ後ヘラミガキ。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。	胴部欠損。	やや軟質 精良 にぶ橙
362 −24 広口壺F−a	6−2853 A10i −YT2	14.4 − − −	口唇部は幅広い面を作り、櫛描波状紋を施す。内面端部櫛描波状紋2条と櫛の刺突紋、下部横方向のヘラミガキ。外面斜ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。肩部に低い凸帯を1条、その下辺に櫛の刺突紋を施す。凸帯下部は斜ハケ。胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
363 −24 広口壺F−a	6−1899 A10f −YT2	18.8 − − −	口唇部は面を作る。内面端部に縄紋又は櫛の刺突紋と思われる文様が幅広くつく。下部および外面は磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。肩部に櫛描直線紋又は櫛の押圧横線と思われる文様を施し、その下に2個1組の円形浮紋を4ヶ所に貼付する。文様下部は磨滅により調整不明。	やや軟質 砂粒多含 うす黄茶
364 −24 広口壺F−a	6−2608 A10f −YT2	17.5 − − −	口唇部は面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面斜ハケ。	頸部との境に低い凸帯を1条施す他は無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。胴部欠損。	やや軟質 砂粒含む うす橙
365 −24 広口壺F−b	6−2672 A10e −YT2	16.5 − − −	口唇部は幅広い面を作り、櫛の刺突による羽状紋を施す。内面端部櫛の刺突による羽状紋(1.5段)、下部縦方向のヘラミガキ。外面縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。肩部に低い凸帯を1条施し、その下辺に棒又は櫛の先端による刺突紋を施紋。胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
366 −24 広口壺F−b	6−1635 A10e −YT2	17.9 − − −	口唇部は幅広い面を作りヨコナデ。後、面上に6個1組の棒状浮紋を4ヶ所に貼付。内面端部櫛描波状紋、下部ハケ。外面縦ハケ。	肩部の一部残存。肩部に低い凸帯を1条、その下に櫛描の直線紋と波状紋を施紋。胴部欠損。	やや軟質 精良 にぶ黄橙
367 −24 広口壺F−b	6−2890 A10i −YT2	14.6 − − −	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部は外側に折曲げて、外側にやや傾く面を作り、面上に櫛の刺突による格子紋を施す。外面磨滅のため調整不明。	胴部欠損。	良好 精良 にぶ黄橙
368 −24 広口壺F−b	7−2600 B10i −YT2−C_2	15.8 − − −	口唇部は幅広い面を作り、櫛描波状紋を施す。内面端部櫛描波状紋、下部縦方向のヘラミガキ。外面斜ハケ、頸部ヨコナデ。口縁部の2ヶ所に黒斑。	肩部の一部残存。頸部との境に低い凸帯を1条、その下肩部に櫛描の直線紋と波状紋3条を施紋。胴部欠損。	良好 精良 赤味橙

別冊図版番号 / 写真図版	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 残存 / 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部	焼成 / 胎土 / 色調
369 −24 −27	6−2866	− −	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明。下胴部細かな縦ハケ後粗いヘラミガキ。底部平底。下胴部から底部にかけて黒斑。	良 好
壺胴部Ⅰ	B10g −YT2	14.7 6.0			精 良
					赤味橙
370 −24 −28	6−1506	− −	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋2条を施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部ハケ後横方向のヘラミガキ。下部縦方向のヘラミガキ。内面ハケ。底部ドーナツ底。	良 好
	A10e	17.4			砂粒含む
壺胴部Ⅱ	−YT2	6.1			にぶ橙
371 −24	6−2809	− −	口縁帯欠損。頸部一部残存。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	肩部に凸帯を1条。以下上胴部に櫛描の直線紋2条→波状紋→直線紋2条→刺突紋→直線紋→刺突紋を施紋。後、肩部より垂下する櫛描丁字紋を2ケ所に配す。ドーナツ底。	やや軟質
	A10i	23.4			砂粒多含
壺胴部Ⅲ	−YT2	6.3			にぶ橙
372 −24 −28	6−2867	− −	口縁部欠損。頸部一部残存するが磨滅のため内外面とも調整不明。	全面著しく磨滅しており文様の有無、調整等不明。底部平底。	良 好
	B10g	20.9			砂粒含む
壺胴部Ⅳ	−YT2	6.0			うす橙
373 −25 −28	7−2692	− −	口縁部欠損。頸部一部残存するが磨滅のため内外面とも調整不明。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施した文様帯。文様帯下部は底部まで横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。	良 好
	B11g	20.3			精 良
壺胴部Ⅳ	−YT2−C_2	5.7			にぶ橙
374 −25	7−2414	− −	口頸部欠損。	上胴部著しく磨滅するが、肩部に櫛描の直線紋と波状紋らしい文様がわずかに認められる。下部は横方向のヘラミガキ。内面ナデとハケ。底部平底、粉炭付着。	良 好
	B10g	22.0			精 良
壺胴部Ⅳ	−YT2−D	7.9			にぶ橙
375 −25 −29	7−2311	− −	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→刺突紋を施した文様帯。文様帯下部は磨滅のためはっきりしないが横方向のヘラミガキか。内面ハケ。底部平底。胴部に煤付着。	良 好
	B10a	19.4			精 良
壺胴部Ⅳ	−YT2−C_2	8.0			暗い黄茶
376 −25	6−2682	− −	口頸部欠損。	胴部無紋。外面一部にハケメが残るが大半は磨滅のため調整不明。底部浅いドーナツ底。下胴部から底部にかけて黒斑。	良 好
	A10i	21.5			精 良
壺胴部Ⅳ	−YT2	6.9			うす橙
377 −25 −29	7−2505	− −	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底、木葉痕。胴部に黒斑。	軟質
	B11i	23.3			精 良
壺胴部Ⅳ	−YT2−C_2	5.5			うす橙
378 −25 −28	7−2412	− −	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部斜、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。下胴部に黒斑。	良 好
	B10g	14.2			精 良
壺胴部Ⅳ	−YT2−D_1	6.3			赤味橙
379 −25 −28	6−2891	6.5 11.5	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→扇形紋を施した文様帯。文様帯下部は磨滅のため調整不明。底部平底。胴部に黒斑。	良 好
	A10i	11.5			精 良
小型広口壺A_1	−YT2	4.8			にぶ橙
380 −25 −28	6−2868	7.1 11.6	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅するがヨコナデか。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。	良 好
	B10g	11.0			砂粒多含
小型広口壺B_1	−YT2	4.4			にぶ橙
381 −25	7−2298	− −	口頸部欠損。	肩部に凸帯を1条施す他は無紋。外面磨滅のため調整不明。内面ハケ。底部平底。胴部に黒斑。	軟質
	B11i	12.1			精 良
小型壺胴部Ⅰ	−YT2−C_2	5.4			うす黄
382 −25 −29	6−1637	− −	口頸部欠損。	肩部に櫛の刺突紋と雑な櫛描波状紋を交互に施した文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。内面ナデ。底部平底。	良 好
	A10e	10.2			精 良
小型壺胴部Ⅱ	−YT2	4.4			黄味白
383 −25 −29	6−2683	− −	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後ヘラミガキしているが磨滅のため調整痕はほとんど残らない。底部あげ底。	良 好
	A10i	12.3			精 良
小型壺胴部Ⅲ	−YT2	5.8			赤味橙

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口縁径 / 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部（脚台部）	焼成 / 胎土 / 色調
384 −25 −29 小型壺胴部Ⅲ	6−2314 B10g −YT2	− − 7.1 3.0	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面ハケ後ヘラミガキか。内面ナデ。底部ドーナツ底。	良好 精良 黄白
385 −25 −29 壺	6−2678 B10g −YT2	8.8 7.1 7.0 4.5	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面底部指頭圧痕。底部平底、木葉痕。	良好 砂粒含む にぶ橙
386 −25 壺	番号不明 B10h −YT2	− − 9.7 4.8	口頸部の一部残存。外面に櫛の刺突による羽状紋がわずかに残る。内面縦方向のヘラミガキか。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ、一部磨滅。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底、ヘラキズあり。底部の内外面に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
387 −25 −29 長頸壺 A	6−1638 A10e −YT2	− − 16.2 5.5	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面横ハケ。底部平底。胴部と底部の2ケ所に黒斑。外面に第2次焼成の跡。	良好 砂粒多含 にぶ黄橙
388 −25 −29 壺胴部Ⅳ	6−1755 A10f −YT2	− − 15.0 7.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底。下胴部に焼成後の穿孔。	良好 精良 黄味白
389 −25 短頸壺 D	7−2506 B10i −YT2−D	12.8 14.6 17.7 6.0	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ、外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部横、下胴部縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部平底、砂粒付着。下胴部から底部に黒斑。	やや軟質 精良 うす橙
390 −25 短頸壺 B	6−2818 A10i −YT2	15.6 − − −	口唇部は円頭状に作る。内面ナデ。外面縦方向の櫛刺突紋。	肩部の一部残存。無紋。内外面とも斜方向のヘラミガキ。胴部欠損。	良好 砂粒多含 にぶ黄橙
391 −25 短頸壺 D	6−2817 A10i −YT2	14.1 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部の一部残存。無紋。外面磨滅のため調整不明。内面ナデ。胴部欠損。	やや軟質 精良 うす橙
392 −25 短頸壺 B	6−2818 A10i −YT2	20.0 − − −	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面斜方向の櫛刺突紋、頸部ナデ。	肩部の一部残存。無紋。外面右下りの斜ハケ。内面ナデ。胴部欠損。	やや軟質 精良 黄味白
393 −25 壺脚台部	6−2417 B10g −YT2−D$_1$	− − − 9.4	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面上部櫛描直線紋、以下裾部にかけては縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。裾端面は面を作る。	良好 精良 うす橙
394 −25 壺脚台部	6−2885 A10i −YT2	− − − 11.0	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面細かなハケ後ナデ。内面上部のろくろミガキ、他はナデ。裾端面は面を作りヨコナデ。	良好 精良 にぶ橙
395 −26 甕 A_1	6−2530 A10a −YT2	19.9 − 18.7 9.1	口唇部は面を作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面粗い横ハケ。外面粗い縦ハケ。	腹部欠損のため上下体に別れるが同一個体。外面上胴部右下り、下胴部左下りの粗い斜ハケ、煤一部付着。内面上部ナデ、下部横ハケ。脚台部外面縦ハケ、煤付着。内面ナデ。	良好 砂粒多含 うす黄
396 −26 −30 甕 B_1	6−2707 A10f −YT2	20.5 − 21.2 −	口唇部は面を作りハケ。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面横ハケ、煤付着。熱のため器面著しく剥離する。内面上部ナデ、下部横ハケ、炭化物付着。脚台部欠損。胴部に一対の黒斑。	やや軟質 砂粒多含 にぶ黄橙
397 −26 甕 A_2	6−2392 A10a −YT2	12.6 − 12.6 −	口唇部は面を作り、面上に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面頸部ヨコナデ。	胴部外面細かな縦ハケ後ナデ。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。胴部に黒斑。煤はつかない。	良好 精良 にぶ黄橙
398 −26 甕 C_1	6−2664 A10f −YT2	17.3 − 17.7 −	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面ハケ後ナデ？ 外面ヨコナデ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面上部斜ハケ後、下部ナデ。内面も全面煤ける。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 灰味黄茶

別冊図版番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径・高・底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・脚台部	焼成 胎土 色調
399 −26 甕 C_1	6−2735 A10 i −YT2	19.2 − 22.0 −	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面横ハケ。下胴部から脚台部は欠損。	良 好 砂粒含む 灰味黄茶
400 −26 −30 甕 D_1	7−2345 B10g −YT2−C_2	15.8 24.3 18.0 8.4	口唇部は磨滅のためはっきりしないが、円頭状に作り、端部に刻みを施しているようである。内面横ハケ、外面細かな縦ハケ後端部のみヨコナデ。	胴部外面細かな斜ハケ、煤は付着せず。内面粗いハケを底部より螺旋状に施紋。脚台部外面縦方向のハケ。内面ヨコナデ。胴下部から脚台部にかけて黒斑。	良 好 砂粒含む にぶ橙
401 −26 甕	6−2826 A10 i −YT2	16.0 − − −	口唇部は円頭状に作り、刻みは施さない。内外面ともヨコナデか。	胴部外面斜ハケ後ナデ、煤は付着せず。内面ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。短頸壺の可能性もある。	良 好 精 良 黄 味 白
402 −26 甕	6−2828 A10 i −YT2	28.7 − − −	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛又は棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面粗い斜ハケ、煤付着。内面ナデ。下胴部欠損。	良 好 砂粒含む にぶ黄橙
403 −26 高坏脚部B_1?	6−1570 A10d −YT2	− − − 10.2	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面縦方向のヘラミガキ。内面横ハケ。甕脚台部として判組したが高坏の脚の可能性が高い。	良 好 精 良 黄 味 白
404 −26 甕脚台部 A	6−2226 B10g −YT2	− − − 10.0	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面斜ハケ一部ナデか。内面上部横ハケ、下部ナデ。底部ハケ。胴部との接合は円板充填法。	良 好 砂粒含む 黄 味 白
405 −26 甕脚台部 A	6−2394 A10d −YT2	− − − 11.7	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面磨滅により調整不明。内面上部横ハケ、下部ナデ。高坏脚の可能性もある。胴部との接合法は不明。	良 好 精 良 にぶ橙
406 −26 甕脚台部 A	6−2849 A10 i −YT2	− − − 11.0	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。内外面とも粗い斜ハケ。胴部との接合法は円盤充填法か。	良 好 砂粒多含 黄 味 白
407 −26 甕脚台部 A	7−2507 B10 i −YT2	− − − 6.3	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面斜方向の細かな斜ハケ、煤付着。内面ナデ。胴部との接合法は不明。	良 好 砂粒多含 灰味黄茶
408 −26 甕脚台部 A	6−2885 A10 i −YT2	− − − 7.5	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面細かな縦ハケ、接合部付近はナデ。内面ナデ。胴部との接合は円板充填法。	良 好 砂粒含む 明るい茶灰
409 −26 甕脚台部 B	7−2417 B10g −YT2−D	− − − 8.6	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面縦ハケ。内面横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴内面底部に炭化物付着。胴部との接合は円板充填法か。	良 好 砂粒多含 うす黄
410 −26 甕脚台部 B	6−2226 B10g −YT2	− − − 8.1	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面細かな斜ハケ後ナデ。内面横ハケ。胴部との境に粘土帯らしき跡。胴部との接合は円板充填法。	良 好 砂粒含む うす黄
411 −26 甕脚台部 B	7−2415 B10g −YT2−D	− − − 9.1	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面細かなハケ後ナデ。内面ハケ後ナデ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合法は不明。	良 好 砂粒多含 うす黄
412 −26 甕脚台部 C	7−2464 B11 i −YT2−C_2	− − − 13.5	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面縦ハケ。内面斜ハケ。胴部との境に幅広い粘土帯を貼付し、帯上3ヶ所に瘤状突起。胴部との接合は円板充填法。	良 好 砂粒多含 うす黄
413 −26 甕 G	6−1881 A10f −YT2	20.8 − − −	口唇部は面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面粗い斜ハケ。	胴部外面施状器具による斜線列（粗いハケメのようにみえる）、煤付着。内面ヘラミガキ。下胴部欠損。脚台部はつかない器形。東からの搬入品か。	良 好 砂粒含む にぶ黄橙

番号	図版 / 写真図版	器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量 cm 口径	器高	径底	技法・調整等の特徴 坏部	技法・調整等の特徴 脚部	焼成 胎土 色調
414	－27 －30	高坏 B_1	6－2275 A10 i －YT2	29.0 19.9 － 17.6			口縁部は円頭状に作る。口縁部ヨコナデ。坏部外面上部に櫛描波状紋。外面下部縦方向のヘラミガキ。内面縦方向のヘラミガキ。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋。下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部細かなヨコハケ。裾端面は折返しにより幅広い丸味のある面。円形透孔3ケ所。	良好 精良 黄味白
415	－27 －31	高坏 B_2	6－2737 A10 i －YT2	23.6 20.2 － 12.4			口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ナデ。裾端面は折返しにより幅広い丸味のある面。円形透孔3ケ所。	良好 精良 にぶい橙
416	－27 －31	高坏 B_2	6－1429 A10 d －YT2	20.3 16.6 － 15.4			口唇部は面を作る。坏部無紋。内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。外面全面縦方向のヘラミガキ。口唇部に黒斑。	脚上部に櫛端直線紋と櫛の刺突紋とを交互に施した文様帯。文様帯下部縦方向のヘラミガキ、櫛描ナデ。内面上部ジボリ、下部横ハケ。裾端面は面。円形透孔3ケ所。	良好 精良 にぶい橙
417	－27	高坏 C_2	6－1383 A10 e －YT2	18.8 20.1 － 11.6			口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキであるが磨滅のため調整痕ははっきりしない。	脚部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部ジボリ、下部磨滅のため調整不明。	やや軟質 精良 黄味白
418	－27	高坏 D_1	6－2733 A10 i －YT2	24.1 24.2 － 13.5			口唇部は上部から押えつけて幅広い面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。外面上部に黒斑。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。裾部にハケ残存。内面上部ジボリ、下部細かな横ハケ、裾端面は折返しにより、幅広い面を作る。円形透孔3ケ所。	良好 精良 黄味白
419	－27 －31	高坏 D_1	6－2732 A10 i －YT2	23.9 23.2 － 13.9			口唇部は上部から押えつけて幅広い面を作る。坏部無紋。口縁部（坏部内外面端部）ヨコナデ。坏部内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。外面に一対の黒斑。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部細かな横ハケ。裾端面は折返しにより幅広い面を作りハケ調整。円形透孔3ケ所。	良好 精良 黄味白
420	－27	高坏 E	6－2820 A10 i －YT2	19.8 － － －			口唇部は面を作りヨコナデ。坏部無紋。内面横ハケ後縦方向のヘラミガキ。外面斜ハケ後縦方向のヘラミガキ。内外面に黒斑。	脚部欠損。	良好 精良 にぶい黄橙
421	－27	高坏 H_8	番号不明 A10 －YT2	23.8 － － －			口唇部は面を作る。坏部無紋。内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。外面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。	脚部欠損。	良好 精良 にぶい黄橙
422	－27	高坏脚部 A_1	6－2820 A10 i －YT2	－－ －－ － 18.1			坏部欠損。	高さが20cm余りもある大型の脚部。脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき4条施文。文様帯下部磨滅のため調整不明。内面上部ナデ、下部横ハケ。裾端面は面。透孔3ケ所。	良好 精良 黄味白
423	－27	高坏脚部 A_2	6－1754 A10 e －YT2	－ － － 12.7			坏上部欠損。下部一部残存。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。裾部のみハケ。内面上部ジボリ、下部横ハケ。裾端面は折返しにより面を作る。円形透孔3ケ所。脚部との接合は円板充填法。	良好 精良 黄味白
424	－27	高坏脚部 A_2	6－2885 A10 i －YT2	－－ －－ － 12.8			坏部欠損。	脚部無紋。外面上部ナデ、下部斜ハケ。内面上部ジボリ、下部ナデ。裾端面は円頭状に作る。円形透孔3ケ所。脚部との接合法は不明。	良好 精良 うす橙
425	－27	高坏脚部 A_2	7－2506 B11 i －YT2－D	－ － － 13.5			坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部ジボリ、下部ナデ。裾端面は面を作る。円形透孔3ケ所。脚部との接合は円板充填法か。裾部に黒斑。	良好 精良 うす黄
426	－27	高坏脚部 A_2	7－2355 B10 i －YT2－C_2	－ － － 15.4			坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋。下部磨滅のため調整不明。内面上部ジボリ、下部磨滅のため調整不明。裾端面は折返しにより幅広い面を作る。円形透孔3ケ所。	良好 精良 赤味橙
427	－27	高坏脚部	7－2346 B10g －YT2－C_2	－ － － 9.9			坏上部欠損。下部一部残存。内面縦方向のヘラミガキ。外面磨滅のため調整不明	脚部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。円形透孔3ケ所。脚部との接合法は円板充填法か。	良好 精良 にぶい橙
428	－27	高坏脚部 C	6－2885 A10 i －YT2	－－ －－ － 9.0			坏部欠損。	脚部無紋。外面縦ハケ。内面上部ナデ、下部横ハケ。脚部との接合法は不明。	良好 砂粒含む にぶい黄橙

番号 別冊図版 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部(頸部)	胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
429 −27 高坏脚部 D	6−2460 A10e −YT2	— — 11.0	坏部欠損。	坏部との境に粘土帯。脚上部から裾部にかけては櫛描直線紋を6条施紋。間常部の1ケ所に施紋器具による刺突紋。内面ナデ。裾端面は円頭状。円形透孔2個1組3ケ所。	良好 精良 にぶ橙
430 −27 高坏脚部 D	6−2814 A10i −YT2	— — 11.6	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面横ハケ。裾端面は円頭状に作る。中実。胴部との接合は挿入付加法か。	良好 精良 黄味白
431 −28 鉢 B_1	番号不明 −YT2	13.1 10.4 13.9 4.0	口扇部は口頭状に作る。内面ヨコナデ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。後、ヘラミガキで」を逆さにしたような文様をつける。底部ナデ。	頸部との境に櫛刺突紋(横方向)を1段施す他は無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ、腹部のみ横。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底。ヘラケズリ。	良好 精良 にぶ橙
432 −28 −30 鉢 B_1	6−2159 A10f −YT2	11.7 10.4 13.0 5.5	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面ナデ後縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅により調整痕ははっきりしないが縦方向のヘラミガキ。内面横ハケ。底部平底。外面全面丹彩。	良好 精良白 黄味(丹彩)
433 −28 −30 鉢 B_1	6−2401 A10e −YT2	8.7 7.2 7.8 3.6	口唇部は面を作り強いヨコナデ。内面ナデ。外面櫛の刺突による羽状紋(1.5段)。	胴部無紋。内外面ともナデ調整。底部平底。下胴部から底部全面に黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ橙
434 −28 −31 鉢 B_1	番号不明 −YT2	10.2 8.3 10.2 4.6	口唇部は面を作る。内面横方向のヘラミガキ。外面櫛の刺突による羽状紋(2段)。	頸部との境に施状器具による沈線1条。胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面横ハケ。底部平底、砂粒付着。胴部に黒斑。	良好 精良白 黄味白
435 −28 鉢 B_2	6−1511 A10e −YT2	— — 14.6 7.0	口縁部欠損。口頸部の一部残存。内面ナデ。外面磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明、下胴部縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底、砂粒付着。	良好 精良 うす橙
436 −28 −31 鉢 C_1	6−2069 A10e −YT2	10.9 9.6 12.6 5.0	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面斜方向の櫛描刺突紋。	胴部無紋。外面上胴部ハケ後ナデ、下胴部ハケ。内面板状器具によるナデ。底部あげ底。	良好 精良 うす橙
437 −28 −31 鉢 C_2	6−2818 A10i −YT2	11.1 10.5 12.9 5.1	口扇部は面を作る。内面横ナデ。外面櫛の刺突による羽状紋(1段)。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底、ヘラミガキ。上胴部に小さな黒斑。	良好 精良白 黄味白
438 −28 鉢 C_2	6−2876 B10g −YT2	15.8 — 20.2 —	口唇部は内側にむけて面取りする。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部縦方向のヘラミガキ、腹部横ハケ。内面ナデ? 下胴部欠損。	やや軟質 精良 うす橙
439 −28 鉢 E_2	7−2417 B10g −YT2−D_1	9.2 5.1 — 5.9	口唇部は面を作る。	胴部無紋。内外面とも磨滅によりはっきりしないがハケ後ナデ調整か。底部平底。脚台部である可能性もある。	良好 精良 赤味橙
440 −28 鉢 F	6−2596 A10f −YT2	28.1 — — —	口唇部は端部を内外面に引き出すようにして幅広い面を作りヨコナデ。	胴部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部欠損。高坏の坏部である可能性もある。	良好 精良 赤味橙
441 −28 鉢 F	6−2566 A10f −YT2	27.7 9.4 — 5.4	口唇部は面を作りヨコナデ。	胴部無紋。内外面ともかなり磨滅するが、縦方向の丁寧なヘラミガキを施している。底部平底。内面下部に黒斑。	やや軟質 精良 赤味橙
442 −28 −31 台付鉢 A_1	6−2836 A10i −YT2	12.0 — 15.8 —	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部磨滅のため調整痕ははっきりしないが縦方向のヘラミガキ、下部ナデ。脚台部欠損。	良好 精良白 黄味白
443 −28 台付鉢 A_2	6−2886 A10i −YT2	10.5 — 11.6 —	口扇部は円頭状に作りヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整痕ははっきり残らぬが縦方向のヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。脚台部櫛描直線紋と刺突紋を交互に施紋。下部欠損。透孔3ケ所。	良好 精良 うす橙

別冊図版番号 写真図版番号 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 底径 器高	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部（脚台部）	焼成 胎土 色調
444 －28 －31 台付鉢 A_1	6－2804 A10 i －YT 2	13.4 － 14.0 －	口唇部はやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面ナデ。脚台部欠損。外面上部に一対の黒斑。	良好 精緻 にぶ橙
445 －28 台付鉢 A_1	6－2816 A10 i －YT 2	9.1 － 10.0 －	口唇部は円頭状に作る。口縁部内外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面横方向のヘラミガキ。内面ナデ。脚台部欠損。	良好 精緻 にぶ橙
446 －28 台付鉢 C	6－1756 A10 f －YT 2	9.2 － － －	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。	胴部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。脚台部上部に櫛描直線紋1条。下部は欠損。円形透孔3ケ所。	良好 精緻 にぶ橙
447 －28 片口 A_1	6－2261 A10 i －YT 2	28.5 11.3 － 8.7	口唇部は面を作りヨコナデ。片口部は7cm程の幅で、外側へ2cm程張り出す。口縁部外面に黒斑。	胴部無紋。内外面とも横方向のヘラミガキ。底部は貼りつけにより突出した平底を作る。	良好 精緻 にぶ橙
448 －28 －32 片口 B_1	7－2416 B10g －YT 2－D	20.4 7.8 － 5.6	口唇部は面を作りヨコナデ。片口部は3cm程の幅で、外側へは0.5cm程張り出す	胴部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 精緻 黄味白

B10区YT 9

449 －28 広口壺 B	7－2753 B10h －YT 9－D	13.6 － － －	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋。下部ナデ。外面斜ヘケ後ヨコナデ。	肩部の一部残存。肩部最上部に櫛描波状紋を1条施紋。胴部欠損。	やや軟質 やや粘性弱い うす橙
450 －28 広口壺 F－a	7－2753 B10h －YT 9－D	15.9 － － －	口唇部は折返しにより幅広い面を作りヨコナデ。内面端部櫛の刺突による羽状紋と櫛先端による刺突紋。下部斜ハケ。外面ハケ後ヨコナデ。	胴部欠損。割れ口に頸部との境に施された凸帯がわずかに残存する。	良好 精緻 にぶ橙

B10区YT 9西縁

451 －28 広口壺 C	6－2408 B10d－D	14.1 － － －	口唇部は面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面粗いヨコハケ。	肩部の一部残存。残存部に櫛描直線紋1条。以下胴部欠損。	良好 精緻 にぶ橙
452 －28 広口壺 F－b	6－2890 B10g－D	15.5 － － －	口唇部は折返しにより幅広い面を作り、櫛描波状紋を施す。内面ナデ、外面縦ハケ。	肩部の一部残存。残存部に櫛描の直線紋と波状紋がわずかに認められる。以下胴部欠損。	良好 砂粒多含 にぶ橙
453 －28 －32 広口壺 B_2	6－2629 B10g－D	8.6 14.5 15.0 6.3	口唇部、口縁部とも著しい磨滅のため成形、調整法不明。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明。下胴部縦方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。上胴部に黒斑。	良好 砂粒多含 うす黄
454 －28 －32 短頸壺 D	7－1211 B10g－D	9.0 11.9 13.6 6.6	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面粗い横ハケ。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面調整不明。底部浅いドーナツ底、砂粒付着。口縁部から上胴部にかけて黒斑。	良好 精緻 にぶ橙
455 －28 －32 鉢 B_1	6－2802 B10d－D	18.1 15.5 19.4 6.3	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面横ハケ。外面櫛の刺突による羽状紋(2.5段)。	胴部無紋。外面磨滅のため調整痕はっきりしないが縦方向のヘラミガキ。内面横ハケとナデ。底部平底。下胴部に小さな黒斑。	良好 やや粘性弱い にぶ橙
456 －29 壺 C_1	1212 B10g－D	19.1 － 20.7 －	口唇部は面を作る。口頸下端から口縁部外側にかけて櫛状器具による大きな羽目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	頸部との境に刷毛状器具を押圧（横線と呼べるほどはっきりしない）。胴部外面右下りの斜ハケ、煤付着。内面ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	やや軟質 砂粒多含 暗い黄茶

別冊図版番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部（脚台部）	焼成 胎土 色調
457 −29 甕脚台部A	6−2559 B10d−D	− − − 8.6	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面粗い斜ハケ。内面粗い斜ハケ。胴部との境に粘土帯？接合法は不明。	良 好 砂粒多含 にぶい橙
458 −29 甕脚台部A	6−2883 B10d−D	− − − 9.4	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面粗い斜ハケ。内面粗い横ハケ後ナデ？　胴部との境に粘土帯？　胴部との接合は円板充填法か。外面に一対の黒斑。	良 好 砂粒多含 にぶい黄橙
459 −29 甕脚台部A	6−2410 B10d−D	− − − 8.3	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面細かな斜ハケ。内面横ハケ。胴部との境に粘土帯。胴部との接合は円盤充填法。	良 好 砂粒含む 黄 味 白
460 −29 甕脚台部C	6−2445 B10d−D	− − − 11.9	口頸部欠損。	胴部欠損。脚台部の破片。外面斜ハケ。内面横ハケ。胴部との境に幅広い粘土帯を貼付し、帯上5ヶ所に縦状突起を設ける。胴部との接合は円板充填法か。	良 好 砂粒多含 にぶい黄
461 −29 高坏脚部A_2	6−2410 B10d−D	− − − 14.0	坏部欠損。	脚部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部ナデ、下部横ハケ。裾端面折返しにより幅広い面を作る。坏部との接合は円板充填法。	良 好 砂粒含む にぶい橙
462 −29 高坏脚部D	6−2410 B10d−D	− − − 11.8	坏部欠損。	脚上部に櫛描直線紋を3条施紋。文様帯下部縁方向のヘラミガキ。内面横ハケ。裾端面は面を作りヨコナデ。坏部との接合法は不明。	良 好 精 良 にぶい橙
463 −29 高坏脚部F	6−2634 B10g−D	− − − 11.8	坏部欠損。	坏部との境に凸帯を1条施すほかは無紋。外面上部縦、下部横方向のヘラミガキ。裾部は段を設け外面ハケ調整。内面上部シボリ。下部ナデ。裾部ハケ。接合は円盤充填法。	良 好 精 良 うすい橙

A10区・B10区・B11区瑞浦上面

464 −29 −32 広口壺B_2	番号不明 B10g	11.9 18.7 18.3 6.0	口屑部は面を作る。内面端部櫛描波状紋、下部横方向のヘラミガキ。外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→刺突紋を施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底。下胴部に黒斑。	やや軟質 精 良 黄 味 白
465 −29 −32 広口壺D_3	6−1196 A10c−B	10.0 16.2 14.4 4.2	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向のヘラミガキ。底部平底。下胴部に黒斑。	良 好 砂粒含む にぶい橙
466 −29 広口壺B	6−1801 A10f−C・D	13.3 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部欠損。	軟 質 精 良 黄 味 白
467 −29 広口壺D	6−1801 A10f−C・D	12.8 − − −	口唇部はやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。口唇下端に櫛状器具による刺目紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部欠損。	良 好 精 良 赤 味 橙
468 −29 広口壺E_3	6−768 A10e−C_2	13.1 27.1 22.0 3.9	口唇部は円頭状を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	頸部との境に凸帯を1条施すほかは無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部は大半が欠損するが平底のようである。	良 好 精 良 黄 味 白
469 −29 広口壺E	6−769 A10e−C_2	16.6 − − −	口唇部は面を作る。内面端部横、下部縦方向のヘラミガキ。外面端部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。頸部との境に凸帯、その下胴部に櫛描直線紋と櫛の刺突による羽状紋を施しただけの簡狭い文様帯。下部磨滅のため調整不明、内面ナデ。胴部欠損。	良 好 精 良 黄 味 白
470 −29 広口壺F−a	6−1293 A10b−C	15.6 − − −	口唇部は折返しにより幅広いやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。内面端部椎拙な感じのする櫛描波状紋、下部横ハケ。外面縦ハケ。	胴部欠損。	良 好 精 良 うすい黄

別冊図版番号 / 写真図版番号 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 胴部径 / 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部（脚台部）	焼成 / 胎土 / 色調
471 −29 −33 / 壺胴部Ⅰ	6−950 / A10e−C	− / − / 16.2 / 5.5	口縁部欠損。頸部一部残存。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。腹部と底部の2ケ所に黒斑。	良 好 / 砂粒含む / うすい橙
472 −29 −33 / 小型広口壺A_1	番号不明 / A10区	7.6 / 9.8 / 8.5 / 4.0	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面斜ハケ。	肩部に櫛の押圧横線を3・4条一櫛描直線紋一櫛描扇形紋を施した文様帯。文様帯下部はハケ後横方向のヘラミガキ。底部平底。下腹部から底部に黒斑。	良 好 / 砂粒含む / にぶい橙
473 −29 −33 / 小型壺胴部Ⅱ	6−1845 / A10C−CD	− / − / 8.4 / 4.2	口頸部欠損。	肩部に櫛の押圧横線を1条施紋。上胴部縦ハケ後ナデ、一部に縦紋（LR）。下胴部縦ハケ。底部平底。	良 好 / 砂粒多含 / 黄味白
474 −29 −33 / 小型壺胴部Ⅰ	7−1268 / B11h −YP1	− / − / 8.5 / 3.6	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部縦ハケ後粗い横ナデ、下胴部ハケ。底部平底。胴部1/3に黒斑。	良 好 / 砂粒多含 / 黄味白
475 −29 −33 / 小型壺胴部Ⅱ	6−1193 / B10h−B	− / − / 10.0 / 5.1	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明、腹部に一部横方向のヘラミガキが残る。底部浅いドーナツ底、砂粒付着。腹部に黒斑。	良 好 / 砂粒多含 / 赤味橙
476 −29 −33 / 小型壺C	7−578 / B10i−C	6.5 / 8.1 / 8.4 / 4.7	口頸部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。内外面ともナデ調整。底部ドーナツ底。口縁部から腹部にかけて黒斑。	良 好 / やや粘性弱い / 黄味白
477 −29 / 小型壺C_2	番号不明 / B10h	7.9 / 7.6 / 8.0 / 4.7	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面ハケ後ナデか。内面ナデ。底部平底。腹部に2ケ所黒斑。	良 好 / やや粘性弱い / 黄味白
478 −29 / 短頸壺A	6−1846 / A10f−CD	13.8 / − / − / −	口唇部は面を作りヘラミガキ。内面横方向のヘラミガキ。外面櫛の刺突による羽状紋、頸部ヨコナデ。	肩部の一部残存。肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施紋。胴部欠損。	良 好 / 精良 / にぶい橙
479 −29 / 高坏B_3	7−469 / B11c −YP11	18.0 / − / − / −	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面ともハケ後ナデ調整。両面に煤付着。脚部との接合は円板充填法。	脚部欠損。	良 好 / 砂粒多含 / にぶい橙
480 −29 / 高坏脚部A_2	6−1847 / A10f−CD	− / − / − / 12.0	坏部欠損。	脚部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部シボリ、下部横ハケ。脚端面折返して丸味をもつ。円形透孔3ケ所。坏部との接合は円板充填法。	やや軟質 / 精良 / 黄味白
481 −29 −33 / 鉢E_2	6−1305 / A10b−C	11.0 / 5.5 / − / 5.6	口唇部は面を作る。	胴部無紋。外面斜ハケ後斜方向のヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。底部平底。底部に黒斑。	やや軟質 / 精良 / 黄味白
482 −29 / 鉢B_3	5−116 / B11h−Ⅳ	13.6 / 9.5 / 12.0 / 5.5	口唇部は円頭状に作る。内面ナデ、外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面横方向の丁寧なヘラミガキ。内面板状器具によるナデ。底部平底。古式土師器か。	良 好 / 精良 / 黄味白
483 −29 / 鉢G	6−2020 / A10f−CD	16.0 / 9.4 / − / 4.9	口唇部は円頭状に作る。片口の可能性もある。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。底部平底、木葉痕。	良 好 / 精良 / 赤味橙
484 −29 / 脚台部	番号不明 / A10d	− / − / − / −	口頸部欠損。	下胴部から脚台上部の破片。鉢又は壺の一部。下胴部は内外面ともヘラミガキ。脚台部は胴部との境に竹管状、以下櫛描直線紋と刺突紋を交互に施紋。下部欠損。	良 好 / 精良 / うすい橙

C10区・C11区・D11区・D12区YT1

別冊図版番号 / 写真図版番号 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径	法量cm 胴径	法量cm 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・底部	焼成 / 胎土 / 色調
485 −30 −33 / 広口壺 B_1	7−1405 / D12d / −YT1a	10.2	15.8	6.4	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	肩部に櫛描（9歯/8cm）の直線紋→波状紋→浪線紋→扇形紋→直線紋→扇形紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。	良 好 / 精 良 / 赤 味 橙
486 −30 −33 / 広口壺 B_1	7−1443 / D12d / −YT1a	10.7	16.5	6.0	口唇部は面を作る。内面端部櫛描波状紋下部横ハケ。外面縦ハケ端部のみヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→扇形紋（要石）を施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。下胴部から底部にかけて黒斑。	良 好 / 精 良 橙 / う す 橙
487 −30 −33 / 広口壺 B_1	7−1428 / C11f / −YT1a	9.1	14.6	5.7	口唇部は円頭状に作る。内面細かな横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に雑な櫛描直線紋を間帯をおき3条施し、下部間帯部に3個1組とした円形浮紋を3ケ所に貼付ける。文様帯下部は縦方向のヘラミガキ。底部平底。肩部に黒斑。	良 好 / 精 良 / う す 黄
488 −30 −34 / 広口壺 B_1	7−2385 / C11b / −YT1a−C_2	8.7	12.5	5.0	口唇部は面を作る。内面端部櫛の刺突紋下部ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→刺突紋と施し、その下に要を上にした扇形紋を1/4周にのみ施している。文様帯下部は底部までハケ。底部平底。胴部の1/2に黒斑。	良 好 / 精 良 / 黄 味 白
489 −30 −34 / 広口壺 B_2	7−1383 / D12d / −YT1a	13.3	19.4	6.9	口唇部は面を作る。内面端部櫛の刺突による羽状紋（1段）、下部横ハケ。外面縦ハケ後端部と頸部ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋3条、その下文様帯最下段に上とは波長の異なる(大)波状紋を1条施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底。	良 好 / 精 良 橙 / 赤 味 橙
490 −30 / 広口壺 B_4	12−2−1050 / D12e / −YT1	15.8	27.2	6.9	口唇部は肥厚させ円頭状に作る。内面端部稚拙な感じのする櫛描波状紋、下部ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部のごく狭い範囲（幅3cm）に縄紋（無節R）を施紋。胴部外面は縦ハケ後斜方向のヘラミガキ。内面上部指ナデ、中・下部は横ハケ。底部ドーナツ底。腹部に黒斑。	良 好 / 精 良 / に ぶ 橙
491 −30 −34 / 広口壺 E_2	7−1201 / D11d / −YT1a−D	9.3	21.0	7.3	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	頸部との境に稚拙な感じのする櫛描波状紋を1条のみ施紋。胴部縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。胴部に一対の黒斑。	良 好 / 砂 粒 多 含 / に ぶ 橙
492 −30 / 広口壺 F_2	12−2−1051 / D12b / −YT1	10.8	19.9	6.4	口唇部は折返しにより幅広い面を作り櫛描波状紋を施す。内面端部櫛描波状紋、下部横ハケ。外面縦ハケ、頸部のみヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→波状紋→直線紋→扇形紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部斜方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。胴部2ケ所に黒斑。	良 好 / 砂 粒 多 含 / に ぶ 橙
493 −30 / 広口壺F−a	7−2437 / C11b / −YT1a−D	18.1	—	—	口唇部は面を作りヨコナデ。後、面上に8個1組の棒状浮紋を5ケ所に貼付。内面端部櫛描の半円形紋を1周にわたり施紋。外面縦ハケ後頸部のみ縦ヘラミガキ。	肩部の一部残存。肩部に要を上にした櫛描扇形紋を1段、その上に3個1組の円形浮紋を5ケ所に貼付。以下胴部欠損。東（中遠地域）からの搬入品か。	良 好 / 砂 粒 多 含 / 黄 味 白
494 −30 −34 / 壺胴部 I	7−3287 / C11f / −YT1a−D	—	—	15.7 6.1	口縁部欠損。頸部一部残存。内面上部に櫛描波状紋がわずかに残る。下部ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋2条を施した幅狭い文様帯。文様帯下部上胴部斜ハケ後縦方向の、下胴部斜ハケ後斜方向のヘラミガキ。内面下部ハケ。底部平底、ヘラケリ。	良 好 / 砂 粒 含 む / に ぶ 橙
495 −30 −34 / 壺胴部 I	7−1379 / D12−d / −YT1a	—	—	15.5 5.8	口頸部欠損。	頸部との境に凸帯を1条、以下胴部から上胴部にかけて櫛描直線紋と刺突紋とを交互に施した文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部平底。	良 好 / 砂 粒 含 む / に ぶ 橙
496 −30 −34 / 壺胴部 I	7−1663 / C12f / −YT1a	—	—	21.9 5.2	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ハケとナデ。外面ヨコナデ。	頸部との境に櫛の押圧横線を2条、その下に櫛の刺突による羽状紋を1段施した幅狭い文様帯。胴部外面は磨滅のため調整不明。底部平底。胴部に一対の黒斑。	良 好 / 砂 粒 多 含 / 黄 味 白
497 −30 −35 / 壺胴部 II	7−1393 / C11f / −YT1a	—	—	20.4 7.9	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ナデ？外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→波状紋を施した文様帯。文様帯下部上胴部斜ハケ後板状器具によるナデ、下胴部ハケ。底部平底、砂粒付着。胴部2ケ所に黒斑。	良 好 / 砂 粒 含 む / ピ ン ク
498 −30 −35 / 壺胴部 II	7−1937 / D12d / −YT1a	—	—	24.2 6.4	口頸部欠損。	頸部との境に櫛の押圧横線を2条施す他は胴部無紋。外面磨滅していてはっきりしないがハケ調整だけのようである。底部平底中央部のみわずかに凹む。腹部に黒斑。	良 好 / 精 良 / 赤 味 橙
499 −31 −36 / 壺胴部 II	7−3289 / C11f / −YT1a−D	—	—	23.8 8.3	口頸部欠損。	胴部無紋。外面肩部横、上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。	良 好 / 精 良 / に ぶ 橙

番号 別図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
器種・形態					
500 −31 −36 壺胴部Ⅱ	7−1394 C11f −YT1a	− − 24.4 8.1	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明。下胴部縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。底部平底。	良 好 精 良 に ぶ 橙
501 −31 −35 壺胴部Ⅱ	7−1427 C12f −YT1a	− − 18.2 6.8	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施した幅狭い文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部平底。胴部に黒斑。	やや軟質 精 良 赤 味 橙
502 −31 −35 壺胴部Ⅲ	7−2427 C11b −YT1a−D	− − 14.3 6.8	口縁部欠損。頸部一部残存。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部に2cm程の幅で縄紋（LR）。以下底部まで縦ハケ後横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部浅いドーナツ底。胴部に一対の黒斑。表からの搬入品。	良 好 砂粒多含 灰味黄茶
503 −31 −36 壺胴部Ⅲ	7−1395 C11f −YT1a	− − 19.2 6.4	口頸部欠損。	頸部との境に凸帯を1条、以下胴部に櫛描の直線紋→扇形紋2段→波状紋→扇形紋→直線紋→扇形紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部ハケ後ヘラミガキ。ドーナツ底。	軟 質 砂粒含粘性弱 赤 味 橙
504 −31 −35 小型広口壺B_1	7−1399 C11f −YT1a	5.9 10.2 10.6 6.0	口唇部は円頭状に作る。内面磨滅のため調整不明。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部あげ底。胴部に一対の黒斑。	良 好 砂粒多含 赤 味 橙
505 −31 −35 小型広口壺C_2	7−1378 D12d −YT1a−C	6.5 9.4 8.1 4.2	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	肩部に櫛描直線紋を3ないし4条施紋。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部平底。	良 好 砂 粒 含 に ぶ 黄 橙
506 −31 −35 坩	7−3288 C11f −YT1a−D	11.3 9.4 9.6 5.3	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面下部に指頭圧痕。底部ドーナツ底、木葉痕。	良 好 精 良 黄 味 白
507 −31 −36 小型壺胴部Ⅲ	7−1442 D12d −YT1a	− − 11.2 4.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面肩部縦方向のヘラミガキ。胴部横方向のヘラミガキ。底部浅いドーナツ底。胴部と底部の2ケ所に黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
508 −31 −36 長頸壺 A	7−1440 D12d −YT1a	8.9 17.7 12.0 5.4	口唇部は円頭状に作る。内面板状器具によるナデ。外面縦方向のナデ、胴部と接する付近はヨコナデ。外面に黒斑。	胴部無紋。外面斜・横方向のナデ。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	良 好 精 良 に ぶ 橙
509 −31 −36 長頸壺 A	7−1381 D12d −YT1a−D	8.3 15.6 13.5 5.8	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明。下胴部粗いヘラミガキか。内面下部ハケ。底部平底。口縁部と胴部の2ケ所に黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白
510 −31 −36 長頸壺 B	7−1661 C12f −YT1a	5.1 11.4 9.3 4.4	口唇部は尖頭状に作る。内外面ともヨコナデ。内面に粘土帯の合わせ目の痕跡。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底、砂粒付着。	良 好 粘 性 弱い に ぶ 橙
511 −31 −37 長頸壺 B	7−1438 D12d −YT1a	8.4 14.1 13.1 4.9	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底。胴部から底部全面に黒斑。	良 好 精 良 に ぶ 橙
512 −31 −37 長頸壺 B	7−2416 C11b −YT1a−D_2	7.3 19.3 14.3 4.8	口唇部はやや肥厚させ面を作りヨコナデ。内面板状器具によるナデ、粘土帯の合わせ目の痕跡。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	頸部との境に低い凸帯を1条施す他は無紋。外面横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底ヘラミガキ。胴部2ケ所に黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白
513 −31 −37 長頸壺 B	7−2391 C11b −YT1a−C_2	− − 15.8 5.4	口縁部欠損。頸部内面磨滅のため調整不明。外面縦方向のヘラミガキ。	頸部との境に低い凸帯を1条施す他は無紋。外面横方向のヘラミガキ。内面下部ハケ。底部平底。	良 好 精 良 赤 味 橙
514 −31 短頸壺 B	7−1298 D11g −YT1a	6.5 10.9 12.0 5.3	口唇部は面を作りヨコナデ。内面ヨコナデ。外面櫛による斜方向の刺突紋。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋2条→直線紋→扇形紋→直線紋→扇形紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。内面下部横ハケ。底部ドーナツ底。	やや軟質 良 好 に ぶ 橙

番号	別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径・高・底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
器種・形態						
515	−31	7−1429	27.8 20.4 30.0	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面上胴部ハケ後横方向のヘラミガキ。下胴部胴紋のためはっきりしないがハケメが残る。内面ハケ。底部ドーナツ底。下胴部から底部にかけて黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ橙
短頸壺 C		C12f −YT1a	6.8			
516	−32 −37	7−1582	11.4 13.1 12.4	口唇部は円頭状に作り、端部に棒状器具による刺目紋。内面ナデ。外面ヨコナデ。	胴部外面横方向のナデ。下部に一部ハケメ残存、煤付着。内面ナデ。脚台部との境に粘土帯。脚台部外面縦ハケ、煤付着。内面上部ナデ、下部ハケ。接合法は円板充填法。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
甕	A1	C12o −YT1a	6.5			
517	−32 −37	7−1385	15.4 15.9 −	口唇部は面を作る。口唇下端に棒状器具による刺目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部外面細かな斜ハケ。内面上部ナデ。下部横ハケ。脚台部は欠損。	良好 精良 茶灰
甕	A1	D12d −YT1a	−			
518	−32	7−1444	19.4 − 21.8	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刺目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部外面細かな横ハケ、煤付着。内面ナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。	良好 砂粒含む 茶灰
甕	C1	D12d −YT1a	−			
519	−32	7−1312	20.1 18.7 −	口唇部は円頭状に作る。坏部内外面とも磨滅のため調整不明。	坏部との境に凸帯を1条、その下脚上部には鋭利な施状器具により斜線列を3段施文。下部縦ハケ。内面上部板状器具によるナデ、下部横ハケ。端端は円頭状。	やや軟質 精良 にぶ橙
高坏	B3	D11g −YT1a	10.2			
520	−32 −38	7−1724	10.5 7.8 12.7	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面横方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底、砂粒付着。	良好 精良 黄茶
鉢	A1	D12d −YT1a−D	5.6			
521	−32 −37	7−1662	12.0 11.9 16.4	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ？　下部粗いヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。内面下部に黒斑。	良好 砂粒多含 黄味白
鉢	D	C12f −YT1a	7.2			
522	−32 −38	7−2508	23.4 11.9 −	口唇部は面を作る。坏部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。外面全面（脚台部も含む）丹塗。内面丁寧なナデ。坏上部と脚台部に2個1組の円孔が1対。	脚台部無紋。外面ヘラミガキ、丹塗。内面ハケ、脚台下部に2個1組の円孔をはさんで1.1cm×1.6cmの長方形切り込みが2ケ所ずつ計4ケ所にあく。	良好 精良 赤（丹塗）
台付鉢	D	C11a −YT1−D	20.0			

C10区・C11区・D11区・D12区 YT2

523	−32	12−2−1070	9.5 14.4 14.3	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部斜ハケ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋2条を施した文様帯。文様帯下部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。	良好 精良 赤味橙
広口壺	B1	D12b −YT2−D	5.7			
524	−32 −38	7−1562	7.2 16.3 13.3	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	頸部との境に櫛の刺突紋を1条施す曲は無紋。外面上胴部斜、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。胴部に一対の黒斑。下胴部に第2次焼成の跡。	良好 砂粒多含 明るい黄橙
広口壺	D2	D11a −YT2	7.0			
525	−32	12−2−1071	11.2 17.3 18.8	全面著しく磨滅しており口唇部であるかどうか不明。内外面も調整不明。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。胴部3ケ所に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
広口壺	D3	D12e −YT2−C	5.4			
526	−32 −38	2055	14.0 25.9 24.9	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描直線紋と刺突紋を交互に施した幅狭い文様帯。文様帯下部縦ハケ後横方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 うす橙
広口壺	E3	C11b −YT2	7.0			
527	−32	7−1563	− − 22.8	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後斜方向のヘラミガキ。内面下部横ハケ。底部平底。腹部に黒斑。	良好 精良 うす橙
壺胴部	Ⅳ	D11d −YT2	7.5			
528	−32	7−2453	6.0 7.4 7.1	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部あげ底。下胴部に黒斑。	良好 精良 黄味白
小型壺	A	C11a −YT2−D1	3.4			

別冊図版番号 / 写真図版番号 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 胴部径 / 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚部)	焼成 / 胎土 / 色調
529 −32 −38 小型壺 B	7−1558 C11f −YT2	8.3 10.0 10.4 3.6	口唇部は円頭状に作る。内面斜ハケ後ヨコナデ。外面ヨコナデ後縦方向のヘラミガキ。	頸部との境に櫛の押圧横線を1条施紋。以下胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。下胴部に黒斑	良好 精良 にぶ橙
530 −32 −38 小型壺胴部Ⅱ	7−2433 C11b −YT2−C_2	− − 12.1 4.4	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施し、その後直線紋上に櫛描扇形紋を配す(流水紋を表現)。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。	良好 砂粒含む うす橙
531 −32 −38 長頸壺 A	7−1830 C11e −YT2	9.5 17.7 14.0 5.7	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面磨滅のため調整痕ははっきりしないが縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。底部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
532 −32 −38 長頸壺 B	7−2452 C10g −YT2−C_2	− − 14.8 5.3	口縁部欠損。頸部残存。内面横方向のナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	頸部との境に低い凸帯を1条施すが他は胴部無紋。外面横ないし斜方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。腹部に一対の黒斑。	良好 精良 にぶ橙
533 −32 短頸壺 D	12−2−1053 D12h −YT2	8.5 7.0 11.0 4.5	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横方向のヘラミガキ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面斜方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底、ヘラミガキ。胴部2ケ所と底部に黒斑。	やや軟質 精良 ピンク
534 −32 高坏脚部 D	7−2411 C11a −YT2−D_1	− − 10.6	坏上部欠損。下部一部残存。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	軟質 精良 にぶ橙
535 −32 −39 鉢 B_1	7−2451 C10g −YT2−C_2	13.7 11.0 13.3 6.2	口唇部は円頭状に作る。内面磨滅のためはっきりしないがヨコナデか。外面櫛の刺突による羽状紋(1.5段)。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。下胴部と底部に黒斑。	良好 精良白 黄味
536 −32 鉢 D	6−2881 B10g −YT2	10.9 8.1 11.4 5.3	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面横方向のヘラミガキ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面ハケ後斜方向のヘラミガキ。内面上部横、下部放射状状のヘラミガキ。底部ドーナツ底。下胴部の内外面に黒斑。	良好 精良 うす橙
537 −32 鉢 E_1	12−2−1058 D12f −YT2−C	10.8 6.7 − 4.2	口唇部は面を作る。内面横方向のヘラミガキ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面細かな斜方向のヘラミガキ。内面上部ヘラミガキ、下部ナデ。底部平底、ヘラケズリ。	良好 やや粘性弱い うす橙

C10区・C11区・D11区・D12区YT9

538 −33 広口壺 B_4	12−2−1024 D12f −YT9	9.8 12.7 13.1 5.6	口唇部は肥厚させ面を作り櫛描波状紋、その後面上に2個1組の円形浮紋を3ケ所に貼付。内面端部ヨコナデ、下部縦ヘラミガキ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施紋。波状紋の上には2個1組の円形浮紋を貼付。文様帯下部横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、ナデ。下胴部に黒斑。	良好 精良 うす黄
539 −33 長頸壺 A	12−2−1033 D12h −YT9	− − 14.2 6.2	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ハケ?外面ヨコナデ?	胴部無紋。外面上胴部斜、下胴部横方向のヘラミガキ。内面下部ハケ。底部ドーナツ底、砂粒付着。上胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
540 −33 鉢 B_1	12−2−1025 D12f −YT9	9.3 7.8 10.5 5.8	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。内面上部板状器具によるナデ、下部ハケ。底部平底、ヘラミガキ。胴部に黒斑。	良好 精良 赤味橙

C10区・C11区・D11区・D12区その他遺構

541 −33 −39 広口壺 C_2	7−1313 D11d −YT1b	9.0 18.6 14.8 4.8	口唇部は面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面縦ハケ。	頸部との境に凸帯を1条、以下肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→刺突紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。底部付近に黒斑	良好 やや粘性弱い にぶ橙

別冊図版番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部(脚台部)	焼土 胎土 色調
542 −33 −39 広口壺 E_1	7−1314 D11d −YT1b	8.2 9.8 11.5 5.2	口唇部は面を作る。内外面ともハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部粗いハケ後ナデ、下胴部ハケ。内面に粘土帯の合わせ目の痕跡。底部平底。	良 好 精 良 赤味橙
543 −33 −39 壺胴部Ⅱ	7−1780 D11g −YT1b	− − 14.4 5.5	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋→波状紋→直線紋→波状紋→直線紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部腹部はナデ、下胴部ハケ。底部平底。底部に黒斑。	良 好 砂粒含む うす橙
544 −33 −39 ひさご壺	7−1445 D11d −YT1b	8.4 15.9 12.1 4.6	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。	良 好 砂粒含む にぶい黄橙
545 −33 小型広口壺C_2	7−1856 C11h −YT13	7.0 10.5 10.2 4.6	口唇部は面を作りヨコナデ。内面横ハケ。外面縦ハケ、頸部のみヨコナデ。	胴部無紋。外面縦ハケ後横方向の粗いナデ。底部浅いドーナツ底、砂粒付着。腹部に黒斑。	良 好 精 良 にぶい橙
546 −33 −40 脚台付長頸壺	7−1857 C11h −YT13	− − 10.7 −	口頸部欠損。	長い脚台部をもつ壺。脚台部の下部は欠損。胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面ハケ。脚台部外面縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。上胴部に黒斑。	良 好 精 良 明るい黄茶
547 −33 鉢 A_2	7−1791 C12c −YT1b−枝	10.2 8.0 11.8 5.7	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面斜方向の櫛の刺突紋。	頸部との境に櫛の押圧機線を1条施紋。以下胴部無紋。外面ハケ後横方向のヘラミガキ。内面篦状器具によるナデ。底部平底、ヘラケズリ。胴部に黒斑。	良 好 精 良 うす橙
548 −33 −40 広口壺 B_2	7−876 D12d−C	9.1 13.9 12.2 6.0	口唇部はやや肥厚させ面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面縦ハケ後端部のみヨコナデ。	胴部無紋。外面雑なヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。胴部に黒斑。	やや軟質 精 良 黄味白
549 −33 広口壺 B_4	第2次調査 出土品 D12−8 −Ⅳ	13.7 25.8 23.8 6.5	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。内面端部櫛描の簾状紋風波状紋、下部ヨコナデ。外面ヨコナデ。	肩部に直線紋→扇形紋→竹管紋→扇形紋→直線紋を施した幅狭い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部ドーナツ底。胴部に一対の黒斑。	良 好 やや粘性弱い にぶい橙
550 −33 −40 広口壺 F_4	7−875 D12d−C	7.9 17.9 19.1 6.8	磨滅ひどくはっきりしないが口唇部は円頭状に作るようである。内外面とも磨滅のため調整不明。	頸部との境に凸帯を1条施す他は胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキと思われるが磨滅のため調整痕はっきりしない。下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に黒斑。	良 好 砂粒含む 黄味白
551 −33 −39 小型壺胴部Ⅱ	7−1611 D12d−C_2	− − 8.7 3.7	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後ナデか。底部平底。	良 好 精 良 赤味橙
552 −33 小型広口壺C_3	7−2561 C13a −YT8−D	4.7 5.4 5.0 3.2	口唇部は尖頭状に作る。内面ハケ後ヘラミガキ。外面磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部浅いドーナツ底。	良 好 精 良 黄味白

C12区・C13区YT7

553 −33 −40 広口壺 B_2	7−1897 C12g −YT7−C	12.0 16.5 13.3 4.6	口唇部は面を作る。内面端部櫛描簾状紋、下部ハケ後ナデ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施した文様帯。文様帯下部ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。下胴部に黒斑。	良 好 砂粒含む うす橙
554 −33 広口壺 F_3	7−2630 C13b −YT7−C_1	11.9 17.3 14.6 5.8	口唇部は折返しにより幅広い面を作りヨコナデ。内面ハケ後横方向のヘラミガキ。外面縦ハケ後頸部のみ縦方向のヘラミガキ。	頸部との境に凸帯を1条施す他は無紋。外面上胴部ハケ後斜、下胴部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部平底。砂粒付着。口縁部と胴部の2ケ所に黒斑。	良 好 砂粒含む 黄味白

C12区・C13区YT6

図版番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
555 −33 −40 広口壺 B_4	7−1980 C13a −YT6−D_1	9.3 12.4 13.5 6.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のためはっきりしないが一部にヘラミガキの跡がみられる。内面上部ナデ、下部ハケ後ナデ？ 底部平底、砂粒付着。	良好 砂粒多含 赤味橙
556 −33 広口壺 E_2	7−1626 C13c −YT6	9.6 15.4 13.2 6.6	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部縦ハケ、下胴部縦ハケ後ナデ。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部平底、木葉痕付着。下胴部に黒斑。	良好 砂粒多含 明るい黄橙
557 −33 −40 壺胴部 II	7−1995 C13a −YT6−D_1	− − 13.1 5.9	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→扇形紋→直線紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部横、下胴部縦方向のヘラミガキ。内面上部横ハケ、下部ナデ。底部ドーナツ底。	良好 精良 うす黄
558 −33 −40 小型壺胴部II	7−1979 C13a −YT6−D_1	− − 9.7 4.1	口縁部欠損。頸部一部残存。内面上部に綱紋、下部ナデ。外面ハケ後ナデ。	頸部との境に幅の横圧縞帯を1条、そのド に4個1組の円形浮紋を5ヶ所に貼付。肩部には縄紋（LR+附加条）を施す。文様帯下部ハケ後ヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 黄味白

C12区・C13区

559 −34 −41 広口壺 F_2	第4次調査 出土品 C12g	9.9 16.6 15.3 6.9	口唇部は折返しにより幅広い面を作る。内面端部指の刺突による羽状紋、下部横方向のヘラミガキ。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部に櫛描の刺突紋→直線紋→扇形紋→直線紋を施した幅広い文様帯。文様帯下部斜ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。胴部に一対の黒斑。	良好 精良 赤味橙
560 −34 壺胴部 I	第4次調査 出土品 C12g	− − 22.3 6.5	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。内面腹部にハケ。底部平底、砂粒付着。胴部に一対の黒斑。	良好 砂粒含む 黄味白
561 −34 壺胴部 II	第4次調査 出土品 C12g	− − 25.8 7.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。胴部に穿孔（発掘時の傷かも知れない）。	やや軟質 精良 にぶ橙
562 −34 −41 小型広口壺 A_2	第4次調査 出土品 C12g	8.1 11.9 10.2 5.0	口唇部はやや肥厚させ面を作りヨコナデ。内面横ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。胴部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
563 −34 −42 小型広口壺 B_3	7−2051 C12a−Ⅲ〜Ⅳ	6.8 11.2 9.8 5.0	口唇部は円頭状に作る。内面ハケ後ヨコナデ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面縦ハケ後横方向のヘラミガキか。磨滅のため調整痕はっきりしない。内面指ナデ。底部ドーナツ底。胴部の$1/3$に黒斑。土師器の可能性もある。	良好 精良 黄味白
564 −34 壺胴部 I	第4次調査 出土品 C12g	− − 13.4 5.1	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面頸部付近に指頭圧痕。底部平底、砂粒付着。	良好 精良 にぶ橙
565 −34 小型壺胴部 I	第4次調査 出土品 C12g	− − 10.5 6.0	口縁部欠損。頸部一部残存するが磨滅のため内外面とも調整不明。	頸部との境に凸帯を1条施す他は無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。下胴部から底部にかけて黒斑。	軟質 砂粒多含 にぶ橙
566 −34 小型壺胴部 I	第4次調査 出土品 C12g	− − 11.0 4.4	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明。下胴部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。下胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
567 −34 −41 長頸壺 B	7−1466 C12f−C_2	− − 15.6 6.5	口縁部欠損。頸部一部残存するが磨滅のため内外面とも調整不明。	頸部との境に凸帯を1条施す他は無紋。外面磨滅して調整痕はっきりしないが横方向のヘラミガキ。底部平底。腹部に黒斑。	良好 精良 黄味白
568 −34 −41 高坏 H_2	第4次調査 出土品 C12g	30.1 − − −	口唇部は折返しにより幅広い面を作る。口唇下端に篦状器具による刻目紋。坏部内面上部ヨコナデ。下部ヘラミガキ。外面縦方向のヘラミガキ。坏部外面に黒斑。	脚上部の一部残存。残存部に断面三角形の凸帯が3段認められる。下部欠損。	良好 砂粒含む 明るい茶灰

番号 別図版 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴部径 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
569 −34 鉢 D	第4次調査 出土品 C12g	8.8 5.6 8.3 4.7	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面縦ハケ後縦方向の雑なヘラミガキ。内面ナデ。底部平底、砂粒付着。	良好 精良 にぶい橙

B12区・B13区ＹＴ７下層

570 −34 −42 受口壺 B	7−2723 B13b −YT7−D	15.0 − 27.2 −	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面上部（受口部）横ハケ後端部に櫛描扇形紋、その後5〜7個を1組とした縦方向の棒状浮紋を3ケ所に貼付。頸部ハケ。	頸部との境に凸帯を1条、その下胴部に櫛描の直線紋と扇形紋を交互に施した文様帯。文様帯下部縦、腹部横方向のヘラミガキ。内面板状器具によるナデ。下胴部穴揖。	良好 精良 にぶい橙
571 −34 −41 広口壺 B_1	7−2145 B13b −YT7−D	10.9 17.3 16.4 6.5	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部粗いヘラミガキ。外面ヨコナデ。	頸部との境に低い凸線を1条、その下胴部に櫛描の直線紋と波状紋2条を連続して施紋。文様帯下部斜方向の雑なヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。胴部2ケ所に黒斑。	やや軟質 砂粒含む 黄味白
572 −34 広口壺 B_1	7−2731 B13b −YT7−D_1 F	9.9 17.1 15.8 5.5	口唇部は面を作り、面上に3個1組の棒状浮紋を3ケ所に貼付ける。内面横ハケ。外面縦ハケ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋（浮紋3）→扇形紋→波状紋3条→扇形紋（浮紋6）を連続して施した幅広い文様帯。文様帯下部横ハケ。底部あげ底。胴部に黒斑。	良好 精良 にぶい橙
573 −34 −41 広口壺 B_1	7−2641 B13b −YT7−D_1	9.8 15.8 15.3 5.8	口唇部は面を作る。内面端部幅の刺突紋を簾状紋風に施紋。下部横ハケ。外面縦ハケ後頸部のみヨコナデ。	頸部との境に櫛の押圧横線を1条、その下胴部に櫛描の扇形紋と直線紋を施した輪状文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。下胴部ハケ。底部ドーナツ底。黒斑2ケ所。	良好 精良 にぶい橙
574 −34 −42 広口壺 B_1	7−38 B13b −YT7−D	9.4 14.2 15.6 5.5	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明。下胴部粗いハケ。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部平底、砂粒付着。底部に黒斑。	良好 精良 明るい黄橙
575 −35 −42 広口壺 B_1	7−2629 B13d −YT7−D_1	13.2 25.4 26.2 6.7	口唇部は面を作りヨコナデ。口唇下端に簾状器具による刺目紋。内面横ハケ後ナデ。外面細かな縦ハケ後端部のみヨコナデ。	頸部との境に櫛の押圧横線を1条施す他は無紋。外面板状器具によるナデか。底部ドーナツ底。	良好 精良 うす橙
576 −35 −42 広口壺 B_2	7−2683 B13b −YT7−D_1	8.5 5.8 13.2 5.8	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面板状器具によるナデ（ハケかも知れない）。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底。	良好 精良 黄味白
577 −35 −42 広口壺 B_2	7−2759 B13b −YT7−D_1 F	8.8 13.7 11.7 5.8	口唇部は面を作り縄紋（原体不明）、内面端部0.8cm幅に縄紋（LR）、下部横方向の丁寧なヘラミガキ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に縄紋（LR）。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。胴部に黒斑。	良好 精良 にぶい橙
578 −35 広口壺 B_3	7−2618 B13b −YT7−D_1	11.9 22.7 19.6 6.7	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部縦方向のヘラミガキ、下胴部磨滅によりはっきりしないが横方向のヘラミガキか。内面上部横状器具による成形痕、下部ハケ。底部浅いドーナツ底。	やや軟質 砂粒多含 にぶい黄橙
579 −35 広口壺 B_3	7−2522 B13b −YT7−D_1	11.4 20.0 17.2 5.7	口唇部は面を作る。内面端部櫛描波状紋。下部ヨコナデ。外面縦ハケ後頸部のみヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋6条→扇形紋を連続して施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部あげ底、ヘラミガキ。上胴部に黒斑。	良好 精良 にぶい橙
580 −35 −43 広口壺 B_3	7−2687 B13b −Y−7−D	11.5 18.1 16.3 6.3	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描刺突紋、下部ヨコナデ。外面端部ヨコナデ、頸部にかけては縦ハケ。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した文様帯（左回り）で数回停止）。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。	良好 砂粒含む 赤味橙
581 −35 −43 広口壺 B_4	7−2491 B13b −YT7−D_1	11.7 24.2 19.2 7.3	口縁部の大半が欠損。一部口唇部と思える場所も残存するがはっきりしない。内外面の調整は磨滅のため不明。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のためはっきりしないが、一部にヘラミガキの跡。下胴部斜方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に小さな黒斑。	やや軟質 砂粒含む うす橙
582 −35 −43 広口壺 B_4	7−2286 B13c −YT7−D_1	9.6 14.1 14.1 5.5	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。全面ハケ後ヘラミガキ。底部平底、下胴部にヒズミ。胴部と底部に黒斑。	軟質 砂粒含粘性弱 うす橙

番号	別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
583	－35	7－2035	9.6	□唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。	肩部の一部残存。無紋。外面磨滅のため調	良好
		B12 i	－	外面縦ハケ。	整不明。内面粘土帯の合わせ目と指頭圧痕	精良
広口壺 B		‥YT7－D_1	－		が残る。胴部欠損。	赤味橙
584	－35 －43	7－2589	9.5 18.2	□唇部は面を作る、口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	肩部最上段に櫛の押圧横線を1条施す他は無紋。外面縦方向のヘラミガキ。底部半底。胴部に1ヶ所黒斑らしき場所。	軟質 砂粒多含
		B13b	17.8			赤味橙
広口壺 C_1		‥YT7－D_1	6.5			
585	－35 －43	7－2590	13.0 22.7	□唇部は面を作りヨコナデ。内面半周については櫛描波状紋が2条、残る半周は無紋。外面端部ヨコナデ、頸部にかけては縦ハケ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋2条を施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部と胴部ハケ後斜方向のヘラミガキ。下胴部横方向のヘラケズリ。底部ドーナツ底。黒斑	良好 良精 にぶ橙
		B13b	19.9			
広口壺 C_2		‥YT7－D_1	5.8			
586	－35 －43	7－2135	10.2 23.5	□唇部は面を作る。口唇から内面にかけては横方向のナデ。外面左回りの縦ハケ。口縁から2cm程下の頸部では右回りの縦ハケ。	胴部無紋。外面斜ハケ後縦方向の雑なヘラミガキ。内面上部粘土帯の合わせ目と指頭圧痕。下部ヨコナデ。底部ドーナツ底。腹部に黒斑。	良好 良精 にぶ橙
		B13b	17.7			
広口壺 C_2		YT7－D_2	7.0			
587	－35 －44	7－2120	13.1 26.4	□唇部は面を作りヨコナデ。内面は細かな横ハケ。外面は粗い斜ハケ後頸部のみヨコナデ。	胴部無紋。外面細かな縦方向のヘラミガキ。底部平底。腹部に3cm程の黒斑が一対ある。	良好 砂粒含む 黄味白
		B12 i	21.2			
広口壺 C_2		‥YT7－D_1	8.9			
588	－36 －44	7－2626	10.7 19.4	□唇部は面を作り、櫛の刺突紋を施す。内面はハケ後ヨコナデ。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部最上段に櫛の押圧横線を3条、その下上胴部には縄紋（無節R）を施す。下胴部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。下胴部に黒斑。	良好 良精 にぶ橙
		B13b	15.6			
広口壺 F_3		‥YT7－D_1	5.5			
589	－36 －44	7－2625	10.5 ‥	□唇部はやや丸味のある面を作り、櫛の刺突紋を施す。内面ハケ後ナデ。外面ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部最上段に櫛の押圧横線を3条、その下上胴部に縄紋（無節R）を施す。文様帯下部横方向のヘラミガキ。下胴部に4.8cm×3cmの焼成後の穿孔。胴部に黒斑。	良好 良精 赤味橙
		B13d	15.2			
広口壺 F_3		‥YT7－D_1	－			
590	－36 －44	7－2762	9.2 14.3	□唇部は面を作り、櫛の刺突紋を施す。内面は細かな横ハケ　外面は縦ハケ。	肩部最上段に櫛の押圧横線を2条、その下上胴部には縄紋（無節R）を施す。下胴部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良好 良精 にぶ橙
		B13b	13.4			
広口壺 F_2		‥YT7－D_1下	4.8			
591	－36 －44	7－2621	－ －	□頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→扇形紋を施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部はやや突出した平底。下胴部と底部の2ヶ所に黒斑。	良好 良精 にぶ橙
		B13b	16.0			
壺胴部Ⅰ		‥YT7－D_1	5.4			
592	－36 －45	7－2106	－ －	□頸部欠損。	肩部磨滅していて文様不鮮明だが櫛描直線紋が5～6条施されている。文様帯下部上胴部磨滅のため調整不明。下胴部ハケ後横方向のヘラミガキ。内面ハケ。底部平底。	やや軟質 精良 にぶ橙
		B12 i	22.5			
壺胴部Ⅰ		‥YT7－D_1	6.8			
593	－36 －44	7－2104	－ －	□頸部欠損。	肩部に櫛描の波状紋3条を上から順に施し、その上に肩部より垂下する櫛描紋を6ヶ所に配す。文様帯下部斜方向のヘラミガキ。底部平底、木葉痕付着。胴部と底部に黒斑。	やや軟質 砂粒多含 にぶ橙
		B13c	21.8			
壺胴部Ⅱ		‥YT7－D_1	7.5			
594	－36 －45	7－2757	－ －	□頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後斜方向の雑なヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。下腹部に黒斑。	良好 砂粒含む にぶ橙
		B13b	14.5			
壺胴部Ⅱ		‥YT7－D_1下	6.2			
595	‥36 －45	7－2123	－ －	□頸部欠損。	上胴部のほぼ全面に縄紋（RL）。縄紋帯上下端に櫛の先端ないし棒状器具による刺突紋を1条施紋。紋様帯下面へラミガキ。底部ドーナツ底。胴部に一対の黒斑。	良好 砂粒含む にぶ橙
		B12 i	21.6			
壺胴部Ⅱ		‥YT7‥D_1	6.6			
596	－36 ‥45	7－2122	－ －	□頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。上胴部に大きな(13cm×12cm)黒斑。	軟質 精良 うす橙
		B12 i	25.0			
壺胴部Ⅱ		‥YT7‥D_1	6.0			
597	－36 －45	7－2758	‥ ‥	□縁部欠損。頸部一部残存。外面縦ハケ内面横ヘラミガキ。	肩部に4cm程の幅で縄紋（無節R）を施紋。文様帯下部上胴部ハケ後横ヘラミガキ。下胴部ハケ後雑なヘラミガキ。底部やや突出した平底。腹部に黒斑。	良好 良精 にぶ橙
		B13b	10.9			
小型壺胴部Ⅱ		‥YT7－D_1下	5.6			

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 胴径 / 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部(脚台部)	焼成 / 胎土 / 色調
598 −36 / 壺胴部Ⅲ	7−2101 / B12i −YT7−D_1	− / − / 12.9 / −	口頸部欠損。	上胴部の破片。肩部に櫛描刺突紋を1段、その下に櫛の押圧横線を1条施紋。文様帯下部ハケ後ヘラミガキ。東(中遠地域)からの搬入品か。	良好 / 砂粒多含 / 暗い黄茶
599 −36 −45 / 壺胴部Ⅲ	7−2554 / B13b −YT7−D_1	− / − / 14.1 / 6.8	口頸部欠損。	胴部無紋。外面縦ハケ後ナデか。底部平底。下胴部が大きくひずむ。上胴部に黒斑。	良好 / 砂粒多含 / うす橙
600 −36 −45 / 小型広口壺B_2	7−2578 / B13b −YT7−D_1	8.1 / 13.1 / 11.6 / 5.2	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面ハケ後横方向の粗いヘラミガキ。内面ナデ、粘土帯の合わせ目が顕著に残る。底部平底、砂粒付着。	やや軟質 / 砂粒含む / にぶ橙
601 −36 −45 / 小型広口壺B_2	6−3906 / B13d −YT7−D	6.4 / 9.3 / 9.1 / 4.5	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。下胴部に黒斑。	良好 / 砂粒含む / 黄味白
602 −36 −45 / 小型広口壺B_3	7−2587 / B13b −YT7−D_1	6.5 / 9.3 / 9.2 / 3.8	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面ヨコナデ後縦方向の雑なヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部ドーナツ底。腹部に一対の黒斑。	良好 / 砂粒含む / うす黄茶
603 −36 −45 / 小型広口壺B_2	7−2157 / B12i −YT7−D_1	4.5 / 8.3 / 7.2 / 3.6	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面ヨコナデ後縦方向の雑なヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部横方向のヘラミガキ。下胴部斜方向のヘラミガキ。底部平底。口縁部から胴部にかけて黒斑。	良好 / 精良 / 赤味橙
604 −36 / 広口壺D	7−2633 / B13b −YT7−D	11.8 / − / − / −	口唇部は面を作り、櫛描波状紋を施す。内面端部櫛描波状紋と棒状器具による刺突紋。内面下部および外面磨滅のため調整不明。	肩部一部残存。残存部に櫛描直線紋。胴部欠損。	やや軟質 / 精良 / 黄味白
605 −36 / 坩	7−2609 / B13b −YT7−D_1	9.4 / 9.3 / 10.4 / 4.3	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部あげ底。	軟質 / 砂粒含む / うす橙
606 −36 / 小型壺胴部Ⅲ	7−2102 / B12i −YT7−D	− / − / 10.9 / 6.0	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底。砂粒付着。胴部に2ケ所黒斑。	良好 / 精良 / うす黄茶
607 −37 −46 / 長頸壺A	7−2639 / B13b −YT7−D	7.1 / 13.2 / 12.9 / 6.0	口唇部は面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整痕ははっきりしないがヘラミガキか。底部平底。	軟質 / 精良 / うす橙
608 −37 −46 / 長頸壺A	7−2663 / B13b −YT7−D_1	7.7 / 12.7 / 12.0 / 6.4	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。上胴部ハケ後ヨコナデ。下胴部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。下胴部に黒斑。	良好 / 砂粒含む / にぶ橙
609 −37 / 長頸壺B	7−2137 / B13b −YT7−D	8.4 / − / − / −	口唇部は面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面磨滅するが縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部の一部残存。無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面指頭圧痕。胴部欠損。	良好 / 精良 / 赤味橙
610 −37 / 長頸壺A	7−2116 / B12i −YT7−D_1	− / − / 14.9 / 5.3	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋を施紋。文様帯下部ヘラミガキ。底部ドーナツ底。口縁部内外面と胴部外面に丹塗。底部に黒斑。	良好 / 砂粒含粘性弱 / 赤味橙(丹彩)
611 −37 / 短頸壺A	7−2634 / B13b −YT7−D_1	8.2 / 15.4 / 17.4 / 7.1	口唇部は内側にむけて面取りする。内面ヨコナデ。外面縦方向の櫛の刺突紋。	肩部に櫛描の直線紋と刺突紋を交互(3段)に施した文様帯。文様帯下部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部あげ底。胴部に一対の黒斑。	良好 / 精良 / 赤味橙
612 −37 −46 / 甕E_2	7−2118 / B12i −YT7−D_1	10.3 / 17.0 / 12.3 / 6.8	口唇部は面を作るが、刻みは施さない。口縁部内外面ともヨコナデ。	胴部外面縦ハケ、腹部のみ横ハケ。内面板状器具によるナデ。脚台部外面縦ハケ。内面ナデ。表面に火を受けた痕跡はなく、未使用か。	良好 / 精良 / 赤味橙

別冊図版番号 / 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部(坏部)	胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
613 −37 ‥46 高坏 A	7‥2736 B13b ‥YT7‥D_2	17.4 — — ‥	口唇部は面を作る。坏部無紋。坏部内外面とも緩方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部欠損。図版縮尺1/2.5。	良 好 精 良 茶 色
614 −37 高坏 B_1	7−3905 B13a −YT7‥D	26.0 — — —	口唇部は円頭状に作る。口縁部内外面ヨコナデ。坏部外面上部に櫛描の波状紋と直線紋、下部緩方向の丁寧なヘラミガキ。内面緩方向のヘラミガキ、全面に煤付着。	脚上部残存。外面に間帯をおいて施した櫛描直線紋が3条認められる。内面シボリ。脚下部欠損。坏部との接合は円盤充填法。図版縮尺1/2.5。	良 好 砂粒多含 赤 味 橙
615 −37 高坏 D_2	6−1397 B13d ‥YT7‥D	23.2 21.0 — 11.5	口唇部は面を作る。坏部無紋。坏部内外面とも緩方向の丁寧なヘラミガキ。内面全面に煤付着。	脚部無紋。外面緩方向のヘラミガキ、裾部のみヨコナデ。内面ハケ。図では書きおとしたが円形透孔が3ないし4ケ所にあく。坏部との接合は円盤充填法。	良 好 精 良 う す 茶
616 −37 ‥46 高坏 E	7−2770 B13d ‥YT7‥D_2	15.8 9.3 — 9.7	口唇部は面を作る。坏部無紋。内面緩方向のヘラミガキ後端部に軽いナデ。外面ハケ後ナデ、一部ヘラミガキ。	脚部無紋。外面ハケ後ナデか。内面上部ナデ、下部ハケ。裾端面は円頭状に作る。	良 好 砂粒含む に ぶ 橙
617 −37 ‥46 高坏 H_2	7−2113 B12i −YT7−D_1	19.9 16.0 — 12.0	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面と磨滅のため調整不明。内面上部に煤付着。	脚外面上部無紋で縦方向のヘラミガキ。裾部は内側に折り曲げて直立させヨコナデ、稜部には櫛の刺突紋。内面上部シボリ、下部ナデ。	軟 質 精 良 う す 黄
618 −37 ‥46 高坏脚部 F	7−2684 B13b −YT7−D	— — — 11.7	坏部欠損。	坏部との境に幅広い櫛描直線紋を1条施す他は無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。裾部には段を作る。	良 好 精 良 に ぶ 橙
619 −37 鉢 B_1	7‥2285 B13c −YT7−D_1	10.3 8.5 10.6 4.8	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面緩方向のヘラミガキ。	頸部との境に籠状器具で沈線を1条施す他は無紋。外面緩方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部ドーナツ底、砂粒付着。	やや軟質 やや粘性弱い 黄 味 白
620 −37 ‥47 鉢 B_2	7‥2343 B13b −YT7−D_1	8.9 7.5 9.7 4.3	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面緩方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面緩方向の丁寧なヘラミガキ。内面左回りに施したハケ。底部ドーナツ底、下胴部に2ケ所黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白
621 −37 ‥47 鉢 B_1	7−2108 B12i −YT7−D_1	13.2 9.7 13.1 6.1	口唇部は円頭状に作る。外面横の刺突による羽状紋を1.5〜2段施紋。内面磨滅により調整不明。	胴部無紋。外面ハケ後緩方向の丁寧なヘラミガキ。内面下部ハケ。底部ドーナツ底。下胴部に黒斑。	良 好 精 良 う す 橙
622 −37 鉢 D	−2622 B13b −YT7‥D_1	10.2 9.0 10.2 4.0	口唇部は円頭状に作る。内面横ハケ。外面緩方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部緩方向のヘラミガキ、下胴部磨滅のため調整不明。内面板状器具によるナデ、下部ハケ。底部平底、ヘラケズリ。下胴部に小さな黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
623 −37 ‥47 鉢 D	7−2114 B13i −YT7−D_1	11.1 10.7 13.3 6.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整痕はっきりしないがハケ後ヘラミガキ。内面上部ヨコナデ、下部板状器具によるナデ。底部ドーナツ底、下胴部から底部に二次加熱の跡。	軟 質 砂粒多含 柔 色
624 −37 ‥47 台付鉢 A_1	−2551 B13b −YT7−D_1	10.4 14.5 — 12.3	口唇部は円頭状に作る。鉢部内面ヨコナデ。外面緩方向のヘラミガキ。鉢部外面に黒斑。	脚台上部に櫛描直線紋を2条と間帯部に斜描斜線列を施した幅狭い文様帯。文様帯下部緩方向のヘラミガキ。内面斜ハケ。裾端面は面を作る。	良 好 砂粒多含 う す 橙
625 −37 台付鉢 A_2	7−2670 B13b −YT7−D_1	11.6 — — —	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。口縁部内外面ヨコナデ。鉢部は内外面とも緩方向の丁寧なヘラミガキ。	脚台部欠損。	良 好 精 良 黄 味 白
626 −37 ‥47 片口 A_2	7−2769 B13d −YT7‥D_2	15.3 6.4 — 6.9	口唇部は雑ながらも面を作る。片口部は上部から押えつけるようにして作り出す。	外面端部に雑な縄紋(単位不明)を施紋、下部ハケ後粗いヘラミガキ。内面細かなヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。	良 好 砂粒含む 黄 味 白

B12区・B13区YT7中・上層

別冊図版 番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
627 －37 受口壺 A_2	7－453 B13c －YT7－C_3	8.2 16.4 14.5 5.0	口唇部は面を作る。内面横方向のヘラミガキ。外面磨滅のため調整痕はっきりしないがハケ後縦方向のヘラミガキか。	頸部との境に断面二角形の凸帯を1条施すほかは無紋。外面上胴部ハケ後縦、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 にぶい橙
628 －37 広口壺 B_2	7－2024 B12i －YT7－C	10.5 19.4 18.4 6.7	口縁部は面を作り、面上に櫛の刺突紋を施す。内面横ハケ後ナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部斜ハケ後縦方向の丁寧なヘラミガキ。下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に2ケ所黒斑。	良好 砂粒含む にぶい橙
629 －37 －47 広口壺 D_1	7－2287 B13c －YT7－C_2	9.8 14.8 13.3 5.8	全面著しく磨滅しているためはっきりしないが、口縁部は円頭状に作り、内外面はヨコナデを施しているようである。	やはり磨滅しているため胴部調整等不明。頸部との境に櫛描直線紋が1条かすかに残る。底部浅いドーナツ底。腹部に黒斑。	軟質 砂粒多含 にぶい橙
630 －37 －47 広口壺 D_1	7－519 B13b －YT7－C_3	8.1 14.3 9.0 5.9	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキと思われるが磨滅のため調整痕はっきりしない。底部平底。口頸部、上胴部、下胴部の3ケ所に黒斑。	軟質 粘性弱い うす黄
631 －38 －48 広口壺 D_3	7－540 B13c －YT7－C_2	8.1 14.1 13.1 5.5	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。口頸上に2個1組の円形浮紋を1ケ所にのみ貼付。内外面ともハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部ハケ後縦方向のヘラミガキ、下胴部ハケ後横方向のヘラミガキ。内面下部ハケ。底部平底。	良好 精良 明るい黄橙
632 －38 広口壺 E	7－561 B13c －YT7－C_3	12.5 － － －	口唇部は面を作る。口唇部から口縁部端部はヨコナデ。口縁部内外面はともに縦方向の丁寧なヘラミガキ。	肩部の一部残存。破片内全面に櫛描直線紋がつく。胴部欠損。	やや軟質 精良 にぶい橙
633 －38 広口壺 E	6－3752 B13b －YT7－C_3	14.9 － － －	口唇部は面を作り、面上に繊細な櫛刺突紋を施す。内面端部にもやはり繊細な櫛刺突紋を2段施紋、下部ナデ 外面縦ハケ。	肩部の一部残存。横描直線紋の間に櫛先端による刺突紋を施した文様がつく。胴部欠損。	やや軟質 精良 黄味白
634 －38 －48 広口壺 F_4	7－1920 C12g －YT7－C_3	12.6 20.5 19.7 7.0	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ヨコナデ。外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の波状紋2条→直線紋→波状紋2条を順に施した幅広い文様帯。文様帯下部斜ハケ。底部平底。底部に2ケ所黒斑。	良好 精良 黄味白
635 －38 －48 壺胴部 I	6－3810 B13b －YT7－C_3	－ － 18.0 8.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部縦、腹部横、下胴部縦方向のヘラミガキ、内面ナデ？ 底部平底。	良好 砂粒含む にぶい橙
636 －38 －48 壺胴部 IV	6－3811 B13b －YT7－C_3	－ － 16.8 5.5	口頸部欠損。	全面著しく磨滅しているためはっきりしないが、肩部には櫛描の直線紋→波状紋→直線紋が施されている。胴部調整不明。底部平底。	良好 砂粒含む にぶい橙
637 －38 壺胴部 IV	6－3808 B13b －YT7－C_3	－ － 17.9 5.4	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部斜ハケ。下胴部横ハケ後縦ハケ。底部ドーナツ底、底部に盤による傷が多数つく。胴部に一対の黒斑。	良好 精良 黄味白
638 －38 －48 小型広口壺 B_1	6－3718 B13b －YT7－C_2	7.4 10.8 11.2 4.9	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部右下りの斜ハケ。下胴部左下りの粗い斜ハケ。底部ドーナツ底凹部に木葉痕付着。	良好 砂粒多含 にぶい橙
639 －38 －48 小型広口壺 B_3	6－3717 B13b －YT7－C_2	7.9 12.8 12.2 5.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面下部粗いハケ。底部平底。木葉痕付着。胴部に2ケ所黒斑。	良好 精良 にぶい橙
640 －38 －48 小型壺 C	6－3842 B13d －YT7－C_2	8.2 8.5 11.0 5.6	器壁著しく剥離。口唇部一部わずかに残存、面？を作りヨコナデか。外面ヨコナデ。内面調整不明。	胴部無紋。外面著しく磨滅しており調整不明。底部ドーナツ底、粗いハケ、砂粒付着。上胴部に黒斑。	軟質 砂粒多含 うす黄
641 －38 －49 坩	7－51 B13b －YT7－C_2	9.0 9.0 8.1 4.6	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。内面横方向の丁寧なヘラミガキ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面横方向の丁寧なヘラミガキ。内面ナデか。底部平底、ヘラミガキ。	良好 砂粒多含 黄味白

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
642 −38 −49 小型壺胴部Ⅰ	7−515 B13b −YT7−C_3	− − 10.0 4.7	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後横方向の粗いヘラミガキ。腹部に明瞭な稜。底部平底、砂粒付着。上胴部に一対の黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ橙
643 −38 −49 小型壺胴部Ⅲ	6−3844 B13d −YT7−C_2	− − 13.3 4.9	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後ヘラミガキ。ただし調整痕は細かすぎてはっきりせず。底部平底。	良好 精良 黄味白
644 −38 −50 小型壺胴部Ⅲ	6−3671 B13b −YT7−C	− − 11.7 3.6	口頸部欠損。	胴部無紋。外面著しく磨滅しており調整不明。底部平底、ナデ。肩部に黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ橙
645 −38 −50 小型壺胴部Ⅲ	6−3845 B13d −YT7−C_2	− − 10.7 4.4	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後ヘラミガキと思われるが磨滅のためはっきりしない。底部あげ底。胴部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
646 −38 −50 小型壺胴部Ⅲ	6−3716 B13b −YT7−C_2	− − 11.3 4.8	口頸部欠損。	残存部最上部に櫛描紋らしき痕跡が残る。以下胴部無紋。外面は縦方向のヘラミガキと思われるが磨滅のため調整痕不明。底部ドーナツ底、木葉痕付着。下胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
647 −38 −49 短頸壺 A	7−451 B13c −YT7−C_3	10.3 14.3 14.6 4.2	口唇部は面を作る。内面指ナデ。外面斜方向の繊細な櫛刺突紋。	肩部に稚拙で雑な櫛描の直線紋→波状紋2条を施紋。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面板状器具によるナデ。底部あげ底。胴部に黒斑。	やや軟質 良好 黄味白
648 −38 −49 短頸壺 E	7−3843 B13d −YT7−C_2	17.6 16.6 20.4 6.7	口唇部は円頭状に作る。内外面とも強いヨコナデ。	胴部無紋。外面ナデ。内面横ナデ。底部平底、木葉痕付着。	良好 精良 黄味白
649 −39 −49 甕 A_1	7−454 B13c −YT7−C_3	15.9 − 18.7 −	口唇部は面を作る。口唇下端に棒状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。ただし器面の1/2は熱により剥離。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
650 −39 −49 高坏 B_2	7−100 B13d −YT7−C_2	24.4 18.6 − 14.4	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。裾端面は面を作る。円形透孔3ケ所。	良好 精良 赤味橙
651 −39 −50 高坏 C_1	7−504 B13b −YT7−C_3	− − − 11.7	口縁部欠損。坏部内外面とも磨滅して調整痕ははっきりしないが縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面横ハケ。円形透孔2ケ所。	良好 精良 にぶ橙
652 −39 鉢 A_1	7−452 B13d −YT7−C_3	11.4 10.5 14.4 5.8	口唇部は面を作る。内面横ハケ後ヨコナデ。外面太い櫛状器具による斜方向の刺突紋。	胴部無紋。外面上胴部縦ハケ後縦方向のヘラミガキ、下胴部横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部平底。下胴部に黒斑らしき場所。	良好 砂粒含む にぶ橙
653 −39 −51 鉢 B_1	6−3806 B13b −YT7−C_3	11.3 10.1 13.2 7.1	口唇部は円頭状に作る。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描直線紋を1条施紋。以下胴部無紋。外面ハケ後ナデか。内面上部ハケ、下部ナデか。底部平底。下胴部に黒斑。	軟質 砂粒多含 にぶ黄橙
654 −39 鉢 C_2	6−3809 B13b −YT7−C_3	10.7 8.7 12.7 5.4	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面ヨコナデ後縦方向のヘラミガキか。胴部との境に段。	胴部無紋。外面上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。内面上部縦方向のヘラミガキ、下部ナデ。底部平底。内面胴部に黒斑。	良好 精良 うす橙
655 −39 −50 鉢 C_2	6−3808 B13b −YT7−C_3	10.7 8.6 12.7 5.6	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面ともヨコナデ。胴部との境に段。	胴部無紋。外面上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。内面上胴部縦方向のヘラミガキ、下部ナデか。底部平底。	良好 精良 うす橙
656 −39 台付鉢 A_1	7−504 B12b −YT7−C_3	11.6 16.9 − 12.5	口唇部は円頭状に作る。口縁部内面横方向のヘラミガキ、外面ヨコナデ。鉢部外面上胴部斜、腹部横方向のヘラミガキ、下胴部不明。内面ナデ。実測図縮尺1/2.5	脚台上部に櫛描直線紋を幅広い間帯をおき2条施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面ナデか。裾端面は円頭状に作る。口縁部内面から外面全面に丹彩。西からの搬入品か。	良好 精良 赤(丹彩)

別冊図版 番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
657 －39 台付鉢 A_1	7－2277 B13d －YT7－C	11.1 13.4 － 10.4	口唇部は円頭状に作る。鉢部内外面とも横方向の雑なヘラミガキ。	脚台部無紋。外面縦方向の雑なヘラミガキ。内面横ハケ後ナデか。裾端面は面を作る。	良好 精良 にぶい橙
658 －39 台付鉢 A_2	7－47 B13b －YT7－C_2	7.7 － －－ －	口唇部は円頭状に作る。鉢部内外面とも磨滅のため調整不明。	脚台部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。円形透孔3ヶ所。脚台下部は欠損。	軟質 精良 うす橙
B12区・B13区YT7					
659 －39 －50 受口壺 A_1	6－1555 B13d －YT7	8.2 18.2 14.9 5.1	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面には櫛の押圧横線を8条程施紋。	肩部に断面二角形の凸帯を1条、その下に櫛描直線紋を連続して数条施紋。文様帯下部縦ハケ後横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。口縁部と胴部2ヶ所に黒斑。	良好 砂粒多含 うす茶
660 －40 受口壺 A_2	6－1454 B13d －YT7	6.7 － － －－	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面斜ハケ。	肩部の一部残存。無紋。外面ハケ後ヘラミガキ。胴部欠損。	良好 砂粒含 にぶい黄橙
661 －39 －50 広口壺 B_1	6－1550 B13d －YT7	13.7 23.0 22.7 7.6	口縁部は面を作る。内外面に強いヨコナデ。	肩部に雑な櫛描の直線紋→波状紋を施した狭い文様帯。上胴部ハケ後縦方向のヘラミガキ。下胴部成方向のヘラミガキ。内面粗いハケ。底部浅いドーナツ底。胴部に黒斑。	良好 砂粒含む うす橙
662 －39 －50 広口壺 C_1	6－1774 A13d －YT7	11.9 20.9 17.7 6.8	口縁部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部横ハケ後ナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描直線紋2条→櫛描波状紋4条→竹管紋を施した文様帯。文様帯は雑で種拙な感じを受ける。文様帯下部上胴部横、下胴部縦方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 にぶい黄橙
663 －39 －52 広口壺 E_2	6－1419 B13d －YT7	16.5 41.7 33.1 8.2	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	頸部との境に櫛描直線紋らしい（強いヨコナデかもしれない）文様を1条施す他は無紋。外面全面右下りの細かな斜ハケ。底部ドーナツ底。	良好 砂粒含む うす橙
664 －40 広口壺 F_1	6－1560 B13d －YT7	9.4 16.6 17.4 5.7	口縁部の約$\frac{1}{6}$が残存。口唇部は面を作り櫛状浮紋を施すが、全面貼付かどうか不明。内面はヨコナデ調整のようである。	胴部無紋。器面の剥離が著しいため外面調整不明。下胴部に一部粗いハケが残る。底部やや突出した平底。胴部に黒斑。	良好 砂粒多含 赤味橙
665 －40 －53 広口壺 F_3	6－1810 B13e －YT7	13.1 20.9 18.7 6.3	口唇部は折返しにより幅広い面を作りヨコナデ。内面端部縄紋（LR＋附加条）、下部横方向のヘラミガキ。外面ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部に7cm程の幅で縄紋（LR＋附加条）。文様帯下部上胴部斜ハケ後ナデ？下胴部横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底。胴上部に一対の黒斑。	良好 精良 黄味白
666 －40 広口壺F－a	番号不明 B13e －YT7	9.9 － － －	口唇部は折返しにより幅広い面を作り斜ハケ。内面横ハケ。	肩部の一部残存。無紋。外面斜ハケ後縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。胴部欠損。東からの搬入品。	やや軟質 砂粒多含 暗い黄茶
667 －40 －51 壷胴部 I	6－1554 B13d －YT7	－ － 18.1 5.7	口頸部欠損。	頸部との境に、櫛の押圧横線を1条、その下同部に櫛描の直線紋→波状紋→扁形紋を施し、最下段$\frac{1}{3}$周に6個のコンパス紋を施紋する。文様帯下部ヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 黄味白
668 －40 壷胴部 II	6－1549 B13d －YT7	－ － 21.0 7.0	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明。下胴部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。	やや軟質 砂粒含む うす橙
669 －40 －51 壷胴部 II	6－1545 B13d －YT7	－ － 12.5 6.0	口縁部欠損。頸部の一部残存。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整痕はっきりしないが横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。胴部に一対の黒斑。	良好 砂粒多含 にぶい橙
670 －40 －51 壷胴部 III	6－1553 B13f －YT7	－ － 11.7 4.6	口頸部欠損。	肩部に櫛の押圧横線を1条。以下胴部無紋。外面磨滅のため調整法はっきりしないが、おそらくヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良好 砂粒多含 明るい茶灰

別冊図版番号 写真図版番号 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
671 —40 壺 胴部 Ⅳ	6—1426 B13d —YT7	— — 24.1 7.0	□頸部欠損。	肩部に幅広い櫛描直線紋を3条施し、その上1ヶ所に肩部より垂下する櫛描J字紋を施紋する。文様帯下部ハケ後ヘラミガキ。内面ハケ。底部平底。	良好 精良 に ぶ 橙
672 —40 —53 壺 胴部 Ⅳ	6—1548 B13d —YT7	— — 22.3 8.0	□縁部欠損。頸部一部残存。内外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋4条→直線紋を施す。文様帯は幅狭い。文様帯下部ヘラミガキ。内面ハケ。底部平底。	やや軟質 砂粒含む 赤味橙
673 —40 —53 壺 胴部 Ⅳ	7— 52 B13b —YT7	— — 19.8 7.0	□頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→扁形紋の順に施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底。下胴部から底部にかけては黒斑。	やや軟質 精良 う す 黄
674 —40 壺 胴部 Ⅳ	6—1424 B13b —YT7	— — 24.0 6.7	□頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋→刺突紋と施し、最下段に4個1組の円形浮紋を5ヶ所に貼付する。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面横ハケ。底部平底。	良好 精良 に ぶ 橙
675 —40 —52 小型広口壺 B_1	6—1562 B13d —YT7	7.7 10.3 10.8 4.9	□唇部やや丸味をもつ面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部ハケ後横ナデ、下胴部ハケ後縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部浅いドーナツ底。底部と腹部に黒斑。	良好 砂粒多含 に ぶ 橙
676 —40 —52 小型壺 A	6—1552 B13d —YT7	4.9 10.9 8.4 5.1	□唇部は円頭状に作る。口唇から内面にかけては磨滅によりはっきりしないがヨコナデか。外側は胴部にかけて縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面全面縦方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
677 —40 —52 小型壺 B	6—E309 B13b —YT7	5.6 9.3 7.5 4.2	全体に手ずくねの跡が残る不整形な壺。□唇部は円頭状に作る。内面ハケ後ナデ。外面ハケ後縦ヘラミガキ。一部に櫛描刺突紋。口縁部に0.3cm程の孔が2対あく。	胴部無紋。磨滅しているがところどころに横方向のヘラミガキの跡が残る。底部ドーナツ底。底部付近に黒斑。	良好 精良 に ぶ 橙
678 —40 —52 小型壺胴部 I	6—1697 B13d —YT7	— 11.0 5.8	□頸部欠損。	肩部最上段より櫛描直線紋→縄紋(無節R)→櫛描直線紋→櫛描刺突紋→櫛描直線紋→櫛描扇形紋の順に施紋。文様帯下部は磨滅のため調整不明。底部平底。上胴部に黒斑。	良好 砂粒多含 う す 黄
679 —40 —52 小型壺胴部 I	6—1551 B13d —YT7	— — 12.5 5.2	□頸部欠損。	胴部無紋。外面粗いハケ後雑なヘラミガキ。底部平底。腹部に一対の黒斑。	良好 砂粒多含 明るい茶灰
680 —40 小型壺胴部 Ⅱ	6—1396 B13d —YT7	— — 10.6 5.6	□頸部欠損。	胴部無紋？ 磨滅のためはっきりしないが外面はハケ後ヘラミガキか。内面下部に指頭圧痕が顕著に残る。底部平底。	良好 精良 良白 黄味白
681 —40 —52 小型壺胴部 Ⅱ	6—1076 A13d —YT7	— — 11.1 3.8	□頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部あげ底。胴部に黒斑。	良好 砂粒含む 橙 に ぶ
682 —41 —53 短頸壺 B	6—1421 B13d —YT7	15.3 — 18.9 —	□唇部は面を作りヨコナデ。内面横方向の細かなハケ。外面横方向のハケ後斜方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面ハケ後横方向のヘラミガキ。内面胴部付近指頭圧痕、下部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部欠損。	良好 精良 う す 橙
683 —41 —54 蓋 D	6—E210 B13b —YT7	8.0 2.4 — —	断面逆台形の円板の中央に円筒状のつまみ部を作り出したもの。	上下面ナデ。側面ヨコナデ。下面に黒斑。図版縮尺1／2.5。	良好 精良 黄味白
684 —41 —54 蓋 C	7—E39 B13c —YT7	8.2 2.8 — —	円盤状を呈する。中央部に円筒状のつまみをはりつけ、縁部には、2個1組の小円孔を1対穿つ。	上下面ともヘラミガキ。図版縮尺1／2.5。	良好 精良 う す 橙
685 —41 —54 壺 A_2	7—2121 B12i —YT7	18.5 21.0 18.8 9.8	□唇部は面を作り、面上に櫛状器具にある刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	外面上胴部上から下への斜ハケ、下胴部下から上への斜ハケ、煤付着。内面横ハケ。脚台部外面縦ハケ後端部のみヨコナデ。内面粗いハケ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶

別冊図版番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
686 −41 −54	6−2088	25.1 31.0 24.5	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面斜ハケ、頸部付近は縦ハケ。	外面上胴部横ハケ、下胴部縦ハケ、煤付着。内面丁寧なナデ、下部に炭化物付着。脚台部との境には粘土帯。脚台部外面縦ハケ後ナデか。内面ナデ。	良 好 精 良 暗い黄茶
甕 B_1	B13d −YT7	10.2			
687 −41	6−1564	− − 14.1	口縁部欠損。	外面細かな斜ハケ、煤付着せず。内面上部ナデ、下部粗いハケ。脚台部外面縦ハケ後ナデか。内面横ハケ。胴部に黒斑。	良 好 砂粒含む うす橙
甕 B_1	B13d −YT7	7.1			
688 −41	6−1406	31.6 − −	口唇部は面を作る。口唇下端に施状器具による刻目紋。内面粗い横ハケ。外面粗い斜ハケ。	外面粗い斜ハケ、煤付着。内面粗い横ハケ。下胴部欠損。脚台部の付かない器形と思われる。図版縮尺1／2.5。	良 好 砂粒含む 暗い黄茶
甕 F	B13d −YT7	...			
689 −41 −53	6−1461	24.3 18.1	口唇部は内頭状に作る。口唇部から口縁部端部ヨコナデ。球部無紋。内面縦方向のヘラミガキ。外面上部斜、下部縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面上部縦、下部斜方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。脚端面は面を作る。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 赤 味 橙
高 坏 B_2	B13d −YT7	14.2			
690 −41	6−1556	24.5 − −	口唇部は円頭状に作る。球部無紋。内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。全面に煤付着。外面上下部とも縦方向のヘラミガキ。	脚部一部残存。残存部に櫛描直線紋。	良 好 精 良 暗い黄茶
高 坏 B_2	B13d −YT7	...			
691 −41 −53	6−1558	18.9 − −	口唇部は面を作る。球部無紋。内面縦方向のヘラミガキ。外面上部ヨコナデ後縦方向のヘラミガキ、下部縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。外面上部に黒斑。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。脚下部は欠損。中実。外面に黒斑。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 うす橙
高 坏 B_4	B13d −YT7	...			
692 −41 −54	6−1457	27.4 23.1	口唇部は面を作る。口唇部から口縁部端部にかけてはヨコナデ。球部内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	外面全面に縦方向の雑なヘラミガキを施した後、上部に櫛描直線紋3条を施紋。内面上部シボリ、下部横ハケ。脚端面は折返しにより面を作る。	良 好 精 良 赤 味 橙
高 坏 D_1	B13d −YT7	16.3			
693 −41 −55	番号不明	24.2 19.9	口唇部は折返しにより幅広い面を作り、櫛の刺突紋を施す。球部内面横ハケ後横方向のヘラミガキ。外面縦ハケ後上部斜、下部縦方向のヘラミガキ。	球部との境に断面三角形の凸帯を1条施紋。外面縦方向のヘラミガキ？ 内面ナデ。裾部は折返しにより幅広い面を作り、櫛の刺突紋。口唇部と脚上面に黒斑。	良 好 精 良 黄 茶
高 坏 H_2	B13d −YT7	11.0			
694 −42 −55	6−1559	11.6 10.1 12.7	口唇部は円頭状に作る。内面縦方向の丁寧なヘラミガキ。外面櫛の刺突による羽状紋(2.5段)。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ハケ後ナデ、下部横ハケ。底部平底。	良 好 精 良 うす橙
鉢 B_1	B13d −YT7	5.5			
695 −42 −55	番号不明	12.2 8.9 13.3	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ？外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整痕はっきりしないが横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ヘラミガキ。底部ドーナツ底、ヘラミガキ。下胴部に黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白
鉢 B_1	B13区 −YT7	5.8			
696 −42 −54	6−1565	17.2 12.0 18.2	口唇部は面を作る。内外面ともハケ後ナデか。	胴部無紋。外面細かなハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。内面粗い横ハケ。底部平底、砂粒付着。内面底部と外面の下胴部と底部に黒斑。	良 好 精 良 うす黄
鉢 B_2	B13d −YT7	7.3			
697 −42 −55	7−2279	9.5 7.9 10.2	口唇部は尖頭状に作る。内面横ハケ、外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→扇形紋→直線紋を施した文様帯。文様帯下部上胴部横、下胴部縦方向のヘラミガキ。内面板状器具によるナデ。底部平底。下胴部から底部に黒斑。	良 好 砂粒含む にぶ橙
鉢 C_1	B13d −YT7	4.3			
698 −42 −55	6−3792	9.9 8.0 9.1	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。口縁部に二次加熱の跡。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部あげ底、木葉痕付着。	良 好 精 良 うす黄
鉢 D	B13b −YT7	5.0			
699 −42 −56	7−2552	11.4 − −	口唇部は円頭状に作る。鉢部内外面とも磨滅のため調整不明。	脚台部の一部残存。残存部に櫛描直線紋。	軟 質 精 良 黄 味 白
台付鉢 A_4	B13b −YT7	−			
700 −42 −55	6−1561	12.8 − −	口唇部は面を作る。口縁端部ヨコナデ。鉢部内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚台部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。脚下部は欠損する。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 にぶ橙
台付鉢 A_2	B13d −YT7	−			

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
701 —42 —55 白付鉢 A_3	6—1563 B13d —YT7	11.3 — —	口縁部は円頭状に作る。鉢部外面細かな斜ハケ後端部のみヨコナデ。内面ナデ。	脚台部欠損。	良好 砂粒多含 にぶい橙
702 —42 55 片口 B_1	6—1456 B13d —YT7	17.5 7.9 6.1	口唇部はやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。	胴部無紋。内外面とも上部横、下部縦方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。	良好 精良 にぶい橙

B12区・B13区YT6下層

703 —42 片口 A_2	7— 88 B13d —YT6—D	17.2 8.4 5.8	口唇部は面を作る。	胴部無紋。外面斜ハケ後ナデか。内面磨滅して調整痕はっきりしないが横ハケ後縦方向のヘラミガキ。底部平底、木葉痕付着。	良好 精良 うす橙
704 —42 広口壺 D_3	7—2220 B13b —YT6—D	8.0 17.6 15.4 6.2	口唇部は円頭状に作る。内面ナデ。外面磨滅のため調整痕はっきりしないが縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面もやはり磨滅のため調整痕はっきりしないが横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部平底、砂粒付着。	やや軟質 精良 うす橙
705 —42 —56 広口壺 D_3	7—2219 B13c —YT6—D	8.1 14.5 14.0 6.1	口唇部は円頭状に作る。内面ナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部斜、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。	やや軟質 精良 にぶい橙

B12区・B13区YT6中・上層

706 —42 広口壺 A_2	7— 425 B13c —YT6—C_2	13.1 — 23.7 —	口唇部は下端を引き延ばすようにして幅広い面を作りヨコナデ。内外面ともヨコナデ。	肩部に結節縄紋(LR)を2段施紋。文様帯下部磨滅のため調整痕はっきりしないが横方向のヘラミガキ。内面ナデ。下胴部欠損。図版縮尺1/2.5。	軟質 精良 うす橙
707 —42 広口壺 C_2	7— 389 B13e —YT6—C_2	15.5 — 23.5 —	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面文様効果をもつ粗い斜ハケ、頸部ヨコナデ。	肩部に櫛の押圧横線を3条。その下上胴部はぼ全面に縄紋(LR)を施紋。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面粘土帯の合わせ目残存、ナデ。外面に黒斑。下胴部欠損。	やや軟質 砂粒含む 黄味白
708 —42 —56 広口壺 F_3	7— 390 B13e —YT6—C_3	13.4 27.8 23.8 7.3	口唇部は折返しにより幅広い面を作りヨコナデ。内面端部櫛の刺突による羽状紋、下部横ハケ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面斜ハケ後斜方向のヘラミガキ。内面上部板状器具によるナデ、下部横ハケ。底部平底。	良好 精良 にぶい黄橙
709 —42 —56 小型壺胴部 I	7— 91 B13b —YT6—C_2D	— — 13.1 7.0	口頸部欠損。	肩部に櫛の押圧横線を1条施す他は無紋。外面上胴部縦、腹部横、下胴部斜方向の粗いハケ調整。底部平底。底部に黒斑。	良好 砂粒多含 黄味白
710 —42 —56 長頸壺 B	7— 138 B13c —YT6—C_1	— — 12.2 4.0	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ナデ？外面縦方向の細かなヘラミガキ。	頸部との境に凸帯を1条施す他は無紋。外面上胴部縦方向の丁寧なヘラミガキ、下胴部磨滅のため調整不明。底部平底。底部付近に黒斑。	軟質 やや粘性弱い 赤味橙
711 —42 —56 壺胴部 II	7— 419 B13e —YT6—C_3	— — 12.8 5.9	口頸部欠損。	頸部との境に櫛の押圧横線を3条施す他は無紋。外面上胴部粗い縦ハケ、腹部粗い横ハケ、下胴部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。上胴部に黒斑。	良好 砂粒多含 うす橙
712 —42 —56 小型広口壺 B_2	7— 391 B13c —YT6—C_3	5.5 10.0 9.0 4.7	口唇部は円頭状に作る。内面横ハケ後横方向のヘラミガキ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面縦ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。内面粘土帯の合わせ目の痕跡が顕著に残る。内面下部底ナデ。底部平底。	やや軟質 やや粘性弱い 明るい黄橙
713 —43 坩	7— 90 B13e —YT6—C_2	9.5 8.5 9.5 4.0	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅のためはっきりしないが上胴部縦方向のヘラミガキ、下胴部ナデか。内面横ハケとナデ。底部ドーナツ底。	やや軟質 精良 うす黄

番号 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 高台径 / 底径	技法・調整等の特徴 口類部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
714 —43 —57 小型壺胴部Ⅰ	7— 416 B13e —YT6—C_3	— — 9.6 4.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後、上胴部縦、腹部から下胴部にかけては横方向のヘラミガキ。底部平底、ナデ。全面に二次加熱を受けている。	良 好 精 良 暗い黄茶
715 —43 鉢 C_1	7— 388 B13e —YT6—C_3	13.6 10.9 14.2 6.0	口唇部は内頑状に作る。内外面ともヨコナデ。胴部の境に段。	胴部無紋。外面上胴部縦、腹部から下胴部にかけては斜又は横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部細かなヘラ。底部平底、ヘラミガキ。	良 好 精 良 黄味白
716 —43 —57 台付鉢 B	7— 417 B13e —YT6—C_3	12.0 — 12.6 —	口唇部は面を作る。鉢部内面上部ヨコナデ、下部縦方向の指ナデ？ 外面縦方向の丁寧なヘラミガキ後、上部下端に櫛描直線紋を1条施紋。	脚上部残存。残存部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋を施した文様帯。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 にぶ橙

B12区・B13区YT6

717 —43 壺胴部Ⅰ	7—1626 B13c —YT6	— — 14.4 4.6	口頸部欠損。	外面磨滅のため文様ははっきりしないが胴部に櫛描の直線紋と扇形紋を交互に施紋する。文様帯下部横方向のヘラミガキ。下胴部に焼成後の穿孔。底部平底。	良 好 精 良 赤味橙
718 —43 —57 小型壺 C	6—1574 B13g —YT6	7.4 10.4 9.7 4.9	口唇部は円頭状に作る。口唇部から口縁部内面にかけてはヨコナデ。外面は縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面は磨滅のためはっきりしないが、上胴部をヘラミガキ、下胴部をナデているようである。底部やや丸味をもつ平底。底部全面に黒斑。	良 好 砂粒含む にぶ橙
719 —43 坩	番号不明 B13g —YT6	8.1 7.5 7.8 4.0	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。外面の約½に黒斑。	良 好 精 良 うすい橙
720 —43 —57 坩	6—1279 B13g —YT6	7.9 7.4 7.7 4.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のためはっきりしないが、全体をナデ仕上げしているようである。底部ドーナツ底。胴部に2ケ所黒斑。	良 好 精 良 にぶ橙

B12区・B13区YT8

721 —43 —57 小型壺胴部Ⅰ	6—1575 B13g —YT8	— — 14.2 6.0	口頸部欠損。	胴部無紋。外面著しく磨滅しており調整法不明。底部平底。胴部に黒斑。	良 好 砂粒多含 赤味橙
722 —43 —57 小型壺胴部Ⅱ	7— 354 B13h —YT8—D	— — 12.9 6.0	口頸部欠損。	胴部無紋。外面丁寧なヘラミガキを施しているようであるが、磨滅のため調整痕は残らない。底部浅いドーナツ底。下胴部に小さな黒斑。	良 好 精 良 にぶ橙
723 —43 台付鉢 D	7— 364 B13h —YT8—D	— — 10.2	口縁部欠損。鉢部内面細かな横ハケ。外面ハケ後ナデ。内面全面丹彩。	脚台部無紋。外面縦ハケ後ナデ。内面上部指頭圧痕、下部横ハケ。櫛描面は面を作りヨコナデ。	良 好 精 良 にぶ黄橙
724 —43 —57 高坏 B_3	6—1062 A14b —YT8	21.1 23.1 — 14.8	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。口縁部内面横ハケ後ヨコナデ？ 外面上部縦ハケ後ヨコナデ、下部縦ハケ。	脚上部に櫛の刺突による文様を上部より、押圧横線4条→縦の刺突紋→押圧横線3条→刺突紋の順に施紋。文様帯下部は縦方向のハケ。脚内面を除く全面丹彩。黒斑あり。	良 好 精 良 赤味橙(丹塗)
725 —43 —58 広口壺 E_3	7— 230 B13g —YT8—C_3	15.6 — 22.4 —	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面とも強いヨコナデ。図版縮尺1／2.5。	肩部に櫛描直線紋と櫛先端による刺突紋を交互に2回施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部横方向の幅広いヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。下胴部欠損。	良 好 精 良 にぶ橙
726 —43 —58 小型壺 B	7— 93 B13g —YT8—C_1	5.0 10.6 10.7 5.4	手ずくねの縁が残る不整形な口縁部。口唇部は円頭状に作る。内面横ハケ後ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面ハケ後、横方向の雑なヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。口縁部から上胴部にかけては黒斑。	良 好 砂粒含む 黄味白

別掲図版 番号 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
727 —43 坩	7— 171 B 13g —YT 8 C_2	8.5 7.4 7.1 2.8	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面ヨコナデ後縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	良 好 精 良 う す 橙
728 —43 —58 小型壺胴部Ⅲ	7— 173 B 13g —YT 8 —C_2	— — 14.1 4.0	口頸部欠損。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。	良 好 精 良 に ぶ 橙
729 —43 —58 甕 B_2	7— 228 B 13g —YT 8 —C_3	12.4 — 13.4 —	口唇部は円頭状に作り、櫛による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ後頸部から肩部にかけてヨコナデ。	胴部外面縦ハケ、煤付着。内面粗いハケ後板状器具によるナデ、下部に炭化物付着。脚台部欠損。	良 好 合 砂 粒 多 茶 暗 い 黄
730 —43 高 坏 C_1	7— 170 B 13g —YT 8 —C_2	20.1 20.9 12.3	口唇部は面を作りヨコナデ。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は面を作りヨコナデ。	良 好 精 良 に ぶ 橙
A13区YT 7					
731 —44 —58 受口壺 A_1	6—1541 A 13 f —YT 7	7.8 16.2 13.4 5.9	口唇部は面を作る。内面ナデ。外面磨滅著しく文様、調整等不明。	外面著しく磨滅しているため文様はっきりしないが、肩部に凸帯を1条、その下に櫛描の直線紋と扇形紋を交互に2ないし3回施している。下部調整不明。平底。黒斑。	良 好 砂 粒 多 含 に ぶ 橙
732 —44 —58 受口壺 A_2	6—1536 A 13 f —YT 7	8.6 14.4 13.4 5.5	口唇部は面を作る。内面縦方向のヘラミガキ。外面上部斜方向の櫛刺突紋、下部縦方向のヘラミガキ、頸部胴毛状器具によるナデ?	胴部無紋。外面上胴部縦方向の丁寧なヘラミガキ、下胴部横方向の細かなヘラミガキ。底部平底。底部に黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
733 —44 —59 広口壺 B_1	6—1697 A 13e —YT 7	12.5 18.3 18.5 6.5	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ヘラミガキ。外面ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋と扇形紋を交互に2回施紋(左回り数回伴止)、文様帯下部丁寧なヘラミガキ。底部浅いドーナツ底。下腹部に焼成後の穿孔。胴部に黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
734 —44 —59 広口壺 B_1	6—1701 A 13e —YT 7	12.1 19.9 19.0 6.8	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部ハケ後ナデ。外面縦ハケ後、口縁端部と頸部ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋3条を施す。文様帯下部は横方向のヘラミガキ。内面ケおよびナデ。底部平底、砂粒付着。	良 好 精 良 赤 味 橙
735 —44 —59 広口壺 B_2	6—1527 A 13e —YT 7	9.1 18.2 15.3 5.6	口唇部は円頭状に作る。口唇部から口縁部外面にかけてはヨコナデ。内面ハケ後ナデ。	胴部無紋。肩部に一部ハケ調整痕がみられる他は底部まですべて横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。下胴部に黒斑。	良 好 精 良 に ぶ 橙
736 —44 —59 広口壺 B_2	6—1535 A 13 f —YT 7	8.0 13.5 13.0 5.5	口唇部やや肥厚させ面を作り、ヨコナデ。内面ハケ後櫛描波状紋を施す。外面粗い斜ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描直線紋と櫛の刺突紋を施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部上胴部縦方向、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。腹部に一対の黒斑。	良 好 精 良 う す 橙
737 —44 —59 広口壺 B_2	6—1544 A 13 f —YT 7	9.2 13.4 12.2 4.7	口唇部やや幅広い面を作り、5～7個1組とした棒状浮紋を3ケ所に配す。内面ハケ後櫛描波状紋。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部から上胴部にかけて、櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→刺突紋→刺突紋を施した幅広い文様帯。下胴部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。2ケ所に黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白
738 —44 —59 広口壺 B_3	6—1703 A 13e —YT 7	11.5 20.7 17.1 6.0	口唇部は面をもつ。内面端部要を上にした櫛描扇形紋。外面縦ハケ後、口縁端部ヨコナデ、頸部縦方向のヘラミガキ。	肩部に櫛描直線紋→櫛描扇形紋(要上)を施しただけの幅狭い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。腹部に直径2cmの穿孔。底部に黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
739 —44 —60 広口壺 B_4	6—1528 A 13e —YT 7	11.2 19.4 16.8 6.5	口唇部は幅広い面を作り、櫛描波状紋を施す。内面端部櫛描波状紋、下部ナデ。外面ナデ。	胴部無紋。外面全面ナデ調整。底部平底。胴部に数ケ所黒斑。	良 好 砂 粒 多 含 に ぶ 橙
740 —44 —60 長頸壺 A	6—1813 A 13e —YT 7	9.1 14.5 14.4 5.8	口唇部は円頭状に作る。口唇部から内面にかけてはヨコナデ。外面磨滅のためはっきりしないがヘラミガキの可能性が強い。	胴部無紋。外面ハケ後横方向の細かなヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。胴部に一対の黒斑。	良 好 砂 粒 含 む 白 黄 味

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・底部	焼成 胎土 色調
741 −44 −60 広口壺 F_3	6−1809 A13e −YT7	11.7 20.6 17.1 6.5	口唇部は折返しにより幅広い面を作り、ヨコナデ。内面端部櫛描波状紋を2条、下部はナデ？ 外面斜ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の波状紋→直線紋→波状紋3条を連続して施し、その上に肩部より垂下する櫛描波状紋を4ケ所に配す。文様帯下部斜ハケ。ドーナツ底、木葉痕・籾痕付着。	良好 砂粒含む 赤味橙
742 −44 −60 広口壺 F_3	6−1534 A13f −YT7	10.9 18.6 16.1 5.8	口唇部は面を作り、4個1組の棒状浮紋を4ケ所に貼付。内面端部ヨコナデ、頸部にかけては横方向のヘラミガキ。外面ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部最上段に櫛の縦刺突紋、その下に櫛描の直線紋と扇形紋を交互に施した文様帯。文様帯下部横方向の細かなヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。胴部に2ケ所の黒斑。	良好 精良 赤味橙
743 −44 −60 広口壺 F_3	6−1808 A13e −YT7	10.2 19.3 15.9 6.0	口唇部は面を作る。内面磨滅のため調整不明。外面ハケ後縦方向のヘラミガキ。	肩部に櫛の刺突による羽状紋→櫛描直線紋→櫛描扇形紋→櫛描直線紋2条を施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 ピンク
744 −44 広口壺F−b	6−1766 A13e −YT7	26.1 — — —	超大型壺の口縁部破片。口唇部は折返しにより幅広い面を作り、横ハケ後櫛刺突による斜格子紋。内面端部櫛刺突による斜格子紋と羽状紋、下部ヨコナデ。	肩部の一部残存。断面三角形の凸帯が1条、その下に櫛の刺突による羽状紋が2条認められる。胴部欠損。	良好 砂粒多含 黄味白
745 −44 −60 小型広口壺 C_1	6−1538 A13f −YT7	7.5 11.5 11.4 4.6	口唇部はやや丸味のもつ面を作る。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。上胴部縦、下胴部横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。底部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
746 −44 小型広口壺 A_1	6−1540 A13f −YT7	7.5 12.1 13.1 5.6	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋2条、下部ナデ？ 外面縦ハケ後頸部のみヨコナデ。	肩部に低い凸帯を1条、その下に繊細な櫛描波状紋を2条施紋。文様帯下部は磨滅のため調整不明。底部平底、ヘラミガキ。	良好 精良 ピンク
747 −45 壺胴部 I	6−1723 A13e −YT7	— — 15.0 5.6	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ナデ。外面細かな縦ハケ。	肩部に櫛描直線紋と波状紋を交互に施した幅狭い文様帯。文様帯直下には3個1組の棒状浮紋が3ケ所につく。胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
748 −45 −61 壺胴部 I	6−1702 A13e −YT7	— — 17.1 5.8	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→扇形紋→波状紋→扇形紋を施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面上部篦ナデ、下部ハケ。底部平底。下腹部に焼成後の穿孔あり。	良好 精良 にぶ橙
749 −45 −61 壺胴部 I	6−1539 A13f −YT7	— — 13.8 5.2	口頸部欠損。	肩部の一部欠損か。現存部で確認するところでは櫛描の直線紋と扇形紋を交互に施した文様がつく。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面篦ナデ。底部あげ底。	良好 精良 赤味橙
750 −45 −61 壺胴部 I	6−1533 A13f −YT7	— — 13.9 6.5	口縁部欠損。頸部の一部残存。外面縦方向のヘラミガキ。内面調整不明。	胴部無紋。外面ハケ後上胴部斜、下胴部横方向の細かなヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底、砂粒付着。	良好 精良 赤味橙
751 −45 −61 壺胴部 I	6−1532 A13f −YT7	— — 14.5 6.2	口縁部欠損。頸部一部残存。内面左回りの細かなハケ。外面ハケ後ナデ。	胴部無紋。外面上胴部縦および横方向のヘラミガキ、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。底部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
752 −45 −61 壺胴部 II	6−1532 A13e −YT7	— — 21.7 6.4	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ナデ。外面ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→波状紋→扇形紋を施文。文様帯直下には4個1組の円形浮紋を3ケ所に貼付。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良好 精良 うす橙
753 −45 −61 壺胴部 III	6−1700 A13e −YT7	— — 13.0 7.3	口頸部欠損。	肩部に櫛の押圧横線を2条施す他は無紋。外面全面に右回り施した斜方向の粗いハケ。底部平底。下胴部から底部にかけて黒斑。	良好 砂粒多含 黄味白
754 −45 −62 壺胴部 IV	6−1546 A13f −YT7	— — 15.2 6.2	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→刺突紋→直線紋を施紋。最上段直線紋上には3個1組の円形浮紋を3ケ所に貼付。文様帯下部ヘラミガキ。底部平底、ナデ。	やや軟質 砂粒多含 黄味白
755 −45 −62 小型壺胴部 I	6−2450 A13d −YT7	— — 10.5 5.2	口頸部欠損。	肩部に櫛の押圧横線を3条施す他は無紋。外面上胴部縦方向、下胴部横方向の細かなヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部ドーナツ底。上胴部に帯状の黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ黄橙

番号 別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口類部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
器種・形態					
756 −45 −62	6−1531	— — 12.1	口縁部欠損。	胴部無紋。外面全面著しく磨滅しており調整不明。内面下部指頭圧痕が残る。底部ドーナツ底。腹部に黒斑。底部から下胴部にかけて二次加熱を受けている。	良 好 砂粒多含 に ぶ 橙
小型壺胴部Ⅲ	A13e −YT7	4.4			
757 −45 −62	6−1542	7.5 17.1 15.4	口唇部は外側に向けて面取りする。内面上部ヨコナデ、下部ナデ。外面上部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキか。	胴部無紋。外面磨滅のためはっきりしないがヘラミガキか。底部浅いドーナツ底。腹部に黒斑。	良 質 や や 軟 粘 性 弱 い 赤 味 橙
長頸壺B	A13f −YT7	5.2			
758 −45 −62	6−1220	— — 16.0	口縁部欠損。頸部一部残存。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面細かな斜ハケ後縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部平底。	良 好 良 精 う す 黄
長頸壺A	A13e −YT7	4.6			
759 −45 −62	6−1150	21.6 21.7 23.7	口唇部は面を作る。内面粗い横ハケ。外面斜ハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面粗い斜ハケ。内面粗い横ハケ。底部ドーナツ底、木葉痕が残る。	良 好 砂 粒 含 う す む
短頸壺C	A13f −YT7−C	8.4			
760 −45 −63	6−1775	18.6 — 19.8	口唇部は面を作る。口唇下端に施状器具による刻目紋。内面細かな横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面細かな斜ハケ、腹部のみ横ハケ、煤付着。内面上部板状器具によるナデ、下部細かな横ハケ。脚台部欠損。	良 好 砂 粒 含 む 暗 い 黄 茶
甕 A_1	A13e −YT7	—			
761 −45 −63	6−1777	15.3 — 17.4	口唇部は面を作る。口唇下端に篦または棒状器具による刻目紋。内面細かな横ハケ。外面細かな縦ハケ。	胴部外面細かな斜ハケ、腹部のみ横ハケ、煤付着。内面上部横ハケ後板状器具によるナデ、下部細かな横ハケ。脚台部欠損。	良 好 砂 粒 含 む 暗 い 黄 茶
甕 A_1	A13e −YT7	—			
762 −45 −63	6−1724	15.8 — 15.2	口唇部はやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。刻みは施さない。内外面ともヨコナデ。	胴部外面斜ハケ後板状器具によるナデ、煤付着。内面ナデ。脚台部欠損。	良 好 砂 粒 含 む 暗 い 黄 茶
甕 B_5	A13e −YT7	—			
763 −45	6−1762	13.8 11.5 15.4	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面ナデ。底部平底。下胴部に黒斑。	良 好 精 良 う す 黄
鉢 C_1	A13d −YT7	5.8			
764 −45 −63	6−1812	9.1 8.1 10.6	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向の雑なヘラミガキ。内面ナデ。底部平底。内面下部に黒斑。	良 好 砂 粒 含 む う す 黄
鉢 C_2	A13e −YT7	3.6			
765 −45 −63	6−1598	12.9 8.3	口唇部は面を作る。内面横ハケ。外面縦方向のヘラミガキ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面全面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面斜方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。	良 好 砂 粒 多 含 に ぶ 橙
鉢 E_1	A13f −YT7	3.8			
766 −45	6−1773	22.0 -- —	口唇部は面を作る。片口部は口唇部内側を軽く押えて作り出す。鉢内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。外面上部斜ハケ、下部縦方向のヘラミガキ。内外面に煤付着。	坏部と脚台部との境に凸帯を1条貼付。以下脚台部欠損。	良 好 砂 粒 多 含 暗 い 黄 茶
台付片口A	A13e −YT7				
767 −46	6−1705	23.2 16.8 —	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整痕ははっきりしないが縦方向のヘラミガキ。坏部内面に黒斑。	脚部縦方向の丁寧なヘラミガキ後上部に櫛描直線紋を4条施紋。内面上部シボリ、下部横ハケ、裾部ヨコナデ。裾端面は折返しにより幅広い面を作る。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 う す 橙
高坏 B_2	A13d −YT7	12.8			
768 −46 −63	6−1820	22.0 17.9 —	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は面を作る。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 に ぶ 橙
高坏 B_4	A13d −YT7	13.7			
769 −46	6−1547	14.7 10.0 —	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部無紋。内面磨滅のためはっきりしないがナデか。外面縦方向のヘラミガキ。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき2条施紋、下部斜ハケ後雑なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。裾端面は円頭状に作る。	良 好 精 良 に ぶ 橙
高坏 B_7	A13f −YT7	9.0			
770 −46	6−1098	23.9 19.0 —	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面ナデ。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 に ぶ 橙
高坏 C_3	A13d −YT7	10.8			

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 胴径 / 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 / 胎土 / 色調
A13区ＹＴ６					
771 −46 −64 広口壺 B_1	6−430 A13h −ＹＴ６	11.7 16.1 18.0 6.5	口唇部は面を作る。口唇部から内面端部にかけてはヨコナデ。内面下部横ハケ。外面細かな縦ハケ後頸部のみヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部斜方向、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。下腹部に焼成後の穿孔（3.5cm×2.5cm）がある。底部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
772 −46 −64 広口壺 B_1	6−1571 A13i −ＹＴ６	16.1 25.1 25.6 7.2	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後ナデ。頸部外面は縦ハケ後板状器具によるナデ。	胴部無紋。外面上胴部斜、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。下胴部に焼成後の穿孔（直径2.5cm）がある。	良好 精良 赤味橙
773 −46 −64 広口壺 C_2	6−431 A13h −ＹＴ６	20.7 22.2 18.9 7.0	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後端部のみヨコナデ。	胴部無紋。外面斜方向のヘラミガキ。下胴部斜ないし横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。下胴部から底部にかけて黒斑。	良好 砂粒含む うす橙
774 −46 広口壺Ｆ−b	6−427 A13g −ＹＴ６	15.5 − − −	口唇部は面を作り縄紋（LR）を施す。内面端部水平近くまで折り曲げ、そこに縄紋（LR）と棒状器具による刺突紋を施す。外面ハケ後ヨコナデ。	頸部との境に櫛の押圧痕線を1条、その下肩部には（LR）を施す。胴部欠損。	良好 精良 にぶ橙
775 −46 −64 壺胴部Ⅰ	6−1570 A13i −ＹＴ６	− − − 16.5 6.8	口縁部欠損。頸部一部残存。内面ナデ。外面強いヨコナデ。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 うす橙
776 −46 −64 壺胴部Ⅳ	6−1569 A13i −ＹＴ６	− − − 12.9 5.0	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面ハケ。外面ヨコナデ。	肩部に櫛の斜突による羽状紋を2段施す他は無紋。文様帯下部は底部まで横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。胴上部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
777 −46 −64 壺胴部Ⅳ	6−1568 A13i −ＹＴ６	− − − 18.5 7.3	口縁部欠損。頸部の一部残存。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。内面粘土帯の合わせ目とハケメが残る。底部平底。底部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
778 −46 −65 壺胴部Ⅳ	6−1567 A13h −ＹＴ６	− − − 21.4 −	口縁部欠損。頸部の一部残存。内外面ともヨコナデか。	頸部との境に櫛の押圧横線を2条、その下肩部（3cm程下）には4個1組の円形浮紋を3ヶ所に貼付。上胴部斜、腹部横方向のヘラミガキ。下胴部欠損。腹部に黒斑。	良好 精良 うす橙
779 −46 −65 壺胴部	6−1566 A13h −ＹＴ６	− − − 20.7 7.2	口頸部欠損。	下胴部の破片。外面細かなハケ後横方向のヘラミガキ。内面ハケ後ナデ。底部平底。底部に黒斑。下腹部に3cm×3cm程の焼成後の穿孔。	良好 精良 赤味橙
780 −46 −65 坩	6−1233 A13g −ＹＴ６	9.0 7.4 8.4 4.2	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。胴部に穿孔あるが発掘時のものか。底部ドーナツ底。	良好 精良 黄味白
781 −46 −65 小型壺胴部Ⅱ	6−433 A13i −ＹＴ６	− − 9.4 4.4	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面ナデ。底部平底。	良好 砂粒含む にぶ橙
782 −46 −65 小型壺胴部Ⅱ	6−1572 A13i −ＹＴ６	− − 10.8 6.4	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後横方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底。底部に黒斑。	良好 精良 うす橙
783 −46 −65 鉢 D	6−1573 B13d −ＹＴ６	10.2 6.1 9.6 5.5	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。内外面ともハケ後ナデか。底部平底。	良好 砂粒含む うす橙
784 −47 −65 甕 D_1	79 A13g −ＹＴ６	18.1 27.8 19.5 9.3	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による大きな刻目紋。内面粗い横ハケ。外面斜ハケ後ナデか。	胴部外面粗い斜ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ、下部に炭化物付着。脚台部外面粗い縦ハケ。内面ナデ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
785 −47 −65 / 高坏 B_3	6−1884 A13g −YT6	23.4 21.3 15.7	口唇部はやや丸味をもつ面を作りヨコナデ。坏部無紋。内面上部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキ。外面上部ヨコナデ、下部斜ハケ。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき3条施紋、下部横方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は面を作る。円形透孔3ケ所。	良好 精良 赤味橙
786 −47 −66 / 台付鉢 A_1	7−392 B13e −YT6	8.7 11.5 8.4	口唇部は円頭状に作る。鉢部内外面とも磨滅のため調整不明。	坏部と脚台部の境に低い粘土帯を1条施す他は無紋。脚台部外面縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。裾端面は円頭状に作る。	軟質 精良 にぶ橙
B13区・A13区環濠外（包含層）下層					
787 −47 / 受口壷 B	6−2292 A13d−D	21.9 — —	口唇部は面を作る。内面上部ヨコナデ、下部横ハケ。外面は上部に櫛の押圧横線を4条施紋、下部細かな斜ハケ。	胴部欠損。	良好 砂粒含む 赤味橙
788 −47 −66 / 広口壷 B_2	6−2042 A13f−D	8.6 14.0 12.5 5.6	口唇部は面を作る。内面端部櫛描波状紋、下部横ハケ、外面ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋→波状紋→櫛先端による刺突紋を施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。腹部に一対の黒斑。	良好 精良 黄味白
789 −47 −66 / 広口壷 B_2	6−539 A13d−D	9.9 12.5 11.9 5.0	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅著しく調整不明。底部平底、砂粒付着。下胴部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
790 −47 −66 / 広口壷 B_2	6−151 A13e−D	7.0 13.0 12.6 6.2	口唇部は円頭状に作る。内外面は磨滅しているがヨコナデ調整のようである。	胴部無紋。外面上胴部に一部縦方向の丁寧なヘラミガキの跡がみられるが、大半は磨滅のため調整不明。底部平底。底部に黒斑。	軟質 砂粒多含 にぶ橙
791 −47 −66 / 広口壷 B_3	6−156 A13e−D	9.7 19.1 15.5 6.0	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。頸部外面はハケ後縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部縦、腹部から下胴部にかけては横方向のヘラミガキ。底部付近に一部ハケメ残存。底部平底。胴部に一対の黒斑。	良好 精良 にぶ橙
792 −47 / 広口壷 E	6−2424 B13d−D	15.1 — —	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ、外面ハケ後縦方向のヘラミガキ。	胴部欠損。	良好 精良 うす橙
793 −47 −66 / 壷胴部 I	6−654 A13g−D	— — 21.3 6.8	口頸部欠損。	肩部に稚拙な感じのする櫛描の波状紋→直線紋→波状紋を施紋。文様帯下部は磨滅するがハケ後ヘラミガキか。底部ドーナツ底。胴部2ケ所に黒斑。	良好 精良 黄味白
794 −47 −67 / 壷胴部 II	6−2134 A13f−D	— — 14.0 5.8	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面横ハケ。外面縦ハケ。	肩部に櫛描の刺突紋→直線紋→波状紋→直線紋→刺突紋→直線紋を施紋（左回り数回停止）。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。上胴部に黒斑。	良好 精良 黄味白
795 −47 −67 / 壷胴部 II	6−930 A13f−D	— — 12.6 6.6	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 砂粒多含 赤味橙
796 −47 −67 / 壷胴部 IV	6−154 A13e−D	— — 14.2 5.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向の粗いヘラミガキ。内面板状器具によるナデ。底部平底、ヘラミガキ。下胴部に黒斑。	良好 精良 黄味白
797 −47 −67 / 長頸壷 B	6−2279 B13d−D	— — 14.4 5.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。上胴部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
798 −47 −67 / 長頸壷 B	6−2136 B13d−D	— — 14.4 5.2	口頸部欠損。	頸部との境に低い凸帯を1条施す他は無紋。外面磨滅のためはっきりしないがハケ後ヘラミガキか。底部平底、中央に凹み。下腹部に黒斑。	良好 砂粒多含 うす黄茶

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
799 −47 −67 小型壺 B	6−2326 A13f −D	6.1 9.6 10.0 4.9	口唇部は面をもつ。内外面ともハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部右下り、下胴部左下りの細かなハケ。内面下部ハケ。底部ドーナツ底。下胴部から底部にかけて黒斑。	良好 精良 黄味白
800 −47 −67 小型壺胴部 I	6−2252 B13d−D	— — 10.3 4.8	口縁部欠損。頸部一部残存するが磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。下腹部と底部の2ケ所に黒斑。	軟質 砂粒多含 黄味白
801 −47 −67 鉢 B_1	6− 536 A13d−D	11.0 9.8 11.8 5.5	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内面上部ナデ? 後縦方向のヘラミガキ、下部ハケ。外面ナデ後縦方向の細かなヘラミガキ。	頸部との境に篦の押引らしい沈線を1条施紋。胴部外面は縦方向の細かなヘラミガキ。内面ハケ後ヘラケズリ。底部あげ底。底部に黒斑。	良好 精良 黄味白
802 −47 −67 鉢 D	6− 929 A12g−D	9.0 7.3 9.0 4.4	口唇部は円頭状に作る。	胴部無紋。外面粗い縦ハケ。内面ナデ?後丹塗。底部平底。胴部から底部にかけて黒斑。	良好 砂粒含む 黄味白
803 −47 −67 鉢 B_1	6 2293 B13d−D	9.7 7.6 10.9 5.2	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。底部に黒斑。	良好 やや粘性弱い 黄味白
804 −47 −67 鉢 E_2	6−2640 A13f−D	8.6 5.6 4.6	口唇部は円頭状に作る。	胴部無紋。内外面ともハケ後ナデか。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
805 −48 −68 高坏 C_3	6− 538 A13d−D	19.9 15.6 10.5	口唇部は円頭状に作る。坏部無紋。内面縦方向のヘラミガキ。外面磨滅のため調整不明。	脚部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部シボリ、下部横ハケ。円形透孔3ケ所。坏部との接合は円盤充填法。	やや軟質 精良 にぶ橙
806 −48 高坏 C_4	6− 140 A13d−D	20.3 18.3 9.2	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部無紋。内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。外面粗い斜ハケ後横方向の雑なヘラミガキ。坏部内面に黒斑。	脚部無紋。外面粗い縦ハケ後雑なヘラミガキ。内面粗いハケ。	良好 精良 うす黄
807 −48 −68 高坏 G_3	6−2739 A13f−D	29.6 25.5 14.7	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面に黒斑。	脚上部に櫛描直線紋を間帯をおき5条施紋。裾部別作りの台部貼付けにより段。裾上部縦方向のヘラミガキ、下部ヨコナデ。裾上部に長方形透孔4ケ所。	良好 精良 にぶ橙
808 −48 高坏 B_3	6− 283 A13e−D	— — 14.7	坏上部欠損。下部の一部残存。内面ナデ、外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。	坏部との境に幅1cm程の粘土帯を施す他は脚部無紋。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。裾端面を円頭状に作る。	良好 精良 にぶ橙
809 −48 高坏脚部 E	6− 932 A12g−D	— — 13.4	坏部欠損。	脚部無紋。外面上部縦方向のヘラミガキ。裾部別作りの台部貼付けにより鍔状突起と段。脚中程に凸レンズ状の透孔3ケ所、裾部に長方形の切込み3ケ所。内面はナデ。	良好 精良 赤味橙
810 −48 高坏脚部 F	6− 244 A13d−D	— — 10.4	坏部欠損。	脚下部の小破片。裾部に折り曲げによる段を作る。段上部粗い斜ハケ、下部粗い横ハケ。内面ナデ。	良好 精良 うす橙

B13区・A13区環濠外(包含層)中層

811 −48 受口壺 B	6−1356 B13d−C_2D	16.8 — — —	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面斜ハケ後口縁端部に櫛の刺突による鋸歯紋。	胴部欠損。	良好 精良 うす黄
812 −48 −68 広口壺 A	6− 553 A13e−C_2D	14.9 — — —	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部磨滅のため調整不明。外面磨滅のため調整不明。	頸部との境に凸帯を1条、その下肩部に、櫛描の波状紋2条→直線紋→波状紋→直線紋を順に施紋(左回り数回停止)。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。下胴部欠損。	やや軟質 砂粒含む にぶ橙

番号 別冊図版 写真図版	登録番号 出土位置	法量cm 口径 胴最大径 底径	技法・調整等の特徴 口縁部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
器種・形態					
813 −48 −68	6− 931	11.8 22.1 20.2 5.9	口唇部は面を作る。口唇部から内面にかけてはヨコナデ。外面縦ハケ後頸部のみヨコナデ。	頸部との境に櫛の押圧横線を2条施す他は無紋。外面縦ハケ後、横方向の雑なヘラミガキ。底部あげ底。腹部に黒斑。	やや軟質 やや粘性弱い 赤味橙
A13f −C_2D					
広口壺 C_1					
814 −48	6−2276	10.8 — —	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	肩部の一部残存。無紋。外面磨滅のため調整不明。内面ナデ。胴部欠損。	良好 精良 明るい黄橙
B13d −C_2D					
広口壺 D					
815 −48	6−1313	14.3 — —	口唇部は円頭状に作る。内外面とも強いヨコナデ。	肩部の一部残存。無紋。外面細かな縦ハケ。内面ナデ。胴部欠損。	良好 精良 うす橙
B13d −C_2D					
広口壺 E					
816 −48 −68	6− 118	— — 17.9 6.0	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面横ハケ。外面縦ハケ。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→扇形紋を施した（左回り）だけの幅の狭い文様帯。文様帯下部と胴部は縦、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
A13f −C_2D					
壺胴部 I					
817 −48 −68	6− 494	— — 21.9 7.0	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面ナデ。外面縦ハケ。	胴部無紋。外面斜ハケ後、横方向の雑なヘラミガキ。内面ハケ。底部ドーナツ底。	良好 精良白 黄味
A13d −C_2D					
壺胴部 II					
818 −48 −69	6− 315	— — 18.3 6.3	口縁部欠損。頸部の一部残存。内外面ともヨコナデか。	肩部に櫛描の直線紋→擬状紋→直線紋を順に施紋。最下段直線紋上には2コ1組の円形浮紋を3ケ所に貼付。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。黒斑。	良好 精良 うす橙
A13e −C_2D					
壺胴部 IV					
819 −49 −69	6−1311	… — 27.4 8.0	口頸部欠損。	肩部に櫛描の直線紋→波状紋→刺突紋（先端による）を2回連続して施紋。文様帯下部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、木葉痕付着。上胴部に黒斑。	良好 精良 うす橙
B13d −C_2D					
壺胴部 IV					
820 −49 −69	6−1345	— — 28.7 —	口頸部欠損。	胴上部の大型破片。肩部に櫛描の直線紋→櫛刺突による鋸歯紋→波状紋→刺突による羽状紋→直線紋→刺突紋を施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。内面横ハケ。	良好 精良白 黄味
B13d −C_2D					
壺胴部 IV					
821 −49 −69	6− 231	6.5 6.7 5.7 3.6	口肩部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。	良好 砂粒含む白 黄味
A13e −C_2D					
小型広口壺 C_3					
822 −49	6− 882	— — 8.7 3.6	口頸部欠損。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部あげ底風平底。	良好 精良 にぶい橙
A13d −C_2D					
小型壺胴部 II					
823 −49 −69	6−1330	— — 7.0 3.0	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。下腹部に黒斑。	良好 砂粒含む にぶい橙
B13d −C_2D					
小型壺胴部 I					
824 −49 −69	6− 602	6.9 10.4 9.8 4.4	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面粗いハケ後、横方向の雑なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部浅いドーナツ底。	良好 精良 うす黄
A13e −C_2D					
小型壺 C					
825 −49 −70	6− 496	… — 12.1 5.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 砂粒多含 黄茶
A13d −C_2D					
壺胴部 I					
826 −49 −70	6− 880	— — 10.8 4.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面の一部にヘラミガキが残るが、大半は磨滅のため調整不明。底部平底。	良好 精良 にぶい橙
A13f −C_2D					
小型壺 II					
827 −49 −70	6−1328	7.7 15.3 14.2 5.6	口唇部は面を作る。内面横ハケ後ヨコナデ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	頸部との境に低い凸帯を1条施す他無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。腹部に一部横方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 にぶい橙
B13a −C_2D					
長頸壺 A					

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 胴底径	技法・調整等の特徴 口縁部	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚部)	焼成 / 胎土 / 色調
828 —49 —70 無頸壺 A	6— 497 B13d C$_2$D	5.3 6.7 9.1 4.4	口唇部は円頭状に作る。口唇部から胴部にかかけて黒斑。	胴上部に幅3.6cm、高さ1.0cmほどの把手を1対設け、そこに2個1組の小円孔(紐懸け用か)を穿つ。胴部外面磨滅のため調整不明。内面ナデ。底部ドーナツ底、木葉痕。	良好 精良 にぶい橙
829 —49 —70 蓋 B	6—E176 A13e C$_2$D	13.0 2.0 — —	円板状を呈する。中央部はやや内彎し、縁部には2個1組の小円孔(直径0.8cm)を1対穿つ。	上下面とも丁寧なヘラミガキ。上下面の同じ位置に黒斑。実測図の縮尺1/2.5。	良好 精良 赤橙
830 —49 —70 片口 A$_2$	6—1331 B13d—C$_2$D	14.6 6.4 — 7.0	口唇部は尖頭状に作る。	胴部無紋。内外面とも横方向の丁寧なヘラミガキ。底部平底、ヘラミガキ。	良好 精良 黄白
831 —49 —70 片口 B$_1$	6—1319 B13d—C$_2$D	13.7 7.1 — 3.5	口唇部は面を作る。内面磨滅のためはっきりしないがヨコナデか。外面横方向のヘラミガキ。片口部は大半が欠損。	胴部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。	良好 精良 にぶい橙
832 —49 高坏 B$_2$	6— 166 A13e—C$_2$D	24.0 — — —	口唇部は円頭状に作る。坏上部に櫛描波状紋と直線紋を施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。	脚部欠損。	良好 精良 にぶい橙
833 —49 高坏 G$_3$	6 2320 A13f—C$_2$D	29.2 19.3 — 16.9	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚上部は円筒状に作り、櫛の押圧横線を12条施紋。裾部は別作りの台部貼付けにより段をもつ。裾上部に円形透孔、下部に長方形の切り込みが各々4ケ所につく。	良好 精良 にぶい橙
834 —49 —70 鉢 B$_1$	6— 1317 B13d—C$_2$D	13.2 13.9 15.2 5.7	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面上部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部平底、底部に黒斑。	良好 砂粒含むやや粗 にぶい橙
835 —49 —71 鉢 B$_2$	6—1307 B13d—C$_2$D	8.4 7.0 8.4 4.6	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面ヘラ後縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ヘラ。底部平底。下胴部に黒斑。	良好 精良 黄白
836 —49 —71 鉢 F	6—1772 A13e—C$_2$D	16.8 7.1 — 5.4	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。口縁部の約⅓が欠損するので、そこに片口部が付いていた可能性もある。口唇部に黒斑。	胴部無紋。外面ヘケ後ナデ？ 内面横方向のヘラミガキか。底部平底。	良好 精良 ピンク
837 —49 —71 鉢 E$_3$	6—1329 B13d—C$_2$D	8.2 4.6 — 3.7	口唇部は円頭状に作る。口縁部ヨコナデ。	胴部無紋。外面縦ハケ後横方向の雑なヘラミガキ。内面ナデ。底部あげ底、木葉痕付着。外面胴部に黒斑。	良好 精良 うす黄

B13区・A13区環濠外（包含層）上層

838 —50 —71 広口壺 D$_2$	6— 268 A13d—C$_2$	9.9 16.5 14.2 5.6	口唇部は面を作り、面上に櫛による刺突紋を施す。内外面ともヨコナデ。	磨滅のため不鮮明であるが、胴部に櫛描の波長の異なる波状紋を2条、その下に櫛描刺突紋を施す。文様帯下部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部は突出した平底。	良好 精良 黄白
839 —50 —71 広口壺 D$_3$	6— 267 A13d—C$_2$	12.0 20.7 18.3 6.2	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面著しく磨滅しており調整不明。底部ドーナツ底、砂粒付着。胴部に黒斑。	軟質 砂粒含む粘性弱 赤橙
840 —50 —71 広口壺 E$_2$	6—1306 B13d—C$_2$	16.8 30.3 29.1 7.8	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面とも強いヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→斜格子紋(櫛の刺突)→直線紋→刺突紋→直線紋→刺突紋(櫛先端による)を施した文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、木葉痕。	やや軟質 精良 黄白
841 —50 —72 広口壺 F$_3$	6— 386 A13f—C$_2$	9.9 15.9 14.2 4.8	口唇部は面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。頸部外面にわずかにヨコナデの跡が残る。	頸部との境に櫛の押圧横線を2条、その下ほぼ上胴部全面に縄紋(RL)を施す。下胴部磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	良好 精良 黄白

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部	焼成 胎土 色調
842 −50 −72 / 壷胴部Ⅱ	6— 269 A13d C_2	— — 12.6 5.8	口頸部欠損。	胴部無紋。肩部ヨコナデ、以下胴部全面横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。腹部と底部に黒斑。	良好 砂粒含む うす黄
843 −50 −72 / 壷胴部Ⅲ	6— 392 A13f $-C_2$	— — 19.8 7.5	口頸部欠損。	肩部最上段に櫛刺突による羽状紋を1段、その下ほぼ上胴部全面に縄紋(RL)を施す。下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底、中央やや凹む。上胴部に黒斑。	軟質 砂粒含む にぶ黄橙
844 −50 −72 / 壷胴部Ⅳ	6 316 A13e −C	— — 16.3 6.5	口頸部欠損。	肩部に櫛描波状紋を3条施した(左回り)だけの幅狭い文様帯。文様帯下部ハケ後横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底、砂粒付着。胴上部の2ケ所に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
845 −50 / 小型広口壷C_3	3— 878 A13c	9.6 10.0 9.2 4.6	口頸部著しく磨滅しており、成形・調整等不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。	良好 砂粒多含 にぶ橙
846 −50 −72 / 小型壷C	6— 357 A13e $-C_2$	7.3 11.7 11.7 5.1	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面斜ハケ後、横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	やや軟質 砂粒含む 黄味白
847 −50 −72 / 小型壷C	6— 493 A13d $-C_2$	5.8 9.4 7.9 4.0	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。内面横ハケ後縦方向のヘラミガキ。外面斜ハケ後縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面ハケ後縦方向のヘラミガキ。内面指ナデ。底部ドーナツ底。下胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
848 −50 −72 / 小型壷C	6— 387 A13f $-C_2$	8.3 7.3 7.9 3.8	円唇部は円頭状に作る。口唇部から内面にかけては磨滅のため調整不明。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面下部ハケ。底部ドーナツ底。腹部に黒斑。	良好 精良 黄味白
849 −50 −73 / 坩	6— 354 A13e $-C_2$	11.0 9.8 10.8 5.4	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底、木葉痕付着。	良好 精良 にぶ橙
850 −50 / 坩	6— 715 A13f $-C_2$	12.1 10.0 10.8 5.0	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底。	軟質 粘性弱い うす橙
851 −50 −73 / 坩	6— 150 A13e $-C_2$	8.9 10.0 9.3 4.6	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ? 外面縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面斜ハケ後縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部指頭圧痕。底部ドーナツ底、木葉痕付着。	良好 砂粒多含 黄味白
852 −50 −73 / 坩	6— 317 A13e $-C_2$	6.7 8.7 8.2 5.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともハケ後ヨコナデか。	胴部無紋。外面縦方向のハケ。内面ナデ? 底部平底、わずかに凹む。	良好 粘性弱い ピンク
853 −50 −73 / 小型壷胴部Ⅰ	6— 402 A13f $-C_2$	— — 13.9 6.8	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底、わずかに凹む。	軟質 砂粒多含 にぶ橙
854 −50 −73 / 小型壷胴部Ⅰ	6 353 A13e $-C_2$	— — 14.5 6.2	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部磨滅のため調整不明、下胴部縦と斜方向のヘラミガキ。内面下部ハケ。底部平底。下腹部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
855 −50 / 小型壷胴部Ⅲ	3— 880 A13c	— — 9.5 4.8	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底、木葉痕付着。	軟質 精良 黄味白
856 −50 −73 / 小型壷胴部Ⅲ	6— 152 A13e $-C_2$	— — 10.1 4.5	口頸部欠損。	胴部無紋。外面肩部縦方向のヘラミガキ、胴部から底部にかけては横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ハケ。底部平底。	良好 精良 にぶ橙

番号 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 底径	技法・調整等の特徴 口縁部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 / 胎土 / 色調
857 −50 −73 小型壺胴部Ⅱ	6 115 A13e−C$_2$	— — 10.6 5.2	口縁部欠損。	肩部に櫛の押圧痕線らしい痕跡が2条。以下胴部外面縦方向の細かなヘラミガキ。内面指ナデ。底部ドーナツ底、木葉痕付着。胴部の殆に黒斑。	良 好 精 良 う す 黄
858 −50 長頸壺A	番号不明 A13f−C$_2$	8.5 15.2 12.7 4.0	口唇部は内側にむけて面取りする。内面磨滅のため調整不明。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底。	良 好 精 良 黄 味 白
859 −50 −74 長頸壺B	7− 544 B12h−C$_3$	7.0 18.5 12.9 3.0	口唇部は面を作る。口唇部から内面にかけてはヨコナデ。外面端部ヨコナデ、以下頸部にかけては縦方向のヘラミガキ。	頸部との境に凸帯を1条施す他は無紋。外面上胴部斜、腹部から下胴部にかけては横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。胴部に2ケ所黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
860 −50 −73 長頸壺A	6− 267 A13d−C$_2$	— — 13.8 3.4	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面斜、外面縦方向の細かなヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部あげ底。下腹部に一対の黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白
861 −50 −73 長頸壺A	6− 203 A13e−C$_2$	— — 11.7 5.4	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面横ハケ(左回り)。外面縦方向の細かなヘラミガキ。	胴部無紋。肩部に一部ヘラミガキの跡がみられるが、大半は磨滅のため調整不明。底部平底。	良 好 精 良 に ぶ 橙
862 −51 −74 甕B$_5$	6− 236 A13d−C$_2$	16.9 21.7 17.5 9.7	口唇部は面を作る。刻目紋は施さない。内面ヨコナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部外面斜方向の細かなハケ、煤付着。内面上部板状器具によるナデ、下部横ハケ。脚台部外面斜ハケ。内面ナデ。	軟 質 粘 性 弱 い 暗 い 黄 茶
863 −51 −74 甕D$_1$	6− 406 A13f−C$_2$	18.0 30.5 22.0 7.7	口唇部は面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部外面縦方向の粗いハケ、著しく磨滅。煤はつかない。内面および脚台部内外面磨滅のため調整不明。	軟 質 粘 性 弱 に ぶ 橙
864 −51 −74 高坏D$_2$	6− 492 A13d−C$_2$	16.9 19.0 — 13.5	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦ハケ後縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面横ハケ。坏部と脚部に黒斑。	良 好 精 良 に ぶ 橙
865 −51 −74 高坏脚部A$_2$	6− 356 A13e−C$_2$	— — — 13.9	坏上部欠損。下部の一部残存。内面縦方向のヘラミガキ。外面横方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は折返しにより幅広い丸棒をもつ面を作る。円形透孔3ケ所。	良 好 精 良 黄 味 白
866 −51 高坏C$_3$	6− 401 A13f−C$_2$	21.1 — — —	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。	脚部欠損。	良 好 精 良 黄 味 白
867 −51 高坏脚部C$_2$	6− 266 A13d−C$_2$	— — — 12.0	坏部欠損。	脚部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。円形透孔3ケ所。	良 好 砂 粒 含 む に ぶ 橙
868 −51 −75 片口A$_3$	6− 795 A13f−C$_2$	16.0 11.4 18.3 7.1	壺の下胴部に片口部を設けたような形態。口唇部は内側にむけて面取りをする。片口部の作りは小さい。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面横方向のヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底、木葉痕付着。	良 好 砂 粒 含 む う す 橙
869 −51 −75 鉢B$_3$	3− 397 A13a	10.3 8.5 10.6 4.8	口唇部は円頭状に作る。内面調整不明。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面ヘラケズリ。底部ドーナツ底、砂粒付着。口縁部と胴部の2ケ所に黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白
870 −51 鉢C$_1$	3− 872 A13b	10.9 8.0 11.8 5.8	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。胴部との境に段。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面下部ハケ。底部平底。	良 好 砂 粒 多 含 黄 味 白
871 −51 鉢D	3− 897 A13b	9.0 6.6 7.4 3.8	口唇部は面を作る。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。底部平底。下胴部に黒斑。	良 好 精 良 黄 味 白

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 胴径 / 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚部)	焼成 胎土 色調
872 —51 —75 鉢 D	6— 346 A13e－C$_2$	9.0 7.5 8.0 5.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のためはっきりしないが縦方向のヘラミガキか。内面下部に指頭圧痕。底部平底、木葉痕付着。	良 好 精 良 う す 橙
873 —51 —75 鉢 E$_2$	6 232 A13e－C$_2$	9.7 5.5 — 4.9	口唇部は円頭状に作る。	胴部無紋。外面斜ハケ後横方向の粗いヘラミガキ。内面磨滅のため調整不明。底部平底。底部に黒斑。	良 好 含 砂 粒 多 含 明るい茶 灰
874 —51 —75 鉢 E$_3$	6 2244 A13f－C	7.6 4.0 — 3.7	口唇部は円頭状に作る。	胴部無紋。外面斜方向の細かなヘラミガキ。内面横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。	良 好 良 精 良 う す 橙
875 —51 —75 蓋 A	3—308—2 A13c－Ⅳ	8.3 2.9 — —	浅鉢を逆さにした形態。	上部ナデ。下部横ハケ。実測図の縮尺 1／2.5。	良 好 砂 粒 含 む う す 黄 茶

B13区・A13区・その他地区

876 —51 —75 広口壺 B$_3$	4 1034 B13a－Ⅱ	9.1 13.4 11.3 5.6	口唇部は円頭状に作る。内面ハケ後ナデ。外面ヨコナデ。	肩部に櫛の横圧横線と刺突紋を施しただけの幅狭い文様帯。胴部外面ハケ後横方向のヘラミガキ。底部平底、ヘラケズリ。底部に黒斑。	良 好 砂 粒 多 含 う す 橙
877 —51 —75 広口壺 B$_4$	6—1529 A13e —YT7？	10.9 18.6 17.1 6.5	口唇部は面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面横方向の粗いハケ。底部平底。底部に黒斑。	良 好 良 精 良 赤 味 橙
878 —51 —76 広口壺 B$_4$	3— 467 A13a —YT7？	10.8 15.9 15.7 5.7	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部平底、木葉痕付着。	良 好 良 精 良 に ぶ 橙
879 —51 広口壺 D$_2$	6—1555 B13d —YT7？	8.2 14.3 11.8 4.7	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面ヨコナデ後縦な縦方向のヘラミガキ。	胴部無紋。外面上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。内面頸部絞り目と指頭圧痕、下部ハケ。底部平底、砂粒付着。	良 好 良 精 良 に ぶ 橙
880 —51 —76 壺胴部Ⅲ	6—3166 B12h－Ⅱ～Ⅲ	— — 13.6 5.5	口頸部欠損。	肩上部に櫛の押圧横線を3条施す他は無紋。胴部外面横方向のヘラミガキ。内面下部ハケ。底部平底、ヘラミガキ。	良 好 多 含 砂 粒 多 含 茶 暗 い 黄
881 —51 小型壺胴部Ⅲ	4— 684 B12d－Ⅲ	— — 9.6 3.6	口頸部欠損。	胴部無紋。外面横方向の丁寧なヘラミガキ。内面指ナデ。底部平底、ヘラミガキ。胴部に黒斑。	良 好 良 精 良 黄 味 白
882 —51 —75 小型壺胴部Ⅱ	4—1453 B12i－Ⅲ	— — 7.5 4.6	口頸部欠損。	胴部無紋。外面上胴部斜、下胴部横方向のヘラミガキ。底部平底。腹部に黒斑。	良 好 む 砂 粒 含 む 黄 味 白
883 —51 無頸壺 A	4—1422 B12e－Ⅲ	10.0 7.6 12.2 5.2	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のためはっきりしないがハケ後ヘラミガキか。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部ドーナツ底。	良 好 良 精 良 に ぶ 橙
884 —51 鉢 C$_2$	番号不明 B13区 —YT	9.0 7.0 10.0 4.8	口唇部は面を作る。口唇部から内面にかけてはヨコナデ。外面縦方向の擬刻突紋。	肩部に縦方向の櫛刻突紋を1段施紋。文様帯下部横方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。底部平底、ヘラミガキ。	良 好 良 精 良 う す 橙
885 —52 —76 高 坏 C$_3$	4—1707 A13d－Ⅱb	21.2 18.0 — 12.3	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面ハケ後縦方向のヘラミガキ。内面斜ハケ。円形透孔3ケ所。	良 好 砂 粒 含 む う す 橙

番号 別冊図版 写真図版 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
886 −52 広口壺 A_1	7−1556 B14 g 一方周−3 W	19.2 — 30.3 —	口唇部は軽広い面を作り、全面に櫛刺突紋を施す。その後4個1組の櫛状浮紋を4ケ所に貼付。内面端部は水平面を作り櫛刺突紋、下部ヘラミガキ。	口頸部と胴部は接合しないが同一個体。頸部に凸帯と竹管紋の組み合せが2回、その下胴部には櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋→刺突紋→扇形紋を施す。	良 好 砂粒含む 赤 味 橙
887 −52 広口壺 B_2	7−1552 B14 e 一方周−1 W	11.7 21.6 18.5 6.5	口唇部は面を作る。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面縦ハケ後斜方向の粗いヘラミガキ。内面上部指ナデ、下部板状器具によるナデ。底部平底、粘痕付着。頸部と胴部の2ケ所に黒斑。	良 好 精 良 赤 味 橙
888 −52 −76 壺胴部 I	7−1252 ル7−C_2	— — 14.0 5.2	口頸部欠損。	頁部に磨滅により消えかかった横描直線紋が2条認められる。間帯部にも文様が施されていた可能性高い。外面磨滅のため調整不明。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	良 好 精 良 う す 橙
889 −52 −76 坩	6−1259 A12 e −YP	10.0 10.3 9.7 4.8	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面横方向の細かなヘラミガキ。底部平底。	良 好 精 良 に ぶ 橙
890 −52 小型広口壺 B_1	6−3874 A13 c −YP	5.8 9.7 8.9 4.0	口唇部は円頭状に作る。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部無紋。外面ハケ調整。底部ドーナツ底。胴部に黒斑。	良 好 砂粒含む に ぶ 橙
891 −52 −75 小型壺胴部 II	7−1293 B12 h −YT	— — 10.0 4.6	口頸部欠損。	頁部に櫛の押圧横線2条→櫛描直線紋2条→櫛描扇形紋→櫛の刺突紋を施した文様帯。施紋法は稚拙で雑である。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に黒斑。	良 好 砂粒多含 赤 味 橙
892 −52 −76 短頸壺 B	7−1698 ネ7 −YT	13.2 13.2 18.8 6.6	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面櫛描波状紋。	肩部に櫛描波状紋を1条施紋。以下胴部外面磨滅のため調整不明。内面横ハケ。底部平底。	良 好 灰 砂粒含む うす黄 茶
893 −52 −75 無頸壺 A	6−1341 A12 e −YT	5.3 7.2 8.6 4.8	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。凝口縁かも知れない。	胴部無紋。外面縦ハケ。内面ナデ。底部ドーナツ底。土師器の可能性がある。	良 好 精 良 う す 黄
894 −52 −77 甕 A_1	7−2918 B13 a −YP 2	17.2 — 18.9 —	口唇部は面を作る。内面細かな横ハケ。外面粗い縦ハケ。	胴部外面粗い斜ハケ、煤付着。内面上部粗い横ハケ、下部細かな横ハケ。脚台部欠損。	良 好 砂粒多含 暗い黄 茶
鉢 B_1	7− 162 B13 a −YP 3−C_3	13.0 10.6 13.8 6.4	口唇部は面を作る。内面ヨコナデ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	頸部との境に棒状器具による沈線を1条施す他は無紋。胴部外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部ヘラ、中ナデ、下部ヘラミガキ。底部平底。底部に穿孔？	良 好 精 良 黄 味 白
台付鉢 C	6− 689 A12 i −YP11	12.8 7.5 — 10.2	口唇部は面を作る。胴部外面上部に櫛描の直線紋→扇形紋→直線紋を施した文様帯、下部縦方向のヘラミガキ。内面縦方向の細かなヘラミガキ。	脚部無紋。内外面とも縦方向のヘラミガキ。裾部に長方形の透孔（切込み）3ケ所。	良 好 精 良 黄 味 白
台付鉢 A_3	6− 688 A12 i −YP11	8.5 — 11.2 —	口唇部は円頭状に作る。鉢部外面斜ないし縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部板状器具によるナデ、下部横ハケ。鉢部外面に黒斑。	脚部無紋。外面縦ハケ後縦方向のヘラミガキ。内面ナデ。脚下部は欠損。鉢部との接合は弓板充塡法。	良 好 精 良 に ぶ 橙
小型壺胴部 III	7−1501 枝溝 1−V	— — 13.8 4.8	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部あげ底。底部に黒斑。	やや軟 質 やや粘性弱い 黄 味 白
甕 D	7−2857 枝溝 2−V_4	15.6 — 15.1 —	口唇部は円頭状に作り、櫛状器具による刺目紋を施す。内面横ハケ。外面斜ハケ。	胴部外面粗い斜ハケ。煤はつかない。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	軟 質 砂粒含粘性弱 黄 味 白
広口壺 D_1	7−2856 枝溝 2−V_4	10.8 19.6 20.3 7.0	口唇部は面を作る。内外面ともハケ後ヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部斜ハケ、下胴部ハケ後横方向のヘラミガキ。内面ハケ。底部ドーナツ底。胴部に一対の黒斑。	やや軟 質 砂粒多含 うす 橙

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
901 −52 −77 長頸壺 A	7−2855 枝溝2 V4	7.4 17.9 13.4 6.4	口唇部は円頭状に作る。内面ヨコナデ。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面ナデ。底部平底。胴部に2ケ所黒斑。実測図の縮尺1/2.5。	良好 精良 にぶ橙
902 −52 鉢 E1	7−1034 枝溝1−V	14.3 7.9 − 6.0	口唇部は面を作る。	胴部無紋。内外面とも横方向のヘラミガキ。底部平底。	良好 精良 明るい茶灰
X12区・X13区					
903 −53 広口壺 B2	12−141 X13f −YT6−C	10.5 13.6 23.2 6.7	口唇部は面を作る。内面に棒状器具による沈線を1条、他はヨコナデ。外面ヨコナデ。焼成後に内側から穿けた2個1組の円孔(直径4mm)が2ケ所につく。	肩部に稚拙な感じのする櫛描の直線紋と波状紋を交互(2回)に施紋。文様帯下部ハケ後ヘラミガキと思われるが磨滅のため調整痕はっきりしない。底部平底。	良好 精良 うす橙
904 −53 広口壺 C2	12−387 X12c−D (YT6の東)	8.1 19.8 15.6 6.4	口唇部は上部からの押えつけにより幅広い面を作る。内面ナデ。外面粗い斜ハケ。	胴部外面文様効果をもつ粗い斜ハケ。底部浅いあげ底。口縁部と上胴部の2ケ所に黒斑。東(中達地域)からの搬入品か。	良好 砂粒含む にぶ黄橙
905 −53 広口壺 F1	12−359 X12c−D (YT6の東)	10.2 17.1 17.8 6.6	口唇部は折返しにより幅広い面を作り、面上に3個1組の棒状浮紋を4ケ所に貼付する。内面端部櫛描波状紋、下部ハケ後ナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部最上部に低い凸帯、その下に櫛描の直線紋と波状紋を交互に施した幅広い文様帯。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底、砂粒付着。	良好 精良 にぶ橙
906 53 壺胴部 III	12−140 X13f −YT6−D	− − 10.8 5.0	口頸部欠損。	肩部に櫛の押圧横線を4条施す他は無紋。外面磨滅のため調整不明。内面下部横ハケ、底部平底。胴部は二次加熱を受けて煤けている。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
907 −53 小型広口壺 B1	12−228 X13c −YT7−C	5.4 7.4 6.7 4.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。外面上胴部ハケ後ナデ、下胴部斜ハケ。内面指ナデ。底部平底。胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ黄橙
908 −53 鉢 E1	12−36 X12c−D (YT6の東)	8.8 3.3 − 5.0	口唇部は面を作る。	外面斜ハケ、内面ナデ。底部平底。壺蓋である可能性もある。	良好 精良 黄味白
909 −53 甕 C4	12−125 X13c −CD	10.8 13.1 12.3 6.3	口唇部は尖頭状に作る。刻目紋は施さない。内外面ともヨコナデ。	胴部外面細かな横ハケ、煤付着。内面ナデ。脚台部外面ナデ、裾部ヨコナデ。内面ナデ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
910 −53 短頸壺 F	12−380 X12c −D	20.0 − − −	口唇部は折返しにより幅広い面を作り、櫛の刺突紋を施す。口唇下端に箆又は櫛状器具による刻目紋。口縁部内面は横方向の丁寧なヘラミガキ。	下胴部欠損。上胴部無紋。外面粗い斜ハケ。内面横方向の丁寧なヘラミガキ。内面二次加熱もしくは黒斑により黒色を帯びる。	良好 砂粒多含 明るい茶灰
911 −53 高坏脚部 F	12−226 X12c −YT6	− − − 12.4	坏部欠損。	脚部無紋。外面脚上部縦方向の丁寧なヘラミガキ。裾部は段を作り斜ハケ。内面ナデ。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
912 −53 高坏 B6	12−323 X12c −CD	18.0 16.5 − 12.2	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部外面上部に櫛描波状紋を3条、下部横方向のヘラミガキ。内面上部横、下部縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。坏部との接合は円盤充填法。円形透孔3ケ所。	良好 精良 赤味橙
913 −53 片口 B2	12−141 X13f −YT8	15.3 6.8 − 5.8	口唇部は面を作る。片口部は上部より押えつけるようにして作り出す。	鉢部外面上部に櫛の刺突紋を施す。文様帯下部ハケ後ナデ。内面ナデ。底部平底。	軟質 精良 赤味橙
第1次調査出土品					

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部	技法・調整等の特徴 胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
914 −53 −78 広口壷 F_1	第1次調査 出土品	18.8 30.4 28.8 7.8	口縁部わずかに残存。口唇部は面を作り棒状浮紋（単位不明）を貼付。内面端部には櫛の面と先端刺突による羽状紋(1.5段）がつく。	肩部に低い凸帯→直線紋2条→刺突紋→直線紋2条→扇形紋→直線紋2条→扇形紋を施紋。その後、肩部（縦4本）と腹部に鰭状突起。鰭部に櫛刺突紋。胴部に黒斑。	良好 精良 うす橙
915 −53 広口壷 F_1	第1次調査 出土品	17.7 — 27.6	口唇部は折返しにより幅広い面を作り縄紋（LR）を施す。内面端部縄紋（LR）と棒刺突紋、下部ナデ。外面細かな斜ハケ。	上胴部のほぼ全面に縄紋（LR）を施す。内面はナデ。下胴部欠損。腹部に黒斑。	良好 砂粒多含 赤味橙
916 −54 広口壷 B_3	第1次調査 出土品 1−203	9.8 24.3 19.9 6.0	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	肩部に櫛の押圧横線3条と棒刺突紋1段、その下上胴部のほぼ全面に縄紋（LR+附加条)。縄紋帯の上下端には3・4個1組の円形浮紋を4ケ所に貼付。底部ドーナツ底。	良好 砂粒多含 にぶ橙
917 −54 壷胴部 I	第1次調査 出土品 ハ2	— — 17.8 5.5	口頸部欠損。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。底部あげ底。胴部に2ケ所黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ橙
918 −54 小型広口壷 C_3	第1次調査 出土品 ハ2−0−2	11.0 12.0 10.9 6.7	口唇部は円頭状に作り、ヨコナデ。内面横ハケ(左回り)、外面縦ハケ。	胴部無紋。外面縦ハケ。内面ハケ？ 底部ドーナツ底、ヘラミガキ。下胴部に黒斑。	やや軟質 砂粒含粘性弱 明るい黄橙
919 −54 広口壷 F_1	第1次調査 出土品 ハ2−G	8.5 12.5 13.4 4.8	口唇部は円頭状に作る。内面ハケ後ヨコナデ？ 外面指ナデ？	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面粘土帯の合わせ目がよく残る、下部はナデ、底部平底。	やや軟質 良好 ピンク
920 −54 小型広口壷 A_3	第1次調査 出土品 1−403 ハ2−G	8.6 10.5 11.0 4.4	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	頸部との境に棒状器具による浅い刺突紋を1条めぐらす他は無紋。外面磨滅のため調整不明。底部浅いドーナツ底。	良好 やや粘性弱い 黄味白
921 −54 小型壷 C	第1次調査 出土品 ハ2	6.6 7.6 7.9 3.4	口唇部は円頭状に作り、ヨコナデ。内面ヨコナデ？ 外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。	胴部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。底部あげ底。下胴部から底部にかけて黒斑。	良好 精良 うす黄茶
922 −54 小型壷胴部 I	第1次調査 出土品 ハ2−0−3	— — 9.6 6.0	口頸部欠損。	胴部無紋。外面ハケ後横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。腹部に黒斑。	軟質 やや粘性弱い 明るい茶灰
923 −54 長頸壷 B	第1次調査 出土品 1−701 ハ2−G	— — 16.7 6.2	口縁部欠損。頸部の一部残存。内面ナデ？ 外面縦方向のヘラミガキ。	肩部に低い凸帯を1条めぐらす他は無紋。外面は磨滅により調整不明。底部平底。腹部に黒斑。	良好 精良 赤味橙
924 −54 無頸壷？	第1次調査 出土品	22.0 — — —	口唇部は面を作る。内面斜ハケ。外面斜方向の櫛刺突紋。	胴部無紋。外面上胴部縦ハケ後横方向の丁寧なヘラミガキ。内面斜方向のヘラミガキ。下胴部欠損。	良好 精良 うす橙
925 −54 鉢 B_1	第1次調査 出土品	11.4 9.0 11.1 5.8	口唇部は円頭状に作る。内面ハケ後ナデ。外面ヨコナデ。	胴部無紋。外面磨滅のため調整痕はっきりしないが横方向のヘラミガキ。内面ナデ。底部ドーナツ底、木葉痕付着。	良好 精良 黄味白
926 −54 鉢 B_1	第1次調査 出土品 ハ2	10.1 8.9 11.2 5.0	口唇部は円頭状に作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。内外面とも磨滅のため調整不明。底部平底、木葉痕付着。胴部外面に黒斑。	良好 精良 にぶ橙
927 −54 鉢 E_3	第1次調査 出土品 1−483 イ8−B	9.9 4.6 — 4.6	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。内外面ともナデ。底部平底、ヘラケズリ。土師器かも知れない。	良好 砂粒多含 にぶ橙
928 −54 −78 甕 B_1	第1次調査 出土品	22.1 25.3 22.2 8.7	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。口唇下端に篦または櫛状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面ヨコナデ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部との境に粘土紐。脚台部外面縦ハケ後ナデ。内面ナデ。胴部と脚台部の接合は円盤充填法。	良好 砂粒含む 暗い黄茶

番号 / 別冊図版 / 写真図版 / 器種・形態	登録番号 / 出土位置	法量cm 口径 / 器高 / 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	胴部・底部(脚台部)	焼成 / 胎土 / 色調
929 —54 壺 C1	第1次調査 出土品	18.6 — 20.2 —	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。口唇下端に櫛状器具による刻目状。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面ナデ、下部に炭化物付着。脚台部欠損。	良 砂粒含む 暗い黄 好 む茶
930 —54 甕 C1	第1次調査 出土品 1—503	18.9 — 23.3 —	口唇部は面を作る。口唇下端に擬状器具による刻目状。内面横ハケ後ナデ？ 外面ヨコナデ。	胴部外面斜ハケ、煤付着。内面横ハケ後ナデ、下部に炭化物付着。脚台部欠損。	良 砂粒含む 暗い黄 好 む茶
931 —54 —78 高 坏 B2	第1次調査 出土品 1—308	23.8 18.5 — 14.0	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。坏部無紋。内面縦方向のヘラミガキ。外面上部ヨコナデ、下部縦方向のヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面ナデ？ 裾端面は折返しにより幅広い丸味をもつ面を作る。	良 精 黄 味 好 良 白
932 —54 高 坏 B2	第1次調査 出土品 ハ2	22.2 22.3 — 14.0	口唇部は面を作る。坏部無紋。内外面とも縦方向の丁寧なヘラミガキ。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面上部シボリ、下部横ハケ。裾端面は面を作る。	良 精 に ぶ 好 良 橙
933 —55 高 坏 B	第1次調査 出土品 1—801	23.2 — — —	口唇部は面を作る。坏外面上部に櫛描波状紋を1条施紋、下部縦方向のヘラミガキ。内面縦方向のヘラミガキ。	脚部欠損。	良 精 に ぶ 黄 好 良 橙
934 —55 高 坏 B	第1次調査 出土品	29.8 — — —	口唇部は面を作る。坏外面上部に櫛描波状紋を2ないし3条施紋。外面下部および内面は磨滅のため調整不明。	脚部欠損。	良 精 う す 好 良 橙
935 —55 80 高坏脚部 A2	第1次調査 出土品	— — — 18.7	坏部欠損。	坏部との境に沈線、その下に櫛の刺突紋を間帯をおき2段施紋。文様帯下部縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリとナデ、下部横ハケ。裾端面は円頭状に作る。	良 精 赤 味 好 良 橙
936 —55 高坏脚部 A3	第1次調査 出土品	— — — 12.6	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向の丁寧なヘラミガキ。内面横ハケ。坏部との接合は円盤充填法。円形透孔3ケ所。	良 精 う す 好 良 黄
937 —55 高坏脚部 A3	第1次調査 出土品	— — — 16.4	坏部欠損。	脚部無紋。外面縦方向のヘラミガキ。内面上部シボリ、下部ナデ。裾端面は折返しにより幅広い面を作る。円形透孔3ケ所。	良 精 赤 味 好 良 橙
938 —55 高坏脚部 A4	第1次調査 出土品	— — — 15.0	坏部欠損。	脚上部から中程にかけて櫛描直線紋と櫛刺突紋を交互に施した幅広い文様帯、下部縦方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部ヨコナデ。裾端面は円頭状。透孔3ケ所。	良 精 に ぶ 好 良 橙
939 —55 高坏脚部 E	第1次調査 出土品 ハ2	— — — 11.0	坏部欠損。	脚下部の破片。破片上部に櫛描直線紋が残る。脚部は別作りの台座貼付けにより裾状突起をもつ段がつく。極上部に楕円形透孔、下部に半円形の切り込みが各々3ケ所につく。	良 精 赤 味 好 良 橙
出土地点不明					
940 —55 —79 広口壺 A1	番号不明 A13d YT?—CD	18.7 35.5 33.4 7.1	口縁部は幅広い面を作る。内面上部櫛の刺突による羽状紋2段施紋、下部ナデ。外面ナデ。	頸部との境に断面三角形の凸帯を1条、その下肩部に櫛描の直線紋と波状紋を交互(4.5同)に施す。文様帯下部横方向のヘラミガキ。底部平底。胴部に数ケ所黒斑。	良 砂粒多含 に ぶ 黄 好 橙
941 —55 広口壺 A	6—1682 A10d —YT！	15.5 — — —	口唇部は幅広い面を作り、櫛描波状紋を施す。内面端部櫛描波状紋、下部縦、頸部横方向のヘラミガキ。外面縦ハケ後ナデ？	肩部の一部残存。残存部に低い凸帯と櫛描直線紋がつく。胴部欠損。	良 精 赤 味 好 良 橙
942 —55 広口壺 B3	出土地点 不明	11.6 24.8 20.6 5.8	口唇部は面を作りヨコナデ。内面端部浅くて大きな櫛の刺突紋？ 下部ハケ後ナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛押圧横線→櫛刺突による羽状紋→櫛押圧横線→櫛刺突紋の順に施した幅狭い文様帯。文様帯下部斜ハケ後ナデ。内面板状器具によるナデ。底部平底、わずかに凹む。	良 精 に ぶ 好 良 橙

番号 別冊図版 写真図版 / 器種・形態	登録番号 出土位置	法量cm 口径 器高 胴径 底径	技法・調整等の特徴 口頸部(坏部)	胴部・底部(脚台部)	焼成 胎土 色調
943 −55 広口壺 E_1	出土地点 不明	13.4 28.9 24.1 8.0	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋を施しただけの狭い文様帯。文様帯下部磨滅のため調整不明。底部平底、木葉痕付着。上胴部に直径6cm程の焼成後の穿孔がある。	良好 精良 黄茶
944 −55 小型壺 C	6−355 A13c −C_2	7.4 8.2 9.8 4.8	口唇部はやや丸味をもつ面を作る。内外面ともヨコナデ。	頸部の境に低い凸帯を施す他は無紋。外面磨滅のため調整不明。底部浅いドーナツ底。底部に黒斑。	軟質 精良 にぶ橙
945 −56 広口壺 F_4	6−1886 A13d −YT6	14.3 28.7 27.8 7.6	口唇部は円頭状に作りヨコナデ。内面端部櫛描波状紋、下部横ハケ後ナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	肩部に櫛描の直線紋と波状紋4条を連続して施した幅狭い文様帯。文様帯下部上胴部縦、下胴部横方向のヘラミガキ。内面上部ナデ、下部横ハケ。	良好 精良 うす橙
946 −56 広口壺 F_4	出土地点 不明	13.6 32.5 27.1 6.5	口唇部は折返しにより幅広い面を作る。内外面とも磨滅のため調整不明。	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面ナデ。底部ドーナツ底。	やや軟質 砂粒多含 にぶ橙
947 −56 −79 短頸壺 D	6−1383 A10e −YT2	18.7 19.0 21.2 6.4	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ。	胴部無紋。内外面とも横方向のヘラミガキ。底部ドーナツ底。胴部に6cm×8cmほどの焼成後の穿孔（円窓）がある。胴部内外面に黒斑。	良好 精良 黄味白
948 −56 −79 甕 A_1	出土地点 不明 （YT1か）	14.8 18.6 15.4 8.6	口唇部は面を作る。口唇下端に篦状器具による刻目紋。内外面ともヨコナデ。	外面上胴部縦ハケ、下胴部斜ハケ、煤付着。内面上部板状器具によるナデ、下部横ハケ。脚台部との境に粘土帯。脚台部外面縦ハケ、内面上部ナデ、下部横ハケ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
949 −56 甕 B_1	出土地点 不明	18.6 25.7 20.0 8.9	口唇部は面を作る。口唇下端に篦状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ。	胴部外面斜方向の粗いハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部外面粗いハケ。内面ナデ。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
950 −56 甕 B_1	出土地点 不明	21.8 — 23.0 —	口唇部は面を作る。口唇下端に棒または篦状器具による刻目紋、内面横ハケ後ナデ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部外面細かな横ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。下胴部から脚台部にかけては欠損。胴部外面に黒斑2ケ所。	良好 砂粒多含 茶色
951 −56 甕 C_1	出土地点 不明	17.2 — 20.8 —	口唇部は面を作る。口唇下端に篦状器具による刻目紋。内面横ハケ。外面縦ハケ後ヨコナデ。	胴部外面粗い斜ハケ、煤付着。内面板状器具によるナデ。脚台部欠損。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
952 −56 高坏 H_2	出土地点 不明	23.4 — —	口唇部は面を作り横ハケ。口唇下端に櫛による刻目紋。坏部内面上部横ハケ後ナデ？　下部横方向のヘラミガキ。外面上部横・斜ハケ、下部縦方向のヘラミガキ。	脚上部の一部残存。残存部に櫛の押圧横線が4条残る。東（中遠地域）からの搬入品か。坏部内面と坏部外面下部から脚部にかけて黒斑。	良好 砂粒多含 にぶ黄橙
953 −56 −80 鉢 D	4−1184 B12i −Ⅱ下	9.4 6.5 10.4 5.3	口唇部は円頭状に作る。内外面ともヨコナデ？	胴部無紋。外面磨滅のため調整不明。内面上部指頭圧痕、下部ハケ。底部平底。下胴部に黒斑。	良好 精良 にぶ橙

拓　影

拓影図番号 器　種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
A10区・B10区ＹＴ1			
954 －57 壷・口縁部	6－1493 A10d －ＹＴ1	口縁端部を水平近くまで折り曲げた広口壷Ｆの口縁部破片。口唇部は幅広い面を作り櫛描波状紋を、口縁部内面には櫛描波状紋と、その上に櫛の刺突紋を施す。	良 精 赤　味 好 良 橙
955 －57 壷・口縁部	6－2355 A10i －ＹＴ1	朝顔型に大きく開く広口壷Ｆの口縁部破片。口唇部と口縁部内面の２ケ所に、櫛の刺突による羽状紋を施す。	良 精 黄　味 好 良 白
956 －57 壷・口縁部	6－2376 A10d －ＹＴ1	口唇下端を下部に引き延ばして幅広く作った広口壷Ａの口縁部破片。口唇部と口縁部内面に縄紋（ＬＲ）を施す。	良 砂 に　ぶ 好 粒　多　含 橙
957 －57 壷・口縁部	6－1472 A10i －ＹＴ1	無頸壷の口縁部破片。口唇部はやや凹ませ、丸味をもつ端部には櫛状器具による刻目紋を施す。胴部外面ヨコナデ、内面ハケ。	良 精 ピ　ン 好 良 ク
958 －57 壷・上胴部	6 －1676 A10d －ＹＴ1	外側に大きく開く口縁部と、なだらかな肩部をもつ壷上胴部の破片。口唇部には鋸状器具で刻目紋を施す。肩部は２個１組の棒状浮紋を３ケ所に配し、そこより垂下する櫛描紋で全体を３区画に区切り、区画内に整った流水紋を施紋する。	良 砂 暗　い 好 粒　含　む 黄　茶
959 －57 壷・上胴部	6－2348 A10i －ＹＴ1	腹部にほど近い上胴部の小破片。櫛描の直線紋と直線紋の間に、櫛描の逆Ｕ字紋を施紋する。	良 砂 黄 好 粒　含　む 茶
960 －57 壷・上胴部	6－1681 A10d －ＹＴ1	頸部から腹部に至る大型の破片。同一の櫛を用い、直線紋と波状紋を交互に施紋する。	良 精 ピ　ン 好 良 ク
961 －57 壷・上胴部	6－1680 A10d －ＹＴ1	上胴部がほぼ残存する大型破片。肩部に櫛描直線紋を約 6.5 cmほどの幅で施紋し、その下に櫛描扁形紋を一段施したもの。内面から頸部割口にかけて、二次加熱を受けて煤けており、煙突のような用途に使用されたものと考えられる。	良 精 赤　味 好 良 橙
962 －57 高坏・坏部	6－1472 A10i －ＹＴ1	鉢もしくは高坏Ｄの坏部破片。口径推定19.2cm。口唇部は面を作る。口縁部外面に櫛の刺突による羽状紋を１段施紋する。紋様以下は丁寧なヘラミガキ。	良 精 に　ぶ 好 良 橙
A10区・B10区ＹＴ2			
963 －57 壷・上胴部	6－2823 A10f －ＹＴ2	頸部から腹部に至る大型の破片。同一の櫛を用い、直線紋と波状紋を交互に施紋する。	良 精 に　ぶ　黄 好 良 橙
964 －57 壷・上胴部	6－2504 A10f －ＹＴ2	肩部から腹部に至る大型の破片。幅広の櫛状器具を用い、上段より直線紋→波状紋→直線紋→波状紋の順に施紋し、その下に原体のはっきりしない器具（櫛？）で幅広い羽状紋を表現する。そしてその後、肩部より腹部にむけて垂下する櫛描波状紋を２ケ所に配す。	良 砂 に　ぶ　黄 好 粒　多　含 橙
965 －57 壷・上胴部	6－2817 A10i －ＹＴ2	腹部にほど近い上胴部の破片。破片上部より、櫛描の波状紋→直線紋→波状紋→直線紋→刺突紋の順に施紋する。	良 砂 に　ぶ　黄 好 粒　含 橙
966 －57 壷・肩部	6－2852 A10i －ＹＴ2	頸部から肩部にかけての破片。３片とも同一個体と思われる。頸部と肩部の境に凸帯を２条、肩部には縄紋（LR）を施紋する。凸帯直下と縄紋帯最下部に４個１組の円形浮紋を貼付する。縄紋帯は幅広いようである。	良 砂 う　す 好 粒　多　含 橙
967 －57 壷・胴部	6－2857 B10g －ＹＴ2	胴部に丸味をもつ中型土器の肩部から腹部にかけての破片。上胴部一环に縄紋（無節Ｒ）を施紋する。紋様帯下部は丁寧な横方向のヘラミガキ。東（中遠地域）からの搬入品か。	良 砂 に　ぶ　黄 好 粒　多　含 橙
968 －57 壷・肩部	6－2829 B10g －ＹＴ2	大型壷の肩部破片。肩部に８cm程の幅で縄紋（ＬＲ＋附加条）を施し、その下文様帯最下段に櫛の刺突による鋸歯紋を施す。	良 砂 黄　味 好 粒　含　む 白
969 －57 高坏・坏部	6－2879 B10g －ＹＴ2	高坏Ｄの坏部。口唇部は面を作る。口縁部外面に要を上にした繊細な櫛描扁形紋を施紋する。内外面とも丁寧なヘラミガキ。	良 精 う　す　黄 好 良 茶

拓影図番号 器　種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	成形・胎土 焼成 色調
970 －57 鉢？・口縁部	6－2825 A10 i －YT 2	鉢もしくは無頸壺の口縁部破片。胴部は内彎気味に立ちあがり、口縁部でわずかに外反する。文様は上胴部に櫛描の直線紋→扇形紋→直線紋を施紋する。	良　好 砂粒多含 に　ぶ　橙
971 －57 鉢？・口縁部	6－2235 B10 g －YT 2	鉢もしくは短頸壺の口縁部破片。口唇部は円頭状に作る。口縁部外面には篦状器具による羽状紋を2段めぐらす。口縁部内面ヨコナデ。	良　好 精　良 う　す　橙

A10区・B10区ＹＴ９西縁

972 －57 壺・上胴部	6－2464 A10 f －D	接合しないが同一個体と思われる口縁部破片と胴部破片。口径推定17.4cm。広口壺Aの変形で、幅広く作られた口唇部には回線紋風の沈線を3条施紋。胴部には肩部上段より櫛描の直線紋→扇形紋→直線紋→扇形紋2段を施し、文様帯最下段に3個1組の円形浮紋を貼付する。	軟　質 砂粒多含 に　ぶ　橙
973 －57 壺・口縁部	6－2276 A10 i －YT 2 畦畔	口縁部を一角形に作り出した超大型壺の口縁部破片。幅広く作られた口唇部には櫛描波状紋をめぐらし、その山と山の間、谷の部分に直径0.8cm程の竹管紋を施紋する。口縁部内面には櫛の刺突による羽状紋を2.5段にわたって施す。	良　好 砂粒多含 に　ぶ　橙
974 －57 壺・上胴部	6－2002 A10 f －D	腹部にほど近い上胴部の破片。櫛描直線紋と縦方向の櫛描紋とで方形区画を設うけ、その区画内に種描な感じのする流水紋を施紋する。	やや軟　質 精　良 黄　味　白
975 －57 壺・肩部	6－2872 A10 f －D	肩部破片。頸部との境に幅平で幅広い凸帯を1条めぐらし、以下肩部に櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→逆U字紋の順に施紋する。内面炭化物付着。	良　好 精　良 に　ぶ　橙
976 －57 壺・肩部	6－2470 A10 f －D	大型壺の肩部破片。頸部の境より櫛描の直線紋→波状紋→直線紋と施紋して、その下に種の刺突による縄蓆紋を1条、そして文様帯最下段に再び櫛描直線紋を1条施している。文様帯の幅は狭い。文様帯下部は縦方向のヘラミガキ。	良　好 精　良 赤　味　橙
977 －57 壺・肩部	6－2607 A10 f －YT 2 畦畔	大型壺の肩部破片。頸部との境に凸帯を1条、以下肩部にかけては、櫛描波状紋を2条→櫛先端による刺突紋→櫛描波状紋→竹管紋→櫛描波状紋を施紋する。	良　好 精　良 黄　味　白
978 －57 壺・上胴部	6－2219 A10 i －YT 2 畦畔	肩部破片。肩部最上段に櫛先端利用による刺突紋を1条めぐらし、以下肩部全面に、櫛状器具（刷毛かも知れない）による種描な感じのする羽状紋を施紋する。文様帯最下段には最上段と同じ櫛の刺突紋を1条めぐらしている。	良　好 精　良 黄　味　白
979 －57 壺・肩部	6－2218 A10 i －YT 2 畦畔	aとbは直接接合しないが同一個体である。共に肩部の小破片で、肩部最上段に櫛の押圧横線を3条めぐらし、その下に羽状縄紋を施している。	良　好 精　良 黄　味　白
980 －57 壺・上胴部	6－2754 A10 f －D	肩部に近い上胴部の破片。破片全面に縄紋（ＬＲ）を施している。東（中遠地域）からの搬入品か。	軟　質 砂粒多含 に　ぶ　橙
981 －57 壺・口縁部	6－2428 A10 f －D	無頸壺の口縁部破片。口径推定20.0cm。口唇部は円頭状に作り、口縁部外面に櫛による刻目紋、胴部との境にも長さ0.3cmほどの小さな刺突紋を施している。胴部外面はハケ調整と思えるが、磨滅のためはっきりしない。	良　好 砂粒含む に　ぶ　橙
982 －57 高坏・坏部	6－2463 A10 f －D	鉢、もしくは高坏Dの坏部破片。口唇部は面を作り、ヨコナデ。文様は口縁部外面に、櫛もしくは刷毛状器具を用いて、雑な感じのする格子紋を描く。内面ヘラミガキ。	良　好 精　良 に　ぶ　橙

B12区・B13区ＹＴ７下層

983 －58 壺・口縁部	7－2495 B13 b －YT 7－D_1	口唇下部を下方に引き延ばすようにして作った広口壺Aの口縁部破片。口径18.0cm。口唇部無紋。口縁部内面には櫛描波状紋を施す。また、頸部と肩部の境には凸帯を1条もうけ、その下肩部には櫛描直線紋を施す。	良　好 精　良 う　す　橙
984 －58 壺・口縁部	7－2127 B12 i －YT 7－D_1	広口壺Bの口縁部破片。口径10.0cm。口唇部は面を作る。口縁部内面には櫛描波状紋を施す。また、肩部残存部にも櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施している。	良　好 精　良 赤　味　橙
985 －58 壺・口縁部	7－2730 B13 b －YT 7－D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径推定14.8cm。口縁端部は折返し部をなめらかに仕上げ、口唇部および口縁部外面をヨコナデ調整する。口縁部内面には櫛描波状紋を施す。	良　好 砂粒多含 黄　味　白
986 －58 壺・口縁部	7－2613 B13 b －YT 7－D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径19.5cm。幅広い口唇部には櫛状浮紋を3ケ所に貼付する。口縁部内面には櫛描波状紋を施す。肩部には凸帯が1条認められる。	良　好 砂粒多含 に　ぶ　黄　橙

拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	成土調 焼胎色
987 —58 壺・口縁部	7—2093 B12 i —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径推定19.4cm。幅広い口唇部には6個以上を1組とした棒状浮紋を数ケ所に貼付する。口縁部内面には櫛描の波状紋と扇形紋を施紋する。	良好 砂粒含む にぶい橙
988 —58 壺・口縁部	7—2557 B13b —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径14.3cm。口唇部は面を作る。口縁部内面に櫛描刺突紋と櫛描波状紋を施す。	軟質 砂粒多含 赤味橙
989 —58 壺・口縁部	7—2766 B13b —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径推定16.3cm。幅広い口唇部はヨコナデ後、棒状浮紋を貼付する。口縁部内面には爪を右にした櫛描扇形紋を施紋する。	良好 精良 赤味橙
990 —58 壺・口縁部	7—2564 B13b —YT7—D_1	広口壺Aの口縁部破片。口径推定15.0cm。幅広い口唇部はヨコナデ調整だけで無紋。口縁部内面には変形した櫛描扇形紋を施紋する。	良好 精良 にぶい橙
991 —58 壺・口縁部	7—2342 B13c —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部小破片。t1唇部は面を作る。口縁部内面には爪を下にした扇形紋とその上部に文様のはっきりしない櫛描紋を施す。東（中遠地域）からの搬入品か。	良好 砂粒多含 黄味白
992 —58 壺・口縁部	7—2193 B13b —YT7—D	広口壺Fの口縁部破片。口径推定13.4cm。口唇部は面を作り、口唇下端に櫛による刻目紋を施す。口縁部内面には爪を上にした櫛描扇形紋を2段以上にわたり施紋する。東（中遠地域）からの搬入品か。	良好 砂粒多含 うす黄茶
993 —58 壺・口縁部	7—2492 B13b —YT7—D_1	広口壺Bの口縁部破片。口唇部は折返すようにしてやや肥厚させ丸味をつける。口縁部内面に櫛の刺突による雑な格子紋を施す。	軟質 砂粒含粘性制 にぶい橙
994 —58 壺・口縁部	7—2766 B13b —YT7—D_1F	広口壺Cの口縁部破片。口径推定17.2cm。口唇部はやや丸味をもつ面を作り、口唇下端に櫛による刺突紋を施す。口縁部内外面無紋。頸部と肩部の境に低い凸帯を1条もうけ、その下肩部に櫛の刺突による羽状紋を施紋する。	良好 精良 にぶい橙
995 —58 壺・口縁部	7—2671 B13b —YT7—D	広口壺Bの口縁部破片。口唇部はやや丸味のもつ面を作る。口縁部内面には櫛の刺突による羽状紋を施す。肩部には櫛描の波状紋と直線紋を施紋する。	良好 精良 にぶい橙
996 —58 壺・口縁部	7—2340 B13c —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径16.9cm。口唇部は面を作り、面上に7個1組の棒状浮紋を3ケ所に貼付する。口縁部内面には櫛の刺突による羽状紋を施す。わずかに残る肩部には櫛描波状紋がつく。	やや軟質 砂粒含む にぶい橙
997 —58 壺・口縁部	7—2744 B13b —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径推定20.0cm。口唇部は面を作り、面上に4個1組の棒状浮紋を4ないし5ケ所に貼付する。口縁部内面には櫛の刺突による羽状紋を施す。	良好 砂粒含 うす橙
998 —58 壺・口縁部	7—2556 B13b —YT7—D_1	口縁端部を水平近くまで折り曲げた広口壺Fの口縁部破片。口径14.2cm。口唇部はやや丸味をもつ面を作り、面上に7個1組の棒状浮紋を4ケ所に貼付する。口縁部内面には櫛の刺突紋と竹管紋を施す。わずかに残る肩部には凸帯と櫛描直線紋がつく。	良好 砂粒多含 ピンク
999 —58 壺・口縁部	7—2194 B13b —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径推定17.0cm。口唇部は面を作る。口縁部内面に櫛の刺突紋と、その下に粗い櫛描の扇形紋を施す。	良好 砂粒含む うす橙
1000 —58 壺・口縁部	7—2489 B13c —YT7—D	広口壺Bの口縁部破片。口径15.2cm。口唇部は面を作る。口唇部と口縁部内面に縄紋（LR）を施紋する。わずかに残る肩部には縄紋（LR）を施す。	やや軟質 精良 うす橙
1001 —58 壺・口縁部	7—2492 B13b —YT7—D_1	広口壺Bの口縁部破片。口唇部は丸味のもつ面を作る。口縁部内面には縄紋（LR）を施す。口縁部外面は緩ハケ後ナデ。肩部には凸帯を1条めぐらし、その下に櫛描直線紋を施紋する。	やや軟質 精良 うす橙
1002 —58 壺・口縁部	7—2335 B13c —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径推定13.6cm。口唇部は面を作る。口唇部および口縁部内面のかなり広い範囲に縄紋（LR）がつく。肩部にも縄紋（LR）を施す。東（中遠地域）からの搬入品か。入品か。	良好 砂粒多含 にぶい黄橙
1003 —58 壺・口縁部	7—2787 B13c —YT7—D_1	広口壺Fの口縁部破片。口径推定14.5cm。口唇部は面を作り、縄紋（RL）を施す。口縁部内面は端部付近で折り曲げて水平面を作り、そこに縄紋（RL）と棒状器具による刺突紋を施す。	良好 砂粒多含 にぶい橙
1004 —58 壺・口縁部	7—2234 B13b —YT7—D_1	受口壺Bの口縁部破片。口径推定21.8cm。口唇部は面を作る。口縁部内面は丁寧なヘラミガキ。幅広い口縁部外面には櫛の刺突による羽状紋を3段にわたり施す。	良好 精良 黄味白
1005 —58 壺・口縁部	7—2682 B13b —YT7—D_1	短頸壺？の口縁部破片。口径推定17.8cm。口唇部は面を作る。口縁部内面は無紋でナデ。口縁部外面は櫛描刺突紋を施す。	良好 砂粒含むピンク

拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	胎土 焼成 色調
1006 —58 壺・口縁部	7—2568 B13 b —YT7—D$_1$	広口壺Cの口縁部破片。口径推定11.2cm。口唇部は面を作る。口縁部内面は無紋でナデ。口縁部外面は全面に縄紋（LR）を施紋する。	良 精 に ぶ 好 良 橙
1007 —58 壺・口縁部	7—2483 B13 c —YT7—D$_1$	広口壺Cの口縁部破片。口径14.0cm。口唇部は面を作る。口縁部内面は無紋でナデ。口縁部外面は口縁部から幅4.5cm程の範囲に縄紋（無節R）を施紋する。頸部ヨコナデ。肩部にも縄紋が認められるが磨滅のためはっきりしない。	良 精 う す 好 良 橙
1008 —58 壺・口縁部	7—2488 B13 c —YT7—D$_1$	受口状の壺の口縁部破片か。口唇部は面を作り、縄紋を施す。口縁部外面は全面に縄紋を施した後、複数の棒状浮紋を貼付ける。	良 精 に ぶ 好 良 橙
1009 —59 壺・上胴部	7—2153 B12 i —YT7—D$_1$	上胴部の破片。横方向の櫛描紋を数条施し、その間に流水紋を配す。	良 精 黄 味 好 良 白
1010 —59 壺・上胴部	7—2496 B13 b —YT7—D$_1$	上胴部の小破片。肩部より垂下する櫛描紋の両側に、稚拙な感じのする流水紋を施紋する。	良 精 う す 好 良 橙
1011 —59 壺・胴部	7—2645 B13 b —YT7—D$_1$	胴部最大径付近の破片。破片上部に雑にひかれた流水紋と思える文様がつく。	良 精 黄 味 好 良 白
1012 —59 壺・口縁部	7—2616 B13 b —YT7—D	広口壺CまたはEの口縁部破片。口唇部は丸味をもつ。口縁部無紋。内外面ともヨコナデ。肩部残存部に櫛描波状紋が2条認められる。	やや軟 やや粒多 う す 質 含 橙
1013 —59 壺・肩部	7—2730 B13 b —YT7—D$_1$	肩部破片。破片内に櫛描波状紋が2条認められる。文様はさらにその下に続くようである。	良 砂 に ぶ 好 粒 含 黄 む 橙
1014 —59 壺・口縁部	7—2685 B13 b —YT7—D$_1$	広口壺Aの口縁部破片。口径推定13.4cm。口唇部は面を作る。口縁部内面には櫛描波状紋が施されているが磨滅により文様はっきりしない。肩部には櫛描の直線紋、その下に波状紋数条が施されている。	良 精 赤 味 好 良 橙
1015 —59 壺・上胴部	7—2144 B13 b —YT7—D$_1$	広口壺Dの口縁部破片。口径推定14.7cm。口唇部は円頭状に作る。口縁部無紋。内外面とも強いヨコナデ。肩部に櫛描の直線紋→波状紋2条を施した幅狭い文様帯がつく。	良 砂 ピ ン ク 好 粒 含 む
1016 —59 壺・肩部	7—2613 B13 b —YT7—D$_1$	大型壺の肩部破片。文様帯は櫛描の直線紋と波状紋を交互に2回施紋しただけのもので、壺の大きさに比べ、狭い。文様帯下部はヘラミガキ。内面ハケ。	良 砂 に ぶ 好 粒 多 黄 含 橙
1017 —59 壺・上胴部	7—2558 B13 b —YT7—D$_1$	上胴部の小破片。櫛描の直線紋と波状紋を交互に施したもの。文様は左回りに施紋されている。	良 精 に ぶ 好 良 橙
1018 —59 壺・上胴部	7—2492 B13 b —YT7—D$_1$	上胴部の破片。櫛描の波状紋2条→直線紋→波状紋2条の順に施紋する。	良 精 に ぶ 好 良 橙
1019 —59 壺・上胴部	7—2564 B13 b —YT7—D$_1$	腹部にほど近い上胴部の破片。櫛描の直線紋→波状紋→直線紋の順に施紋する。	良 精 う す 好 良 橙
1020 —59 壺・上胴部	7—2193 B13 b —YT7—D$_1$	上胴部の破片。櫛描直線紋と、同じく櫛描の粗く大きな波状紋とを交互に施す。	良 精 う す 好 良 橙
1021 —59 壺・上胴部	7—2674 B13 b —YT7—D$_1$	上胴部の破片。櫛描の直線紋と波状紋を交互に施す。	良 精 う す 好 良 橙
1022 —59 壺・上胴部	7—2732 B13 b —YT7—D$_1$	上胴部の小破片。単位ははっきりしないが、たぶん同一の櫛を用い、破片上部より直線紋→波状紋2条→直線紋→波状紋2条→直線紋の順に施紋する。文様帯下部横方向のヘラミガキ。	良 精 赤 味 好 良 橙
1023 —59 壺・肩部	7—2732 B13 b —YT7—D	肩部破片。肩部最上段より櫛描の直線紋→波状紋2・3条→直線紋の順に施紋する。	良 やや粘性弱い 黄 味 好 白
1024 —59 壺・肩部	7—2640 B13 b —YT7—D$_1$	肩部破片。肩部上段の比較的狭い範囲に、櫛描の直線紋→波状紋2条→直線紋を施紋する。	良 砂 に ぶ 好 粒 含 む 橙

拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1025 59 壺・肩部	7-2557 B13b —YT7—D$_1$	肩部破片。粗い櫛（10本／17mm）を用いて、頸部との境より、直線紋→波状紋→直線紋の順に施紋する。	良好 精良 うす橙
1026 59 壺・肩部	7-2163 B13i —YT7—D$_1$	上胴部の破片。頸部との境に凸帯を1条もうけ、以下肩部にかけて櫛描の波状紋と直線紋を交互に施紋する。	やや軟質 やや粘性弱い うす橙
1027 —59 壺・肩部	7-2234 B13b —YT7—D$_1$	肩部破片。頸部との境に低い凸帯を1条めぐらし、以下肩部にかけて櫛描の波状紋と直線紋を交互に施紋する。	良好 精良 黄白
1028 —59 壺・肩部	7-2495 B13b —YT7—D$_1$	肩部破片。肩部上段に低い凸帯を1条めぐらし、以下肩部にかけて櫛描直線紋1条と櫛描波状紋数条を施紋。その後、その上に肩部凸帯より垂下する櫛描紋を施紋する。	良好 精良 にぶ橙
1029 —59 壺・上胴部	7-2193 B13b —YT7—D$_1$	腹部にほど近い上胴部の小破片。小破片のため全体の文様構成までは明らかではないが、破片内では櫛描波状紋そして文様帯最下段に櫛描扇形紋がきて、その上に肩部より垂下する櫛描J字紋を施している。	良好 砂粒含む にぶ橙
1030 —59 壺・上胴部	7-2760 B13b —YT7—D$_1$	上胴部の破片。櫛描直線紋を数条、その下文様帯最下段には扇形紋を1段施す。	良好 精良 にぶ橙
1031 —59 壺・肩部	7-2668 B13b —YT7—D$_1$	肩部破片、肩上部に櫛描波状紋を2条、その下に扇形紋を1段施した幅狭い文様帯。	良好 精良 黄味白
1032 —59 壺・上胴部	7-2732 B13b —YT7—D$_1$	腹部にほど近い上胴部の破片。櫛描波状紋を2条、その下文様帯最下段には、櫛描扇形紋を1段施す。	良好 精良 赤味橙
1033 —59 壺・上胴部	7-2732 B13b —YT7—D$_1$	上胴部の破片。櫛描の直線紋と波状紋を交互に施し、文様帯最下段にのみ扇形紋を施す。	良好 精良 うす橙
1034 —59 壺・肩部	7-2342 B13c —YT7—D$_1$	肩部破片。同一の櫛（12歯／17mm）を用い、破片上部より、波長の小さな波状紋→直線紋→波長の大きな波状紋→直線紋→扇形紋の順に施紋する。	良好 精良 赤味橙
1035 —59 壺・上胴部	7-2166 B12i —YT7—D$_1$	上胴部の破片。同一の櫛（12歯／17mm）を用い、破片上部より、波状紋→直線紋→波状紋→扇形紋の順に施紋する。	良好 精良 うす橙
1036 —59 壺・上胴部	7-2144 B13b —YT7—D$_1$	上胴部の破片。破片上部より、櫛描の波状紋2条→直線紋2条→扇形紋（文様帯最下段）の順に施紋する。	良好 砂粒多含 にぶ橙
1037 —59 壺・上胴部	7-2165 B12i —YT7—D$_1$	上胴部の破片。同一の櫛（12歯／18mm）を用い、櫛描の波状紋→直線紋→波状紋→扇形紋（文様帯最下段）の順に施紋する。	良好 精良 にぶ橙
1038 —59 壺・上胴部	7-2234 B13b —YT7—D$_1$	上胴部の破片。同一の櫛（7歯／10mm）を用い、直線紋→波状紋2条→直線紋→扇形紋の順に施紋する。	良好 精良 にぶ橙
1039 —59 壺・上胴部	7-2194 B13b —YT7—D$_1$	大型壺の上胴部破片。同一の櫛（11歯／19mm）を用い、直線紋→波状紋3条→直線紋→扇形紋の順に、ほぼ上胴部全面に施紋する。	良好 砂粒含む うす橙
1040 —59 壺・上胴部	7-2408 B13b —YT7—D	腹部にほど近い上胴部の破片。破片上部より、櫛描の波状紋2条→直線紋→扇形紋（文様帯最下段）の順に施紋する。	軟質 やや粘性弱い うす橙
1041 —59 壺・上胴部	7-2540 B13b —YT7—D$_1$	上胴部の小破片。櫛描の直線紋と直線紋の間に扇形紋を施し、直線紋の下には、さらに別の文様を施す。	良好 精良 黄味白
1042 —59 壺・上胴部	7-2234 B13b —YT7—D	上胴部の破片。同一の櫛（9歯／11mm）を用い、破片上部より、波状紋→扇形紋→波状紋→直線紋→扇形紋の順に施紋する。	良好 精良 ピンク
1043 —59 壺・肩部	7-2240 B13b —YT7—D	肩部破片。同一の櫛（6歯／14mm）を用い、同部上段より、直線紋2条→扇形紋→直線紋2条→扇形紋の順に施紋する。	良好 砂粒含む 黄味白

拓影図番号 器　種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1044 -60 壺・上胴部	7 2448 B13c -YT7-D$_1$	上胴部の破片。同一の櫛（9歯／14㎜）を用い、直線紋→波状紋2条→扇形紋2段→直線紋の順に施紋する。	良 精 にぶ 好 良 橙
1045 -60 壺・上胴部	7-2581 B13b YT7-D$_1$	上胴部の小破片。櫛描波状紋を2条、その下に櫛描扇形紋を2段施紋する。	良 精 にぶ 好 良 橙
1046 -60 壺・肩部	7-2282 B13b -YT7-D	肩部の小破片。同一の粗い櫛（7歯／14㎜）を用い、直線紋→扇形紋→直線紋の順に施紋する。施紋手法は椎描である。	良 砂 うす 好 む 茶
1047 -60 壺・肩部	7-2765 B13b -YT7-D$_1$	肩部破片。頸部との境に、幅広く低い凸帯を1条めぐらし、その下に櫛描の直線紋→波状紋数条→扇形紋の順に施紋する。	良 砂粒含 赤味 好 む 橙
1048 -60 壺・上胴部	7-2193 B13b -YT7-D$_1$	上胴部の小破片。破片上部より、櫛描波状紋→櫛描直線紋→竹管紋→櫛描波状紋→竹管紋の順に施紋する。	良 精 黄味 好 良 白
1049 -60 壺・上胴部	7-2111 B12i -YT7-D$_1$	上胴部の大型破片。頸部との境に凸帯を1条めぐらし、その下辺に竹管紋を施す。肩部から胴部にかけては、同一原体の櫛（11歯／14㎜）を用いて、直線紋と波状紋を交互に3回、文様帯最下段には扇形紋を施す。	良 砂粒含 黄味 好 む 白
1050 -60 壺・肩部	7-2144 B13b -YT7-D$_1$	肩部破片。頸部との境に櫛の押圧横線を2・3条、その下に棒または楊先端による刺突紋を2段施し、その上に3個1組の円形浮紋を貼付する。刺突紋の下は、櫛描の波状紋2・3条→直線紋を施紋する。	良 やや粘性弱い にぶ 好 橙
1051 -60 壺・上胴部	7-2234 B13b -YT7-D$_1$	腹部にほど近い上胴部の破片。破片上部より、櫛描直線紋→櫛描波状紋→棒状刺突紋→櫛描直線紋の順に施紋する。	軟 やや粘性弱い 黄味 質 白
1052 -60 壺・上胴部	7-2278 B13a -YT7-D	上胴部の小破片、櫛（12歯／17㎜）を右下り、左下りの順に施して、格子状の櫛描紋様を表現する。格子紋の下には櫛描直線紋を施している。長野県の座光寺原式土器によく見られる文様である。	良 精 赤味 好 良 橙
1053 -60 壺・上胴部	7-2500 B13b -YT7-D$_1$	腹部にほど近い上胴部の破片。櫛描の直線紋と直線紋の間に、櫛の刺突紋をしたもの。	良 精 黄味 好 良 白
1054 -60 壺・上胴部	7-2194 B13b -YT7-D$_1$	肩部のやや下の上胴部破片。櫛描直線紋の下に、幅3.3㎝ほどの櫛刺突紋を2段、その下に再び櫛描直線紋、そして文様帯最下段に扇形紋を1段施す。	良 砂粒含 にぶ黄 好 む 橙
1055 -60 壺・上胴部	7-2158 B12i -YT7-D$_1$	上胴部の破片。肩部に同一の櫛（12歯／17㎜）を用い、直線紋→波状紋→直線紋→刺突紋（文様帯最下段）を施す。	良 砂粒含 ピンク 好 む ク
1056 -60 壺・肩部	7-2341 B13c -YT7-D$_1$	肩部付近の小破片。櫛描直線紋と櫛描刺突紋を交互に施したもの。刺突紋は左下り→右下りの順に描く。	良 砂粒含 黄味 好 む 白
1057 -60 壺・上胴部	7-2338 B13c -YT7-D$_1$	上胴部の小破片。櫛描直線紋と櫛描刺突紋を交互に施したもの。刺突紋はやはり、左下り→右下りと交互に描く。	良 砂粒含 黄味 好 む 白
1058 -60 壺・上胴部	7 2540 B13b -YT7-D$_1$	上胴部の破片、破片上部より櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→左下り刺突紋→直線紋→右下り刺突紋→直線紋の順に施紋する。	軟 砂粒多 にぶ 質 含 橙
1059 -60 壺・上胴部	7-2544 B13b -YT7-D$_1$	上胴部の小破片。同一の櫛（12歯／17㎜）を用い、櫛描直線紋と櫛描刺突紋を交互に描く。刺突紋は左下り→右下りの順に描く。	軟 砂粒多 うす 質 含 橙
1060 -60 壺・上胴部	7-2732 B13b -YT7-D$_1$	上胴部の小破片。磨滅してよくわからぬ部分もあるが、同一の櫛（9歯／12㎜）を用いて、上部より、直線紋→波状紋→直線紋→左下り刺突紋→直線紋→右下り刺突紋の順に施紋する。	軟 砂粒多 にぶ黄 質 含 橙
1061 -60 壺・口縁部	7-2437 B13c -YT7-D$_1$	広口壺Cの口縁部破片。口后部は面を作る。口縁部内外面とも無紋。内面ナデ、外面縦ヘラミガキ。頸部と肩部の境には凸帯を1条めぐらし、その上に櫛刺突紋を施す。肩部には櫛描直線紋を2条、その下には縄紋（LR？）を施紋する。	やや軟 精 赤味 質 良 橙
1062 -60 壺・上胴部	7-2003 B12i -YT7-D$_1$	上胴部の破片。縄紋（LR）を施紋した後、その上より櫛描直線紋を1条施して、縄紋帯を2分している。	良 砂粒多 黄味 好 含 白

拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	成形 焼成 色調
1063 60 壺・上胴部	7 2234 B13b －YT7－D$_1$	上胴部の破片。縄紋（LR）を施紋した後、その上より櫛描直線紋を1条施して、縄紋帯を2分している。	良好 精良 にぶい橙
1064 60 壺・上胴部	7－2077 B12i －YT7－D$_1$	上胴部の破片。縄紋（LR）を施紋した後、その上より櫛描直線紋を1条施して、縄紋帯を2分している。1062と同一個体である可能性が大きい。	良好 砂粒含む 暗い黄茶
1065 60 壺・口縁部	7－2497 B13b －YT7－D$_1$	広口壺AのI1縁部破片。口唇部は面を作る。I1縁部内外面とも無紋。頸部と肩部の境に、櫛の押圧横線を3条めぐらし、肩部には縄紋（無節R）を施す。	良好 砂粒多含 茶色
1066 60 壺・上胴部	7－2152 B12i －YT7－D$_1$	上胴部の大型破片。頸部との境に、櫛の押圧横線を3条めぐらし、その下に4個1組の円形浮紋を3ケ所に貼付する。肩部から胴部にかけては縄紋（LR）を施す。	良好 砂粒含む にぶい橙
1067 －60 壺・肩部	7－2730 B13b －YT7－D	肩部破片。頸部との境に、櫛の押圧横線を2条めぐらし、その下に2個1組の円形浮紋を3ケ所に貼付する。肩部には縄紋（LR）を施す。	良好 砂粒多含 にぶい橙
1068 －60 壺・肩部	7－2581 B13b －YT7－D$_1$	肩部の大型破片。頸部との境に櫛の押圧横線を2条めぐらし、その下肩部には縄紋（LR）を施す。	良好 精良 うす橙
1069 －60 壺・肩部	7－2282 B13b －YT7－D	肩部の小破片。頸部との境に櫛の押圧横線を2条めぐらし、その下肩部には縄紋（LR）を施す。	良好 砂粒多含 にぶい橙
1070 60 壺・肩部	7－2558 B13b －YT7－D	肩部の小破片。頸部との境に、櫛の押圧横線を2条めぐらし、その下肩部には縄紋（LR）を施す。	良好 砂粒多含 にぶい橙
1071 －60 壺・肩部	7－2558 B13b －YT7－D	肩部の小破片。頸部との境に、櫛の押圧横線を1条めぐらし、その下肩部には縄紋（LR）を施す。	良好 精良 黄味白
1072 －60 壺・I1縁部	7－2642 B13b －YT7 D$_1$	受口状をした壺I1縁部破片。口唇部は円頭状に作る。口縁部内外面無紋。頸部と肩部の境に直径0.3cm程の竹管紋を1段めぐらし、その下肩部に縄紋（LR）を施す。	良好 精良 ピンク
1073 －60 壺・肩部	7－2036 B13i －YT7－D$_1$	肩部破片。肩部最上段に棒による刺突紋を1段めぐらし、その下肩部には縄紋（RL）を施す。	良好 精良 にぶい黄橙
1074 －60 壺・上胴部	7 2093 B12i －YT7－D$_1$	上胴部の小破片。破片全面に羽状縄紋（1段）を施す。	良好 砂粒多含 にぶい黄橙
1075 －60 壺・上胴部	7 2780 B13c －YT7－D$_1$	胴部の小破片。破片全面に羽状縄紋（1.5段）を施す。	良好 砂粒多含 黄味白
1076 －60 壺・上胴部	7－2144 B13b －YT7－D$_1$	上胴部の小破片。破片全面に縄紋（LR）を施す。	良好 砂粒多含 にぶい黄橙
1077 －60 壺・上胴部	7－2077 B12i －YT7－D$_1$	上胴部の小破片。破片全面に比較的大粒な縄紋（LR）を施す。	良好 精良 うす橙
1078 －60 壺・上胴部	7－2558 B13b －YT7－D$_1$	上胴部の小破片。破片全面に粗い縄紋（LR）を施す。	良好 精良 赤味橙
1079 －60 壺・上胴部	7－2498 B13b －YT7－D$_1$	上胴部の小破片。破片全面に縄紋（LR）を施す。	良好 砂粒含む にぶい橙
1080 －60 壺・上胴部	7－2124 B12i －YT7－D$_1$	上胴部の大型破片。肩部より胴部最大径（腹部）までの幅広い範囲に縄紋（LR）を施す。内面には幅2cm前後の粘土帯の合わせ目の痕跡が残る。東（中通地域）からの搬入品。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
1081 －60 壺・上胴部	7－2033 B12i －YT7－D$_1$	上胴部の破片。破片下部を除いたほぼ全面に、粗い縄紋（LR？）を施す。	良好 砂粒多含 にぶい黄橙

掲載図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1082 －60 壺・上胴部	7－ B13c －YT7－D_1	上胴部の小破片。破片全面に縄紋（無節R）を施す。	良好 砂粒含む 黄白味
1083 －60 壺・上胴部	7－2107 B12i －YT7－D_1	上胴部の破片。破片全面に雑な縄紋（LR）を施す。	良好 砂粒含む にぶい黄橙
1084 －61 壺・肩部	7－2744 B13b －YT7－D_1	肩部破片。頸部との境に、幅の狭い凸帯を1条めぐらし、その下に櫛の刺突による羽状紋を施したもの。羽状紋の下は無紋帯となる。	良好 精良 ピンク
1085 －61 壺・肩部	7－2093 B12i －YT7－D_1	いわゆる有段羽状紋を施した土器。肩部破片。頸部との境に施した断面二角形の凸帯の上辺と下辺に、櫛の刺突による羽状紋を施したもの。羽状紋下部は無紋帯となり、縦方向のヘラを施す。	良好 砂粒含む 黄白味
1086 －61 壺・肩部	7－2034 B12i －YT7－D	1085と同じく、有段羽状紋を施した土器。肩部破片。頸部との境に施した断面二角形の凸帯の上辺と下辺、およびその下に、櫛の刺突による羽状紋を施したもの。羽状紋の下は無紋帯となる。	良好 砂粒含む 黄白味
1087 －61 甕・口縁部	7－2557 B13b －YT7－D	深鉢状をした大型甕の口縁部破片。折返し口縁で、口唇は面を作り、口唇下端には櫛状器具による刺目紋を施している。胴部外面斜ハケ、内面横ハケ。	良好 砂粒多含 にぶい橙
1088 －61 高坏・坏部	7－2166 B12i －YT7－D_1	高坏Bの坏部。口径推定29.4cm。口唇部は面を作る。口縁部外面上部に櫛描の波状紋（停止しながら描いたもの）と南瓜紋を施す。内面ヘラミガキ。	良好 砂粒多含 ピンク
1089 －61 高坏・坏部	7－2035 B12i －YT7－D_1	高坏Dの坏部。口径推定27.0cm。口唇部は面を作り、ヨコナデ。口縁部外面には口唇と接して浅く雑な凹線を2条めぐらし、その下に櫛刺突による羽状紋（1.5段）を施す。内面ヘラミガキ。	良好 精良 ピンク
1090 －61 高坏・坏部	7－2193 B13b －YT7－D_1	高坏Dの坏部。口径推定27.0cm。口唇部は面を作り、ヨコナデ。口縁部外面には櫛の刺突による羽状紋を施す。内面丁寧な縦方向のヘラミガキ。	良好 精良 にぶい橙
1091 －61 高坏・坏部	7－2240 B13b －YT7－D_1	高坏Bの坏部。口唇部は折返しにより幅広い面を作り、縄紋を施す。折返し部を段は作らず、断面三角形に滑らかに仕上げる。内外面とも丁寧なヘラミガキ。内面口縁部付近に煤付着。東（中遠地域）からの搬入品。	良好 砂粒多含 暗い黄茶
1092 －61 高坏・脚部	7－2720 B13b －YT7－D	高坏Gの脚部破片。脚上部に、櫛描直線紋を間帯部をおいて数条施紋し、間帯部には縦縄文施文器具で斜縦紋・羽状紋を施している。	良好 精良 にぶい黄橙
1093 －61 高坏・脚部	7－2738 B13b －YT7－D_2	高坏Bの脚部破片。脚底部は外側にしっかり折返して明瞭な段をつける。文様は脚底部の段外側に、櫛の刺突による格子紋を施す。脚上部外面は無紋で、縦方向の丁寧なヘラミガキ。東（中遠地域）からの搬入品。	良好 砂粒多含 黄白味
1094 －61 鉢・上胴部	7－2144 B13b －YT7－D_1	鉢Aの上胴部破片。口縁部外面は磨滅するが、わずかに櫛描波状紋らしき跡が残る。胴上部には櫛描の直線紋と直線紋の間に、棒刺突紋を3段めぐらした文様がつく。	良好 精良 にぶい橙
1095 －61 鉢・上胴部	7－2766 B13b －YT7－D_1	鉢Aの上胴部破片。口縁部外面に櫛の刺突紋、胴上部には櫛描の直線紋→鬆形紋を施す。文様帯下部へラミガキ。	良好 精良 にぶい橙

B12区・B13区YT7中・上層

1096 －61 壺・口縁部	6－3752 B13b －YT7－C_3	広口壺Bの口縁部破片。口唇部は円頭状に作る。口縁部内面には櫛描波状紋（左回り）を施す。わずかに残る肩部にもやはり櫛描波状紋を施している。	良好 精良 黄味白
1097 －61 壺・口縁部	7－70 B13b －YT7－C_2	広口壺Fの口縁部破片。口唇部は面を作りヨコナデ。口唇下端に櫛による刺目紋を施す。口縁部内面には要を上にした櫛描鋸形紋を3段にわたり施す。	黄味白 砂粒多含 良好
1098 －61 壺・口縁部	7－556 B12i・B13c －YT7－C_3	広口壺Fの口縁部破片。口径推定30.6cm。口唇部は面を作り、櫛の刺突紋を施す。口縁部内面にもやはり櫛の刺突による羽状紋を施す。	良好 砂粒多含 黄味白
1099 －61 壺・口縁部	7－59 B13b －YT7－C_2	広口壺Cの口縁部破片か。口唇部は面を作り、櫛刺突紋を施す。口縁部外面には縄紋（LR）を施す。	良好 精良 にぶい橙

拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1100 −61 壺・口縁部	7−447 B13 b −YT7−C_3	広口壺Cの口縁部破片。口唇部は円頭状に作る。口縁部内面には上部より5cm程の範囲に縄紋（RL）を施す。口縁部外面から頸部にかけてはヨコナデ。頸部と肩部の境には，断面一角形の凸帯を1条めぐらし，その下肩部には縄紋（RL）を施紋する。	良　好 砂粒多含 うす黄茶
1101 −61 壺・口縁部	7−3825 B13 b −YT7−C_3	口縁部内面遺部に水平面をもつ広口壺Fの口縁部破片。口肩部は面を作り，縄紋（LR）を施す。口肩部2ケ所に5，6個1組の棒状浮紋を貼付する。口縁部内面の水平面には口唇部と同じく縄紋（LR）を施す。肩部には楕の押圧擬線を3条めぐらし，その下に縄紋（LR）を施す。	良　良好 精 に　ぶ　橙
1102 −61 壺・口縁部	7−144 B13 e −YT6−C_2	口縁部内面端部に水平面をもつ広口壺Fの口縁部破片。口径推定14.5cm。口唇部は面を作り，施状器具による斜擬紋を施す。口縁部内面は結節縄紋を施す。わずかに残る肩部には縄紋（LR）を施している。	良　好含 砂粒多 に　ぶ　黄橙
1103 −61 壺・口縁部	6−3788 B13 b −YT7−C_2	広口壺Aの口縁部。口径15.4cm。口肩部は幅広い面を作り，楕の刺突による羽状紋を施す。口縁部内外面は無紋。わずかに残る肩部には，楕描紋が施されているようであるが磨滅のためはっきりしない。	良　好良 精 に　ぶ　橙
1104 −61 壺・口縁部	6−3824 B13 b −YT7−C_3	広口壺Cの口縁部破片。口径推定14.4cm。口肩部は面を作る。口縁部外面縦方向のヘラ，内面縦方向のヘラミガキ。頸部と肩部の境には楕の押圧擬線を2条めぐらし，その下肩部には櫛描直線紋を施す。	良　好む 砂粒含 に　ぶ　橙
1105 −61 壺・口縁部	6−3738 B13 b −YT7−C_2C_3	受口状をした口縁部破片。口径推定19.8cm。口唇部は面を作る。口縁部外面は幅広い面を作り，櫛刺突による羽状紋（2.5段）と棒状浮紋（複数）を数ケ所に貼付する。	良　好良 精 う　す　橙
1106 −61 壺・上胴部	7−554 B12 i・B13 c −YT7−C_3	上胴部の小破片。流水紋を施紋した土器。縦方向の区画線を櫛で描き，その後，横方向の流水紋を施紋する。	良　好良 精 黄　味　白
1107 −61 壺・上胴部	6−3891 B13 a・d −YT7−C_3	上胴部の小破片。櫛描の流水紋を施している。	良　好 砂粒含む色 茶
1108 −61 壺・肩部	7−445 B13 a −YT7−C_3	肩部破片。同一の櫛（9歯/14mm）を用い，直線紋と波状紋を交互に施す。	良　好む 砂粒含 明るい黄橙
1109 −61 壺・肩部	7−513 B13 b −YT7−C_3	胴部に丸味をもつ壺の肩部破片。櫛描の直線紋と波状紋を交互に施す。施紋法は雑・櫛描である。	良　好む 砂粒含 う　す　橙
1110 −61 壺・胴部	7−508 B13 b −YT7−C_3	aとbは接合しないが，同一個体の胴部破片と思われる。横描の波状紋と直線紋を交互に施した文様がつく。波状紋の施紋法は横描である。文様帯下部へラミガキ。	良　好良 精 う　す　黄
1111 −61 壺・肩部	7−489 B13 b −YT7−C_3	肩部破片。櫛描の直線紋と波状紋を交互に施し，文様帯最下段に棒による刺突紋を1段めぐらす。文様帯の幅は狭く，施紋法は横描である。	良　好 やや粘性弱い 黄　味　白
1112 −61 壺・肩部	6−3692 B13 b −YT7−C	肩部の大型破片。頸部との境に断面一角形の凸帯を1条めぐらし，以下肩部に，櫛描の直線紋→波状紋→直線紋を施紋する。文様帯の幅は狭い。文様帯下部はヘラミガキ。	良　好良 精 黄　味　白
1113 −61 壺・肩部	7−445 B13 a −YT7−C_3	肩部付近の小破片。櫛描の波状紋→直線紋→結形紋（文様帯最下段）の順に施紋する。	良　好む 砂粒含む に　ぶ　橙
1114 −61 壺・上胴部	7−64 B13 b −YT7−C_2	上胴部の小破片。単位のはっきりしない繊細な櫛を用い，直線紋を2条，その下文様帯最下段に扇形紋を1段施す。	良　好 精　良 う　す　橙
1115 −61 壺・肩部	7−68 B13 b −YT7−C_2	肩部破片。肩部上段より櫛描の直線紋2条→波状紋2条→変形扇形紋→直線紋の順に施紋する。	良　好 精　良 う　す　橙
1116 −62 壺・胴部	7−496 B13 b −YT7−C_3	胴部に丸味をもつ壺の胴上部破片。櫛描の直線紋と直線紋の間に，櫛描のくずれた扇形紋を施す。	良　好良 精 黄　味　白
1117 −62 壺・肩部	6−3615 B13 b −YT7−C_3	肩部破片。同一の櫛を用い，破片上部より，波長の大きな波状紋→小さな波状紋→直線紋→扇形紋→直線紋の順に施紋する。	良　好良 精 黄　味　白
1118 −62 壺・上胴部	7−445 B13 a −YT7−C_3	上胴部の破片。文様帯下部の破片のため全体の文様構成は明らかではないが，破片内では，櫛描波状紋，そして文様帯最下段に櫛描扇形紋がきて，その上に肩部より垂下する櫛描紋を施している。	良　好 精 明るい黄橙

拓影図番号 器　種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1119 −62 壺・肩部	7−531 B13b −YT7−C_3	肩部付近の破片。櫛描直線紋を間帯をおいて数条施し、間帯部には櫛描の扇形紋・I字紋（扇形紋の変形したものか）を施す。	良　好 精　良 う　す　橙
1120 −62 壺・上胴部	7−62 B13b −YT7−C_2	上胴部の小破片。破片全面に、櫛描波状紋→櫛描直線紋→竹管紋→櫛描波状紋→竹管紋→櫛描波状紋を施す。	良　好　良 精　良　白 黄　味
1121 −62 壺・上胴部	7−62 B13b −YT7−C_2	上胴部の小破片。櫛描波状紋と竹管紋を交互に施す。1120と同一個体かも知れない。	良　好 精　良　白 黄　味
1122 −62 壺・肩部	7−513 B13b −YT7−C_3	上胴部の大型破片。頸部との境に凸帯を1条、その下辺に櫛の刺突による小さな羽状紋を1段施紋。その下肩部にかけては櫛描直線紋→櫛描扇形紋2段→縄紋（LR）→櫛描直線紋→櫛描扇形紋2段→櫛描直線紋の順に施紋する。文様帯は幅広い。	良　好　む 砂　粒　含 う　す　橙
1123 −62 壺・肩部	7−62 B13b −YT7−C_2	肩部破片。接合しないが明らかに同一個体と思われる破片が2片ある。文様は肩部最上段に櫛描直線紋を1条めぐらし、その下に、やはり櫛を用いた右下り、左下りの斜線をお互いが交差するように施している。文様帯は幅狭く、肩部に限られる。	良　好 精　良 赤　味　橙
1124 −62 壺・上胴部	7−61 B13b −YT7−C_2	上胴部の小破片。繊細な櫛描直線紋を間帯をおいて数条施紋し、間帯部には櫛の刺突による X 字紋を施す。	良　好 精　良 う　す　橙
1125 −62 壺・上胴部	7−57 B13b −YT7−C_2	腹部にほど近い上胴部の破片。櫛描直線紋と櫛描刺突紋を交互に施し、文様帯最下段にのみ、櫛描J字紋（扇形紋の変形したものか）を施紋する。	良　好 砂　粒　含 赤　味　橙
1126 −62 壺・肩部	6−3736 B13b −YT7−C_2C_3	肩部破片。櫛描の直線紋→刺突紋→直線紋2条と施し、その後、肩部より垂下する櫛描紋を施す。	良　好 精　良 う　す　橙
1127 −62 壺・上胴部	6−3838 B13b −YT7−C_3	上胴部の小破片。櫛描刺突紋（左下り）と櫛描直線紋を交互に施す。	良　好 精　良 赤　味　橙
1128 −62 壺・上胴部	6−3742 B13b −YT7−C_2C_3	上胴部の小破片。破片全面に櫛描の直線紋→刺突紋→波状紋→刺突紋→直線紋を施紋する。	良　好 精　良 赤　味　橙
1129 −62 壺・肩部	7−57 B13b −YT7−C_2	肩部破片。肩上部に櫛描直線紋を2条、そして櫛1条分ほどの間帯をおいて再び櫛描直線紋を施し、間帯部には櫛の刺突による鋸歯紋を施す。	良　好 精　良 に　ぶ　橙
1130 −62 壺・上胴部	7−514 B13b −YT7−C_3	腹部に近い上胴部の小破片。破片内では、櫛描直線紋を2条、その下に櫛1条分の間帯をおいて隆帯器具による沈線を1条設け、間帯部に櫛の刺突による鋸歯紋を施す。	良　好 精　良 に　ぶ　橙
1131 −62 壺・上胴部	7−57 B13b −YT7−C_2	肩部から腹部に至る大型破片。他に同一個体と思われる破片（b）がある。文様は幅3cmほどの櫛状器具で、肩部最上段より、直線紋→波状紋（上下端で停止しながら描く）→直線紋の順に施紋し、最下段に櫛刺突による鋸歯紋を施している。波状紋の上には複数の円形浮紋を貼付する。	良　好　む 砂　粒　含 に　ぶ　橙
1132 −62 壺・肩部	7−2222 B13c −YT6−C_1	肩部破片。肩部上段に、原体の異なる、あるいは施紋法を変えた2種類の櫛描刺突紋を施した幅狭い文様帯がつく。胴部ヘラミガキ。	良　好 精　良 に　ぶ　橙
1133 −62 壺・肩部	7−445 B13a −YT7−C_3	肩部破片。頸部との境に櫛の押圧横線を2条、その下に右下りの櫛描刺突紋を施紋した幅狭い文様帯がつく。胴部ヘラミガキ。	良　好 砂　粒　含 赤　味　橙
1134 −62 壺・肩部	7−512 B13b −YT7−C_3	肩部付近の破片。肩上部に櫛描直線紋を1条、その下6cmほどに縄紋（LR）を施紋する。文様帯下部は横方向のヘラミガキ。	良　好 やや粘性弱い 赤　味　橙
1135 −62 壺・肩部	7−27 B13b −YT7−C_1C_2	肩部破片。頸部との境に櫛の押圧横線を3条めぐらし、その下肩部には縄紋（LR）を施す。	良　好　む 砂　粒　含 う　す　橙
1136 −62 壺・肩部	7−553 B12i・B13c −YT7−C_3	肩部破片。頸部との境に櫛の押圧横線を3条めぐらし、以下肩部には縄紋（LR）を施す。	良　好 精　良 う　す　橙
1137 −62 壺・肩部	7−530 B13b −YT7−C_3	肩部の小破片。頸部との境に櫛の押圧横線を2条めぐらし、以下肩部には縄紋（LR）を施す。	良　好 精　良 黄　味　白

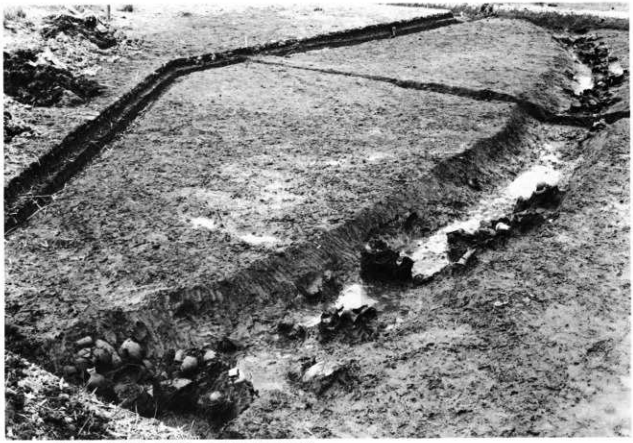
拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1138 −62 壺・肩部	7−554 B12i・B13c −YT7−C_3	肩部の小破片。頸部との境に櫛の押圧横線を2条めぐらし、以下肩部には縄紋（LR）を施す。	良好 精良 うす橙
1139 −62 壺・肩部	7−513 B13b −YT7−C_3	肩部の小破片。頸部との境に櫛の押圧横線を2条めぐらし、以下肩部には縄紋（LR）を施す。1137と同一個体かもしれない。	良好 精良 黄味白
1140 −62 壺・肩部	7−30 B13b −YT7−C_2	頸部から肩部にかけての破片。頸部との境に、3個1組の円形浮紋を4か所に貼付し、肩部には縄紋（LR）を施す。破片内に1か所、縄紋帯を縦方向に箆で擦り消した場所がみられる。	良好 砂粒含む うす黄茶
1141 −62 壺・肩部	7−73 B13b −YT7−C_1C_2	肩部の小破片。破片全面に縄紋（LR）を施す。	良好 精良 うす橙
1142 −62 壺・上胴部	7−31 B13b −YT7−C_1C_2	胴上部の小破片。破片全面に縄紋（LR、附加条が加えられている可能性もあり）を施す。	良好 砂粒含む にぶ黄橙
1143 −62 壺・上胴部	7−554 B12i・B13c −YT7−C_3	胴上部の小破片。破片全面に縄紋（RL）を施す。	良好 砂粒多含 黄味白
1144 −62 壺・腹部	7−29 B13b −YT7−C_1C_2	胴部最大径（腹部）付近の破片。胴上部全面に縄紋（LR）を施す。胴下部はヘラミガキ。	良好 精良 黄味白
1145 −62 壺・腹部	7−64 B13b −YT7−C_2	胴部最大径（腹部）付近の破片。破片内の約半分（上胴部）に縄紋（LR）を施す。	良好 精良 赤味橙
1146 −62 壺・肩部	7−556 B12i・B13c −YT7−C_3	肩部付近の小破片。破片全面に縄紋（RL）を施す。	良好 砂粒多含 黄味白
1147 −62 壺・肩部	7−449 B13b −YT7−C_3	肩部破片。破片全面に縄紋（無節R？）を施す。	良好 精良 ピンク
1148 −62 壺・肩部	7−74 B13b −YT7−C_2	肩部破片。破片全面に縄紋（無節R）を施す。	良好 精良 ピンク
1149 −62 高坏・坏部	6−3738 B13b −YT7−C_2C_3	高坏Dの坏部破片。口唇部は面を作る。口縁部外面に櫛刺突による羽状紋を施す。内面ヘラミガキ。	良好 精良 赤味橙
1150 −62 高坏・坏部	7−485 B13b −YT7−C_3	高坏Dの坏部破片。全面丹塗。口唇部は面を作る。口縁部外側に縄紋（LR）を施す。内面横方向のヘラミガキ。	やや軟質 精良 赤
1151 −62 高坏？・坏部	7−489 B13b −YT7−C_3	高坏もしくは台付鉢の脚部。裾部（脚底部）に、折返しあるいは貼付けにより幅2.5cm程の段を設うけ、裾端面および段上面に箆状器具の刺突による羽状紋を施す。	良好 精良 黄味白
B12区・B13区YT7			
1152 −63 壺・口縁部	6−1467 B13b −YT7	短頸壺Bの口縁部破片。口径推定12.8cm。口唇部は面を作る。口縁部外面に櫛の刺突による羽状紋を施す。内面ヨコナデ。胴部無紋。	良好 砂粒多含 にぶ黄橙
1153 −63 壺・口縁部	6−1463 B13b −YT7	短頸壺Bの口縁部破片。口径推定10.6cm。口唇部は面を作る。口縁部外面には櫛の刺突による羽状紋風の文様を施す。内面ナデ。胴部無紋。	良好 精良 ピンク
B12区・B13区YT6下層			
1154 −63 壺・口縁部	7−2228 B13c −YT6−D_1	直立気味に開く口縁部の破片。口径推定9.3cm。口唇部は面を作り、面上に直径0.25cmの竹管紋を施す。口縁部内外面とも無紋、ヨコナデ。	良好 精良 黄味白

拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1155 −63 壺・口縁部	7−2716 B13c −YT6−D_1	直立気味に開く口縁部。口唇部は面を作る。口縁部外面に縄紋（LR）。内面はナデ。	良好 砂粒含む にぶ橙
1156 −63 壺・肩部	6−1616 B13c −YT6−D	肩部の小破片。竹管紋を5段、その下に凹線紋を1条施したもの。凹線紋の下は無紋帯となる。文様帯の幅は狭い。	良好 砂粒含む にぶ橙
1157 −63 壺・上胴部	7−2217 B13b −YT6−D_1	腹部に近い上胴部の破片。櫛描の直線紋→波状紋→扇形紋（文様帯最下段）の順に施紋する。文様帯下部へラミガキ。	良好 精良 にぶ黄橙
1158 −63 壺・上胴部	7−2228 B13c −YT6−D_1	腹部に近い上胴部の破片。櫛描の波状紋を2条、その下に上とは波長の異なる波状紋（大）1条を施したもの。	軟質 砂粒含粘性弱 にぶ橙
1159 −63 壺・上胴部	7−2217 B13b −YT6−D_1	上胴部の破片。破片上部より、櫛描の直線紋→波状紋→扇形紋→直線紋の順に施紋する。文様帯下部へラミガキ。	良好 砂粒含む 黄味白
1160 −63 壺・肩部	7−2739 B13c −YT6−D_1	肩部破片。肩部最上段より、櫛描の直線紋と扇形紋を交互に施紋する。	良好 精良 茶色
1161 −63 壺・上胴部	7−2222 B13c −YT6−D_1	腹部にほど近い上胴部の破片。破片のため全体の文様構成は明らかではないが、現存部では櫛描の扇形紋→直線紋2条ときて、文様帯最下段に「字紋を施している。なお、この「字紋の間に櫛描横線を施している場所もある。	良好 精良 ピンク
1162 −63 壺・肩部	7−2871 B13a −YT6−D_1	肩部付近の大型破片。櫛描直線紋を間帯をおいて、2条施し、間帯部に櫛描扇形紋の変形したと思われるI字紋を施している。下部直線紋の下には波状紋がくる。	軟質 砂粒含む にぶ橙
1163 −63 壺・上胴部	7−2096 B13c −YT6−D_1	肩部にほど近い上胴部の小破片。櫛描直線紋と櫛描刺突紋（左下り）を交互に施紋する。	良好 精良 ピンク
1164 −63 壺・上胴部	7−2717 B13c −YT6−D_1	上胴部の小破片。櫛描の直線紋と波状紋の間に、櫛描刺突紋（左下り）を施紋する。	軟質 砂粒含粘性弱 にぶ橙
1165 −63 壺・上胴部	7−2228 B13c −YT6−D_1	上胴部の小破片。破片上部より、棒状器具による刺突紋→櫛描直線紋→箆状器具による斜線紋→櫛描直線紋の順に施紋する。	良好 精良 にぶ橙
B12区・B13区YT6上層			
1166 −63 壺・口縁部	7−2698 B13c −YT6−C_1	大型土器の口縁部破片。断面三角形をなす折返し口縁部、幅広い口唇部と、口縁部内面の2ケ所に同一の櫛による刺突紋を施している。	良好 砂粒含む 黄味白
1167 −63 壺・上胴部	7−405 B13d −YT6−C_2	上胴部の小破片。縦方向の櫛描紋と流水紋が認められる。	やや軟質 砂粒含粘性弱 うすい橙
1168 −63 壺・上胴部	7−403 B13d −YT6−C_3	肩部にほど近い上胴部の破片。櫛描直線紋と櫛描の廉状紋風波状紋2条を施している。	良好 やや粘性弱い にぶ橙
1169 −63 壺・肩部	7−403 B13d −YT6−C_3	肩部の小破片。頸部との境に、幅が広く低い凸帯を1条施し、その下に、繊細な櫛描の直線紋と波状紋を施す。	軟質 粘性弱い にぶ橙
1170 −63 壺・上胴部	7−402 B13d −YT6−C_2	腹部にほど近い上胴部の破片。稚拙な感じのする櫛描の直線紋と扇形紋を交互に施す。	良好 精良 うすい橙
1171 −63 壺・上胴部	7−434 B13c −YT6−C_2	腹部にほど近い上胴部の破片。櫛描の直線紋→波状紋→扇形紋（文様帯最下段）の順に施紋する。施紋法は稚拙である。	やや軟質 精良 うすい橙
1172 −63 壺・上胴部	7−434 B13c −YT6−C_2	大型壺の上胴部破片。破片上部より、同一の櫛（9歯/18mm）を用い、波状紋→直線紋→扇形紋→直線紋の順に施紋する。	良好 精良 ピンク

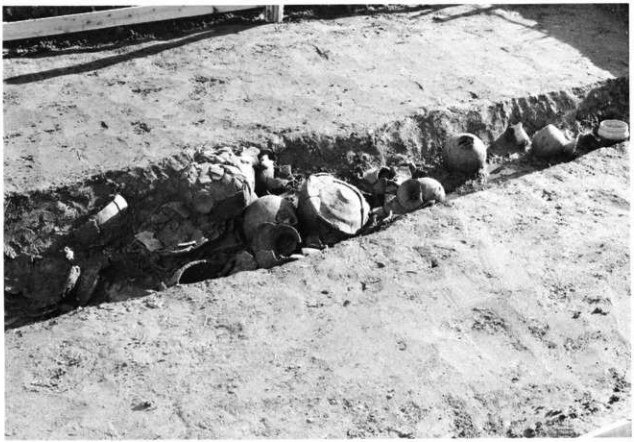
拓影図番号 器種	登録番号 出土位置	形態・文様・調整等の特徴	焼成 胎土 色調
1173 −63 壺・上胴部	7−381 B13c −YT6−C_3	肩部にほど近い上胴部の破片。櫛描の直線紋、扇形紋を交互に施す。	やや軟質 砂粒含む にぶ橙
1174 −63 壺・胴部	7−383 B13d −YT6−C_2	上胴部から腹部にかけての破片。上胴部のほぼ全面に縄紋（LR）を施紋する。ただし、調整時のハケメが顕著に残る場所があり、その部分が拓本では、縄紋とハケメが交差して格子状にみえる。下胴部はヘラミガキ。	良好 精良 赤味橙
1175 −63 壺・肩部	7−434 B13c −YT6−C_2	頸部から肩上部にかけての小破片。肩部に断面三角形の凸帯が1段、その下に櫛描の直線紋と波状紋を同じ条内で書きかえする珍らしい文様がつく（扇形紋がその上につく）。	軟質 砂粒多含 にぶ黄橙
1176 −63 壺・肩部	7−400 B13e −YT6	肩部破片。肩部最上段より、櫛描の直線紋→波状紋→直線紋→扇形紋の順に施紋する。文様帯は幅狭い。文様帯下部縦方向の丁寧なヘラミガキ。	良好 精良 にぶ黄橙
1177 −63 壺・上胴部	7−396 B13e −YT6	肩部にほど近い上胴部の破片。文様は破片上部より、櫛描の直線紋→刺突紋（左下り）→直線紋→櫛刺突による羽状紋（文様帯最下段）の順に施紋する。	良好 精良 黄味白
1178 −63 壺・肩部	7−396 B13e −YT6	頸部から肩部にかけての大破破片。頸部との境に断面三角形の凸帯を1条もうけ、その下辺から肩部にかけて、櫛の刺突による羽状紋を施した、いわゆる有段羽状紋土器。羽状紋の下、文様帯最下段には櫛描波状紋を1条施す。	やや軟質 砂粒含む にぶ黄
B12区・B13区YT8			
1179 −63 壺・上胴部	7−92 B13g −YT8	腹部にほど近い上胴部の破片。肩部より垂下する櫛描紋の左右に、やや雑な流水紋を施紋する。	良好 砂粒多含 黄味白
B12区・B13区環濠外（包含層）			
1180 −63 壺・口縁部	6−2202 B13d−D	受口壺A_3のU縁部破片。口径8.8cm。口屑部は面を作る。口縁部外面には斜ハケの後、櫛の押圧横線を6〜7条にわたって施紋する。内面ナデ。頸部と肩部の境にもやはり櫛の押圧横線を3条程めぐらし、その下に櫛描直線紋を施している。	良好 砂粒多含 にぶ橙
1181 −63 壺・口縁部	6−2288 B13d−D	受口壺の口縁部破片。口径推定9.8cm。口屑部は面を作る。口縁部外面に櫛を用いた雑な格子紋を施す。内面ナデ。	良好 精良 赤味橙
1182 −63 壺・口縁部	6−2251 B13d−D	受口壺の口縁部破片。口径22.0cm。口屑部は面を作る。口縁部外面に櫛の押圧横線4条を施紋する。内面ナデ。	良好 精良 赤味橙
1183 −63 台付鉢	6−2796 B13d−D	台付鉢Aの口縁部破片。口径推定11.2cm。口唇部は円頭状に作る。口縁部から胴上部外面にかけては縄紋（LR）を施す。	良好 精良 にぶ橙
1184 −63 鉢？・口縁部	6−2796 B13d−D	或もしくは鉢の口縁部破片。口径推定26.0cm。受口状の口縁で、口唇部は面を作る。口縁部外面に縦方向の櫛描刺突紋を施す。内面ナデ。	良好 砂粒多含 にぶ黄橙
1185 −63 壺・肩部	6−1360 B13d −C_2 D	上胴部の大型破片。櫛描の直線紋と廃状紋を組み合せた文様帯。胴部直線紋上に3個1組の円形浮紋を貼付する。	良好 精良 にぶ橙
1186 −63 壺・上胴部	7−1808 C12c −YT12	腹部にほど近い上胴部の破片。櫛描直線紋と縦描の櫛描紋2条で区画したなかに、丁寧な流水紋を施している。	良好 砂粒含む 茶色
1187 −63 壺・腹部	番号不明 B13b −YT7−D	上胴部の破片。腹部に水鳥を描いた土器片。破片上部には櫛描直線紋と波状紋が残る。水鳥は焼成後に鋸状器具で描いているようである。	良好 精良 うす橙

写　真　図　版

写真図版第Ⅰ



A　環濠内の土器出土状態・A群（AⅠ0区YTⅠ）



B　環濠内の土器出土状態・B群（BⅠⅠ区YTⅠ）

写真図版第２

A　環濠内の土器出土状態・C群（A10区YT２東縁）

B　環濠上面土器出土状態・D群（A10区YT９西縁）

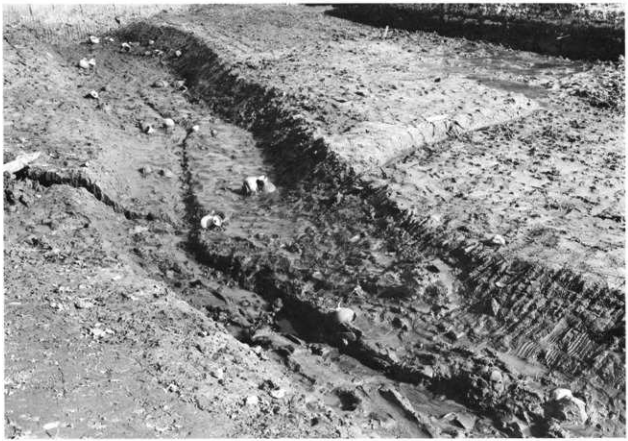
写真図版第３

A　環濠内の土器出土状態（ＤⅡ区ＹＴ２）

B　環濠内の土器出土状態（ＢⅠＩ区ＹＴ７）

写真図版第4

A　環濠内の土器出土状態（B13区YT7）



B　環濠内の土器出土状態（A13区YT7）

写真図版第 5

1

2

9

12

10

13

写真図版第 6

20

27

28

29

30

31

34

37

35

38

36

47

写真図版第 8

48

54

80

84

81

85

77

81

88

89

91

90

93

写真図版第10

96

97

98

101

94

102

99

103

107

104

109

112

113

117

116

120

118

121

127

122

128

129

131

144

138

145

146

151

153

160

161

162

163

165

166

167

169

170

171

172

173

174

175

176

178

186

190

188

192

194

195

197

198

196

200

201

204

205

207

206

215

216

217

219

220

223

225

226

227

228

231

232

249

264

272

273

274

275

277

280

279

284

305

282

282

286

写真図版第24

285

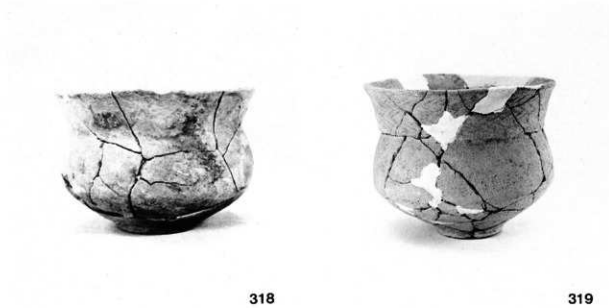
314

288

315

316

317



318

319

320

321

322

325

326

329

330

331

332

340

347

341

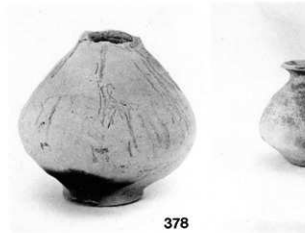
369

360

372

370

373



378

379

380

写真図版第29

375

382

377

383

384

385

387

388

写真図版第30

396

400

414

432

433

写真図版第31

415

416

442

419

444

434

436

437

448

453

454

455

464

465

写真図版第33

472

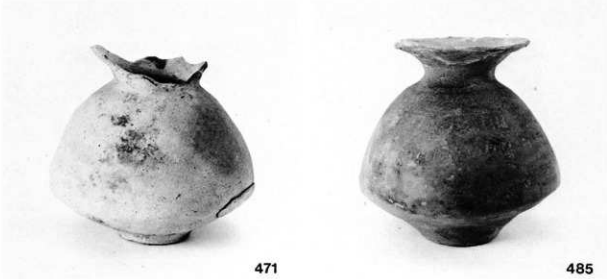
473

474

475

476

481


471

485

486

487

488

495

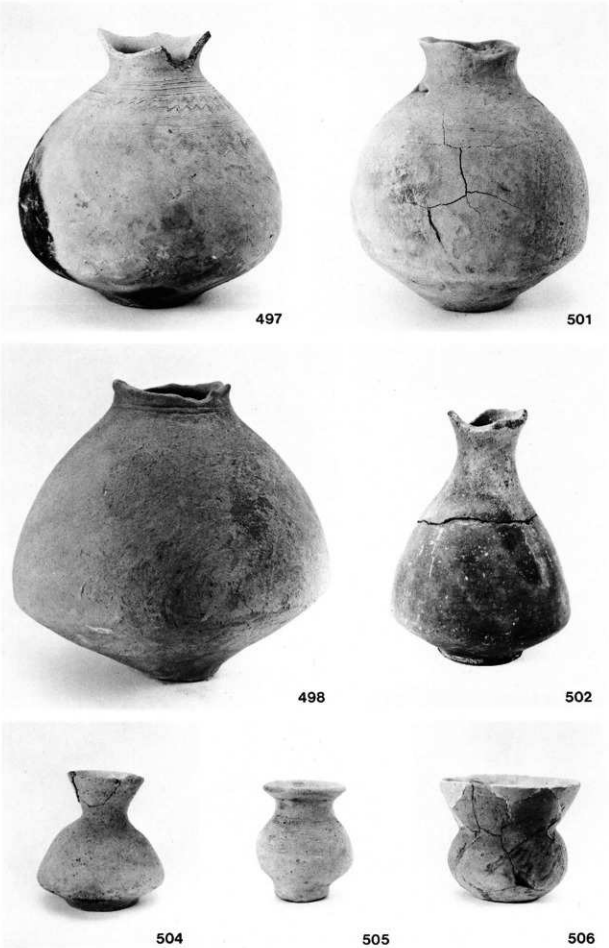
489

494

491

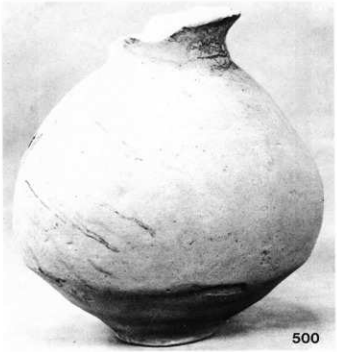
496

写真図版第35



499

503



500

508

507

509

510

写真図版第37

511

512

513

516

517

521

522

524

526

531

520

529

530

写真図版第39

532

541

543

544

535

542

551

写真図版第40

546

548

550

553

555

557

558

559

567

571

573

562

568

570

574

576

575

563

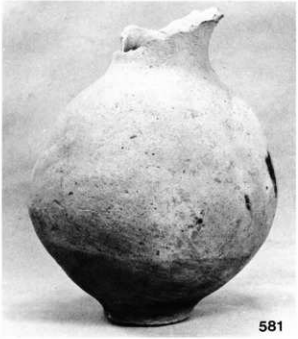
577

580

582

584

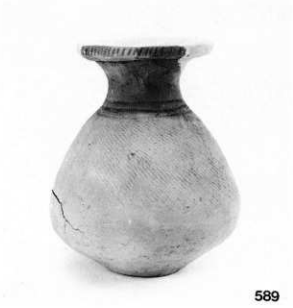
585


581

586

写真図版第44

588


589

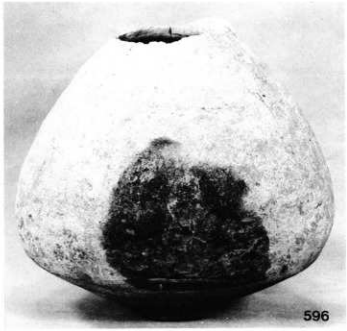
587

591

590

593

写真図版第45


596

594

599

592

601

597

602

595

600

603

写真図版第46

607

608

618

612

613

616

617

写真図版第47

620

623

626

621

624

629

630

631

636

634

635

638

639

640

641

642

643

648

649

647

650

644

645

646

651

659

661

662

写真図版第51

653

655

664

667

670

669

写真図版第52

675

676

679

677

678

681

663

665

672

682

673

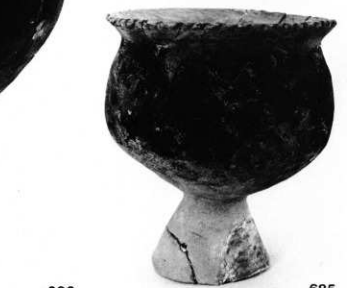
689

691

683

684

686



685

692

696

写真図版第55

694

697

698

693

695

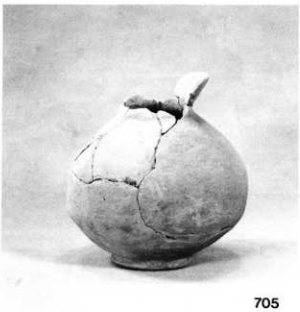
702

700

701

写真図版第56

699



705

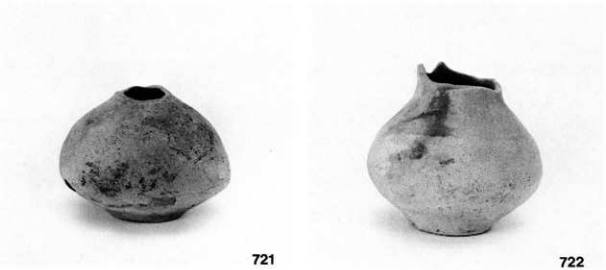
708

711

709 710 712

写真図版第57

714 718 720



721 722

716 724

725

726

728

729

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

745

748

749

750

751

752

753

754

757

755

756

758

759

760

762

761

764

768

765

771

775

773

777

772

776

780 781 782 783

778

779

784

785

786

789

788

790

791

793

794

796

795

797

798

799

800

801

802

803

804

写真図版第68

807

805

812

816

813

817

写真図版第69

819

821

823

824

818

820

写真図版第70

824

825

826

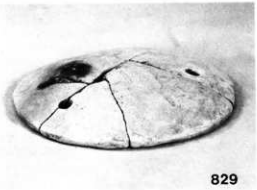
827

830

831

828

828



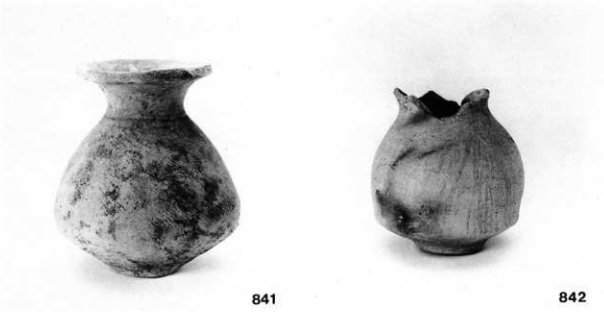
829

写真図版第71

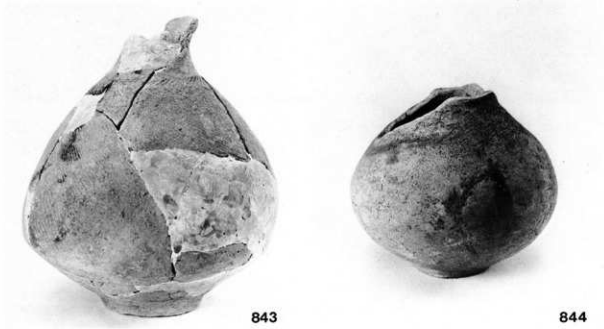
840

835 836 837

838 839



841　842



843　844

846　847　848

849

851

852

853

854

856

857

860

861

859

862

864

863

865

868

877

869

872

876

882

891

893

873

874

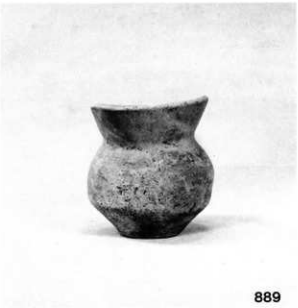
875

878

880

885

888



889

892

894

895

897

898

900

901

914

928

931

940

947

948

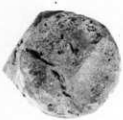
935

953

958

1187

1188



1189

1190

1191

線刻の付く土器(1187)と木葉痕(1188)・籾痕(1189～1191)の残る土器